

IWATSU



LEVANCIO
レバンシオ

取扱説明書

- 多機能電話機(IX-24KT-N/IX-12KT-N)編 -

第3版

安全にお使いいただくために必ずお読みください

ご使用の前に、この取扱説明書と「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、よくお読みになったあとは、いつでも見られる場所に保管してください。

この取扱説明書には、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品をお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本文中のマークの説明

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
Note	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
ちょっと一言!	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This telephone is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通話、録音などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、法律で禁止されていますので絶対に行わないでください。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店または岩崎通信機お客様相談センタへご相談ください。

！警告

- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると火災、感電の原因となることがあります。電話機の場合は直ちに電話機コードを外し、煙が出なくなるのを確認してからお買い求めの販売店または岩崎通信機のお客様相談センターに至急ご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 万一、電話機を落としたり、電話機を破損した場合、本電話機の場合は電話機コードを外し、お買い求めの販売店または岩崎通信機のお客様相談センターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。また、お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くで使用しないでください。
 - 電子機器が誤動作したりするなど影響が出る可能性があります。また、使用を制限された場所での使用はお控えください。(ご注意いただきたい電子機器の例：補聴器、医療用電子機器など)
- 本商品の開口部やすきまから内部に金属類や燃えやすいもの等の異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、内部に異物や水などの液体が入った場合は、電話機の場合は直ちに電話機コードを外し、お買い求めの販売店または岩崎通信機のお客様相談センターに至急ご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。
- 電話機を電子レンジや高圧容器に入れたりしないでください。破裂、発火等の原因になります。
- ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 電話機のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因となることがあります。

⚠ 警告

- 故障したまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐにモジュラケーブルを抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- ぬれた手で電話機を操作しないでください。感電の原因となることがあります。
- 電話機コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、束ねたりしないでください。
- 電話機を分解・改造しないでください。火災、感電の原因となることがあります。内部の点検・調整・清掃・修理はお買い求めの販売店または岩崎通信機のお客様相談センターにご依頼ください。また改造は法律で禁止されています。(分解、改造された商品は修理に応じられない場合があります)
- 電話機をねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、強く押しつけたりして、圧迫しないでください。破損して、火災、やけど、けがの原因となることがあります。
- AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。
- 電源プラグの刃に金属などが触れると火災・感電の原因となります。
- 電源コードが傷んだ(芯線の露出、断線など)状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店に点検をご依頼ください。
- 壁掛け使用時は落下に注意して下さい。けがの原因となります。

⚠ 注意

- 電話機のご使用にあたっては、次のことにご注意ください。
 - 直射日光の当たるところ、自動車の中、暖房設備・ボイラーの側など著しく温度が高くなるところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災、故障の原因となることがあります。
 - 調理台のそばなどの油飛びや湯気の当たるような場所、ほこりの多い場所には置かないでください。火災、感電、故障の原因となります。
 - 振動・衝撃の多い場所、ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、電話機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
 - 本機の通風孔をふさがないで下さい。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。
 - 電話機などに水滴が付いた場合は、乾いた布で拭き取ってください。
- 指定外のACアダプタは使用しないで下さい。火災・感電・故障の原因となります。
- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、「ケーブルなど」外部の接続線をはずしたことを確認した上、行って下さい。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。
- 長時間、本機をご使用にならない時は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
- 近くに雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてご使用を控えてください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。

⚠ 注意

お願い

■ 壁掛け使用時は落下に注意して下さい。けがの原因となります。

■ 受話音量増幅スイッチを『NH』に切り換えてる場合は、標準ハンドセットは絶対に使用しないでください。受話器から過大音量が発生して耳に衝撃を受ける場合があります。

他の機器への影響について

■ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となり、テレビ画面が乱れことがあります。

■ 電話機、ファクシミリなどに近いと通話に雑音が入りすることがあります。

使用場所について

■ 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。電話機が正常に動作しないことがあります。

■ 冷蔵倉庫などで電話機の使用温度範囲内であっても、出入りすることにより内部が結露して電話機が正常に動作しないことがあります。

● 正常に動作しなくなったときは、電話機コードを外し、十分に時間がたってから再度つないでください。

■ 電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（コンピュータ、電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、ファクシミリ、蛍光灯、ワープロ、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。

● 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。

● 放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、使用できないことがあります。

■ 硫化水素が発生する場所（温泉地など）では、電話機などの寿命が短くなることがあります。

国外への持ち出しについて

■ 本電話機は日本国内でのご利用を前提としたものです。国外へ持ち出されてもご利用できません。

お手入れについて

■ ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。電話機等の変色や変形の原因となります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。

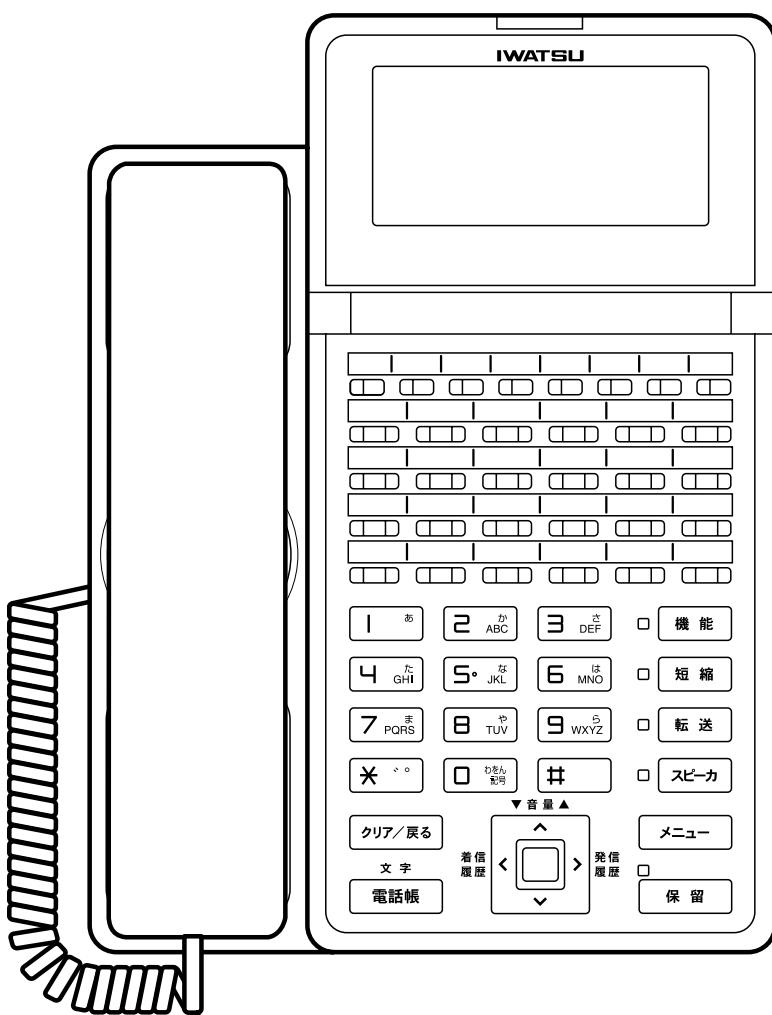
この取扱説明書の見かた

- この取扱説明書は、主装置の内線電話機としてご利用になれる機能を説明しています。詳細な取扱方法については、主装置の「取扱説明書－基本編－」と合わせてお読みください。
- 液晶ディスプレイ表示の字体や表示位置など、この取扱説明書と商品とでは異なる部分があります。
- この取扱説明書では、電話機の操作イメージなどについて、IX-24KT-Nを用いて説明します。
なお、IX-12KT-NはIX-24KT-Nと比べ、「外線ボタン」の数が以下のとおり異なります。
 - ・IX-24KT-N 外線ボタン24個
 - ・IX-12KT-N 外線ボタン12個
- IX-24KTAPF-Nは、IX-24KT-Nと同様です。
ただし、IX-24KTAPF-Nで内線延長ユニット(IX-24KT-EXT)のご利用はできません。

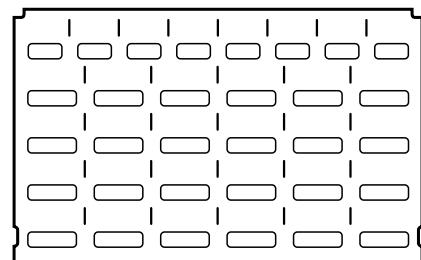
目 次

安全にお使いいただくために必ずお読みください	1
この取扱説明書の見かた	6
1 セットの内容	8
2 各部の名前とはたらき	9
前面	9
底面	10
ディスプレイの見方	11
ボタン(ランプ)表示	12
3 お使いいただく前に	13
電話機の角度を調整する／キーシートをセットする	13
「メニュー」ボタンの操作方法／操作一覧	14
「機能」ボタンの使い方について	17
システム電話機(親機)の確認方法	19
4 基本的な登録／設定	20
時刻を設定する	20
画面コントラストを調整する	21
受話音量を調整する	22
スピーカ音量を調整する	23
着信音量を調整する	24
「メニュー」ボタンから各種音量を調整する(着信音設定)	25
「メニュー」ボタンから各種音量を調整する(音量調整)	28
5 電話帳(短縮)を登録する	34
電話帳を登録する	34
文字の入力方法	44
6 基本的な使い方	48
外へ電話をかける <外線発信>	48
外からの電話を受ける <外線着信>	49
内部の人を呼び出す <内線発信>	51
内部から呼び出しを受ける <内線着信>	52
お待ちいただくとき	53
通話を他の人に回す <転送>	55
最後にかけた相手に再びかけ直す <ラストナンバリダイヤル>	56
7 電話帳(短縮)を使用する	57
8 発信／着信履歴	61
9 さらに便利な使い方	63
3人または4人で同時に通話する <会議通話>	63
10 故障かな?と思ったら	64
11 こんな音がしたら	65
12 主な仕様	66
13 オプション	67
14 アフターサービスについて	68

1 セットの内容



本体



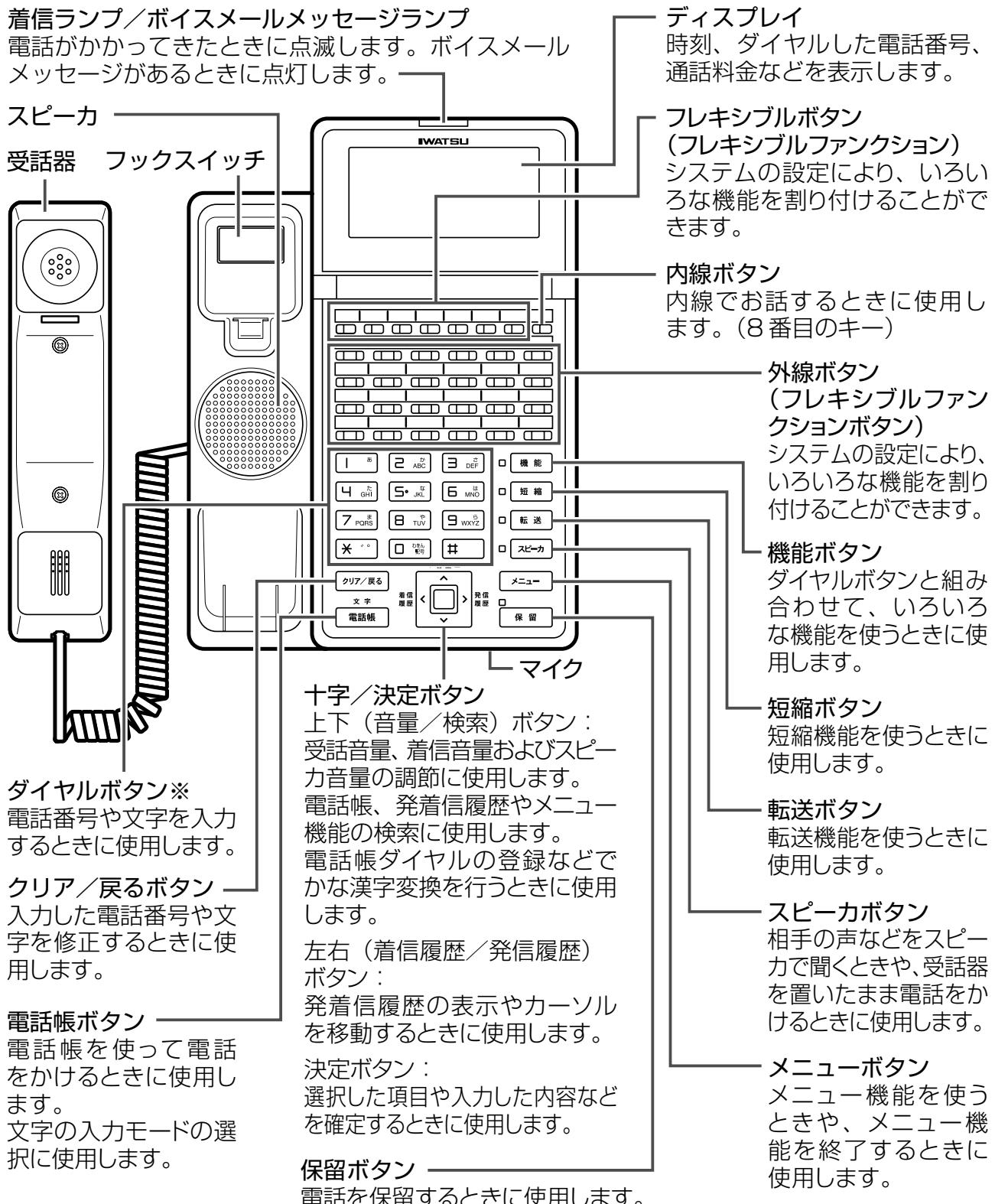
キー・シート

Note

- カバーの穴の周囲などに、キズに見えるスジが入っていることがあります。
これはプラスチックの成型過程で生じるものであり、構造上及び機能上は問題はありません。

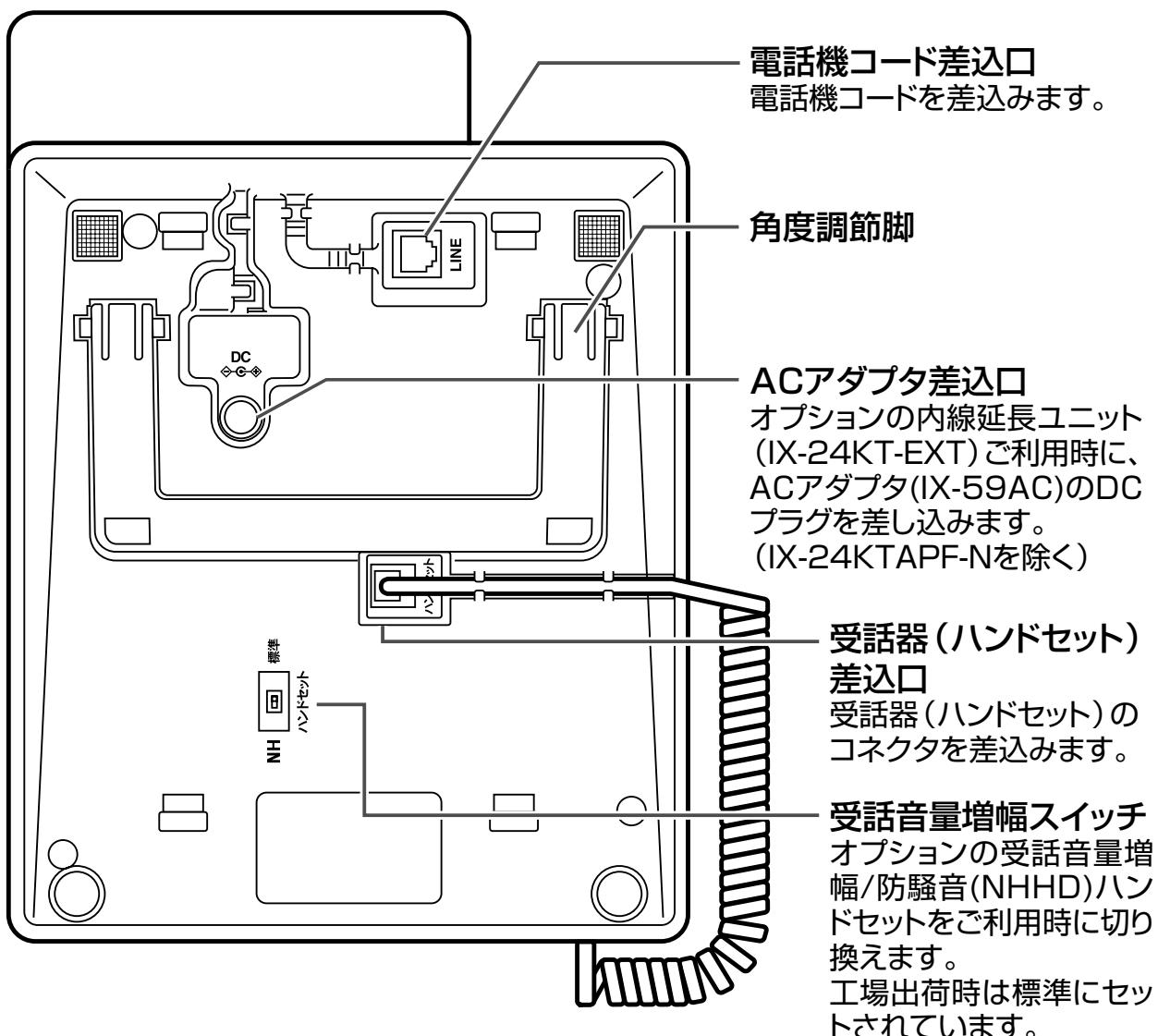
2 各部の名前とはたらき

前面



※：ダイヤルボタン[**5. JKL**]の部分に突起が付いていますが、この突起は目の不自由な方の操作を容易にするためのものです。

底面



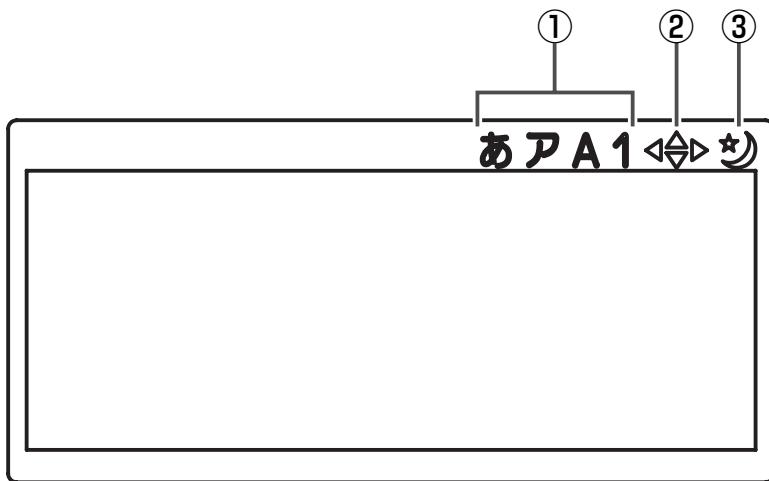
Note

- ヘッドセットはご利用できません。
- オプションの工事及び設定はお買い求めの販売店、もしくは工事店にご依頼ください。

⚠ 注意

- 受話音量増幅スイッチを『NH』に切り換えている場合は、標準ハンドセットは絶対に使用しないでください。
受話器から過大音量が発生して耳に衝撃を受ける場合があります。

ディスプレイの見方



名前とはたらき

① 入力モードマーク	電話帳ダイヤルなど、文字を入力するときのモードを表示します。
② スクロールマーク	表示中の項目を十字ボタンでスクロールできるときに表示されます。
③ ナイトモードマーク	夜間モード時に表示されます。

- ディスプレイに表示される文字は、この操作マニュアルでの字体とは異なります。

ボタン(ランプ)表示

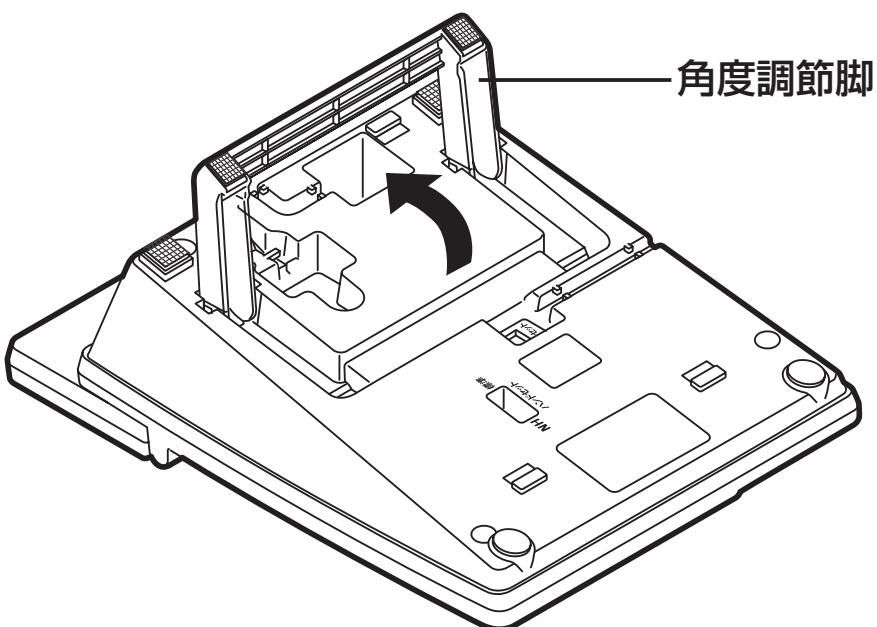
ランプの種類	ランプのつき方	電話機の状態
外線ボタン (ランプ)	点灯中に2回消える (緑)	自分の電話機で通話中
	点灯 (赤)	他の内線電話機が自分以外の相手と通話中
	点滅 (赤)	電話がかかってきた
	遅い点滅 (赤)	他の内線電話機が保留中
	遅い点滅 (緑)	自分の電話機で保留中
内線ボタン (ランプ)	点滅 (赤)	内線で呼び出されている
	点灯中に2回消える (赤)	自分の電話機で内線通話中
	遅い点滅 (赤)	自分の電話機で内線を保留中
フレキシブル ボタン (ランプ)	点灯 (赤)	割り付ける機能により異なります
	点滅 (赤)	
	遅い点滅 (赤)	
機能ボタン (ランプ)	点滅 (赤)	機能ボタンを使った操作をしている
スピーカボタン (ランプ)	点滅 (赤)	スピーカを使用している
着信ランプ／ ボイスメール メッセージランプ	点滅 (赤)	電話がかかってきた
	点灯 (緑)	ボイスメールメッセージがある

3 お使いいただく前に

電話機の角度を調整する／キーシートをセットする

電話機の角度を調整する

- 1 電話機本体を裏がえします。
- 2 角度調節脚を引き起こし、角度を調整します。

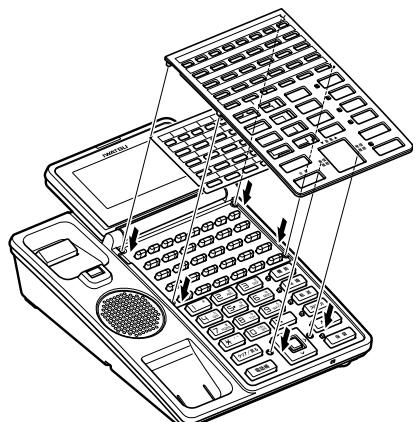


△ 注意

- 角度調節脚を引き起こすときは、無理な力を加えないでください。電話機本体と角度調節脚の接合部分が破損することがあります。

キーシートをセットする

- 1 カバー上部左を指で持ち上げカバーとシートを取り外します。
- 2 キーシートにフレキシブルボタンに登録した内容などを書き込みます。
- 3 キーシートとカバーを元に戻します。カバー6か所の突起を押して取りつけます。



「メニュー」ボタンの操作方法／操作一覧

電話機から [メニュー] を操作して各種機能の設定を行なうことができます。

- 1 受話器を置いた状態で、 [メニュー] を押します。
- 2 □(下ボタン)または□(上ボタン)を押して目的のメニューを表示させます。
- 3 設定する内容を選び、 □(決定ボタン)を押します。
- 4 待ち受け状態に戻るには、もう一度 [メニュー] を押します。

Note

● □(決定ボタン)のかわりに [クリア/戻る] を押すとひとつ前の画面に戻ることができます。

● メニューの表示内容一覧は下記をご覧ください。

第一階層	第二階層	第三階層	第四階層
① 電話機設定	① 着信音	① 外線着信音	—
		② 外線個別着信音	—
		③ 内線着信音	—
	② 音量調整	① 外線スピーカ音量	—
		② 内線スピーカ音量	—
		③ 受話音量	—
		④ 外線着信音量	—
		⑤ 内線着信音量	—
		⑥ BGM音量	—
	③ 画面コントラスト 調整	—	—
	④ 電話機名称	—	—
	⑤ ケータイWeb リンク設定	① 携帯電話番号	—
		② ログインパスワード 変更	—
② 電話帳編集	① 電話帳登録	—	—
	② 個別電話帳全削除	—	—
	③ 電話帳グループ名 変更	—	—
③ 不在転送設定 (注1)	① 転送動作	—	—
	② 転送モード	—	—
	③ 転送先	—	—

注1) システムのデータ設定で選択できない場合があります。

第一階層	第二階層	第三階層	第四階層
④ボイスメール設定	①個別ボックス	①留守録応答メッセージ ②留守録モニタ開始方法 ③留守録自動発報設定 ④メッセージ自動消去設定 ⑤録音お知らせメール ⑥音声ファイル添付 ⑨再生パスワード変更 ⑩設定パスワード変更	— — ①発報先ダイヤル ②発報タイミング ③定刻発報時刻1 ④定刻発報時刻2 ⑤定刻発報時刻3 ⑥定刻発報時刻4 — ①メール送信動作 ②宛先Eメールアドレス設定 ①自動送信メールアドレス ②手動送信メールアドレス — —
	②留守番グループボックス	①留守録応答メッセージ ②留守録モニタ開始方法 ③留守録自動発報設定 ④メッセージ自動消去設定 ⑤録音お知らせメール	— — ①発報先ダイヤル ②発報タイミング ③定刻発報時刻1 ④定刻発報時刻2 ⑤定刻発報時刻3 ⑥定刻発報時刻4 — ①メール送信動作 ②宛先Eメールアドレス設定

(次ページへ続く)

第一階層	第二階層	第三階層	第四階層
④ボイスメール設定	②留守番グループボックス	⑥音声ファイル添付	①自動送信メールアドレス ②手動送信メールアドレス
		⑦留守番スケジュール	①スケジュール登録 ②スケジュール特定日設定 ③スケジュール即時適用
		⑨再生パスワード変更	—
		⑩設定パスワード変更	—
	③同報ボックス	①所属ボックス設定	—
		②設定パスワード変更	—
⑤個人情報削除	①発信着信履歴全削除	—	—
	②個別電話帳全削除	—	—
⑥キー割付設定 (注2)	—	—	—
⑦システム設定 (注3)	①S L T / F A X ダイヤル種別	—	—
	②保留音	—	—
	③日付と時刻変更	—	—
	④サブシステム名称	—	—
	⑤メール基本情報 設定	①折り返し電話番号 ②コメント ③送信元Eメール アドレス	— — —
	⑥ケータイWeb リンク設定	①ログインパスワード設定 ②システムパスワード変更	— —
	⑦夜間サービス	①夜間切替え スケジュール ②分散切替え スケジュール ③スケジュール特定日 設定	①スケジュール登録 ②スケジュール即時適用 ①スケジュール登録 ②スケジュール即時適用 —
	⑧迷惑電話設定	①新規登録 ②一覧表示／編集 ③全件削除	— — —

注2) キー割付設定電話機のみで表示され、選択することができます。

注3) システム電話機のみで表示され、選択することができます。

「機能」ボタンの使い方について

多機能電話機のさらに便利な使い方

「機能」ボタンと「0」～「9」のダイヤルボタン、「*」、「#」ボタンを組み合わせて、以下のような豊富な機能の操作ができます。主に、電話機のフレキシブルボタンに機能が登録されていない場合に使用します。

操作	機能の名称	用途
「機能」「1」「1」	ロングフラッシュ(フック)	ダイヤル途中でかけ直しするときに使用します
「機能」「1」「2」	ショートフラッシュ	ショートフラッシュ信号を送出するときに使用します
「機能」「1」「3」	ダイヤルリバース(プッシュ)	プッシュ信号を送出できます
「機能」「1」「4」	秘話解除	通話中の外線に割り込みができます
「機能」「2」「1」	セーブナンバリダイヤル	ダイヤルした番号を記憶させ、再びかけ直すことができます
「機能」「2」「2」	メモダイヤル	通話中に別の電話番号を記憶させ、かけ直すことができます
「機能」「2」「3」	外線予約 (トランクキューリング)	外線の使用予約ができます
「機能」「2」「4」	外線時間予約 (タイムドトランクキューリング)	指定時間後の外線使用予約ができます
「機能」「3」「1」	グループ内代理応答	同じ内線グループにかかってきた電話に別の電話機で応答できます
「機能」「3」「2」	グループ外代理応答	他の内線グループにかかってきた電話に別の電話機で応答できます
「機能」「3」「3」	個別代理応答	着信している電話機の番号をダイヤルして代わりに応答できます
「機能」「3」「4」	パーク応答 (コールパークピックアップ)	パーク保留に応答するときに使用します
「機能」「3」「5」	ページ応答(ミート・ミー応答)	スピーカ呼び出しに応答するときに使用します
「機能」「4」「1」	タイムコール	設定した時刻に電話機を鳴らしてお知らせします
「機能」「4」「2」	モーニングコール	指定した時刻に電話機を鳴らし、メッセージを流します
「機能」「4」「3」	内線コールバック	通話中の内線通話が終了したことをお知らせします
「機能」「4」「4」	電話機パスワード	外線の発信規制ができます
「機能」「4」「5」	音声案内再生	音声メッセージを再生します
「機能」「4」「6」	モーニングコール	依頼されたモーニングコールの内容を相手先の内線電話機に設定します

(次ページへ続く)

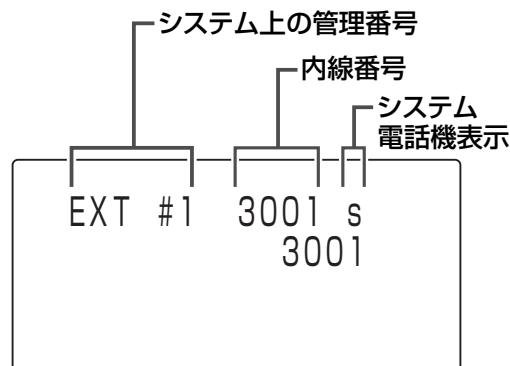
操作	機能の名称	用途
「機能」「4」「7」	グループモーニングコール	モーニングコールを一斉に設定するときに使用します
「機能」「6」「1」	マイク	マイクのON・OFFの切り替えを行うことができます(マイクOFFの場合:「機能」「0」「6」「1」の操作になります)
「機能」「6」「2」	BGM	スピーカからBGMを流します
「機能」「6」「3」	LCD表示切り替え	ディスプレイの表示内容を切り替えることができます
「機能」「6」「4」	時刻調整	時刻の調整を行うことができます
「機能」「6」「5」	内着モード切り替え	内線着信を音声着信、トーン着信のどちらかに指定できます
「機能」「7」「1」	通話料金表示(前回分)	前回通話した1回分の料金を表示します
「機能」「7」「2」	通話料金表示(本日分)	当日分の料金を表示します
「機能」「7」「3」	通話料金表示(今月分)	当月分の料金を表示します
「機能」「7」「4」	通話料金表示(先月分)	先月分の料金を表示します
「機能」「7」「5」	グループ予算額設定、 グループ使用率表示	内線グループ(部署など)別の予算額に対する 使用率を表示します
「機能」「9」「9」	自内線番号表示	自分の電話機の内線番号を表示します
「機能」「#」「9」	ボタン案内	各ボタンに何が割り当ててあるか確認できます

システム電話機(親機)の確認方法

システム電話機は、以下の操作で確認できます。

1 受話器を置いた状態で、**機能 + 9⁹_{WXYZ} 9⁹_{WXYZ}** を押します。

- システム電話機は、内線番号の後に“s”が表示されます。



4 基本的な登録／設定

時刻を設定する

システム電話機にてシステム内の日時を設定することができます。

● 設定方法

- 1 受話器を置いた状態で、**メニュー**を押します。

・メインメニュー画面が表示されます。

1 電話機設定
2 電話帳編集
3 不在転送設定

- 2  (上下ボタン)で「0 システム設定」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

・システム設定画面が表示されます。

4 ホイスメール設定
5 個人情報削除
0 システム設定

- 3  (上下ボタン)で「3 日付と時刻変更」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

・日付と時刻変更画面が表示されます。

1 SLT/FAXダイヤル種別
2 保留音
3 日付と時刻変更

- 4 日時を設定します。西暦下2桁と年月日および時刻(24時間表記)を入力し、 (決定ボタン)を押します。

1
日付と時刻変更
年 月 日 :
11年01月31日 10:10

- 5 待ち受け状態に戻るには、もう一度**メニュー**を押します。

Note

- 時刻の調整は「機能」+「6」「4」ボタン操作からも行うことができます。
操作方法は、「取扱説明書－基本編－」をご参照ください。

画面コントラストを調整する

- 1 受話器を置いた状態で、**メニュー**を押します。

・メインメニュー画面が表示されます。

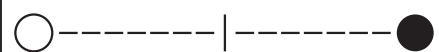
- 1 電話機設定
- 2 電話帳編集
- 3 不在転送設定

- 2  (上下ボタン)で「1 電話機設定」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

- 1 着信音
- 2 音量調整
- 3 画面コントラスト調整

- 3  (上下ボタン)で「3 画面コントラスト調整」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

画面コントラスト調整



- 4  (左右ボタン)でコントラストを選択し、 (決定ボタン)を押します。

- 5 待ち受け状態に戻るには、もう一度**メニュー**を押します。

受話音量を調整する

通話をしている間に相手の声の大きさを6段階に調節できます。

- 1 通話中に□(下ボタン)または△(上ボタン)を押します。
- 2 □(下ボタン)を押すと受話音量が小さく、△(上ボタン)を押すと受話音量が大きくなります。
- 3 お好みの音量に調節した後、約2秒で元の表示に戻ります。

音量大

音量小

ちょっと一言!

- 通話を終了すると設定した音量は初期値に戻ります。また、システムの設定によって、通話を終了しても設定した音量を保持するようにもできます。システムの設定はお買い求めの販売店、もしくは工事店にご依頼ください。



- 受話音量の調整は「メニュー」ボタン操作からでも行うことができます。

スピーカ音量を調整する

スピーカ使用中に相手の声の大きさを11段階に調節できます。

- 1 通話中(スピーカ使用中)に、
□(下ボタン)または□(上ボ
タン)を押します。
- 2 □(下ボタン)を押すとスピー
カ音量が小さく、□(上ボタ
ン)を押すとスピーカ音量が
大きくなります。
- 3 お好みの音量に調節した後、
約2秒で元の表示に戻りま
す。

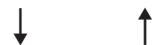
音量大



スピーカ音量
11 ■■■■■



スピーカ音量
6 ■■



スピーカ音量
1 -

ちょっと一言!

- スピーカの使用を終了しても、設定した音量は変わりません。

Note

- スピーカ音量(外線、内線)の調整は「メニュー」ボタン操作からでも行うことができます。

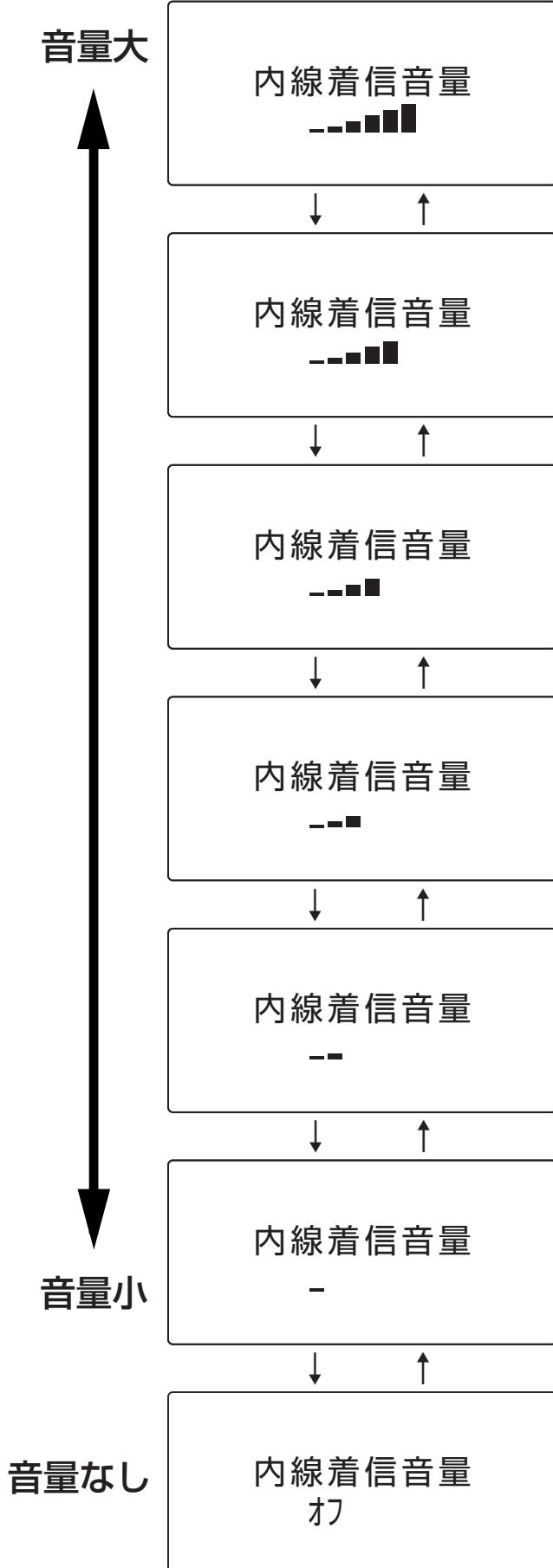
着信音量を調整する

電話がかかってきたときに鳴る着信音の大きさを6段階に調節できます。
また、着信音をオフにすることもできます。

- 1 待ち受け状態、または着信中にvolume_up(下ボタン)またはvolume_down(上ボタン)を押します。
- 2 volume_up(下ボタン)を押すと着信音量が小さく、volume_down(上ボタン)を押すと着信音量が大きくなります。
- 3 お好みの音量に調節した後、約2秒で元の表示に戻ります。

Note

- 着信中に調整する場合は、外線または、内線着信が鳴音しているときに操作してください。BGM送出時は、BGM音量の調節になります。待機中は、外線着信音量の調節となります。
- 外線、内線着信音量の調整は「メニュー」ボタン操作からでも行うことができます。



「メニュー」ボタンから各種音量を調整する(着信音設定)

外線着信音を設定する

- 1 受話器を置いた状態で、**メニュー**を押します。
・メインメニュー画面が表示されます。

1 電話機設定
2 電話帳編集
3 不在転送設定

- 2 (上下ボタン)で「1 電話機設定」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

1 着信音
2 音量調整
3 画面コントラスト調整

- 3 (上下ボタン)で「1 着信音」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

1 外線着信音
2 外線個別着信音
3 内線着信音
[システム設定に従う]

- 4 (上下ボタン)で「1 外線着信音」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

外線着信音
システム設定に従う
着信音データ01
着信音データ02

- 5 (上下ボタン)にて「システム設定に従う」或いは着信音データ1から20までのいずれかを選択し、 (決定ボタン)を押します。

- 6 待ち受け状態に戻るには、もう一度**メニュー**を押します。

Note

- 着信音データ(1～20)の鳴音パターンは、主装置の取扱説明書－基本編－をご参照ください。
- 外線着信とは、局線代表着信とダイヤルイン着信時の複数端末への鳴音指定を差します。外線個別着信とは、DISA、ダイヤルイン着信時の1台の端末への鳴音指定を差します。

外線個別着信音を設定する

- 1 受話器を置いた状態で、**メニュー**を押します。
・メインメニュー画面が表示されます。

1 電話機設定
2 電話帳編集
3 不在転送設定

- 2  (上下ボタン)で「1 電話機設定」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

1 着信音
2 音量調整
3 画面コントラスト調整

- 3  (上下ボタン)で「1 着信音」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

1 外線着信音
2 外線個別着信音
3 内線着信音
[システム設定に従う]

- 4  (上下ボタン)で「2 外線個別着信音」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

外線個別着信音
システム設定に従う
着信音データ01
着信音データ02

- 5  (上下ボタン)にて「システム設定に従う」或いは着信音データ1から20までのいずれかを選択し、 (決定ボタン)を押します。

- 6 待ち受け状態に戻るには、もう一度**メニュー**を押します。

Note

- 着信音データ(1～20)の鳴音パターンは、主装置の取扱説明書一基本編一をご参照ください。
- 外線着信とは、局線代表着信とダイヤルイン着信時の複数端末への鳴音指定を差します。外線個別着信とは、DISA、ダイヤルイン着信時の1台の端末への鳴音指定を差します。

内線着信音を設定する

- 1 受話器を置いた状態で、**メニュー**を押します。
・メインメニュー画面が表示されます。

1 電話機設定
2 電話帳編集
3 不在転送設定

- 2  (上下ボタン)で「1 電話機設定」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

1 着信音
2 音量調整
3 画面コントラスト調整

- 3  (上下ボタン)で「1 着信音」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

1 外線着信音
2 外線個別着信音
3 内線着信音
[システム設定に従う]

- 4  (上下ボタン)で「3 内線着信音」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

内線着信音
システム設定に従う
着信音データ01
着信音データ02

- 5  (上下ボタン)にて「システム設定に従う」或いは着信音データ1から20までのいずれかを選択し、 (決定ボタン)を押します。

- 6 待ち受け状態に戻るには、もう一度**メニュー**を押します。

Note

- 着信音データ(1～20)の鳴音パターンは、主装置の取扱説明書一基本編一をご参照ください。

「メニュー」ボタンから各種音量を調整する(音量調整)

外線スピーカ音量を調整する

- 1 受話器を置いた状態で、**メニュー**を押します。
• メインメニュー画面が表示されます。

1 電話機設定
2 電話帳編集
3 不在転送設定

- 2  (上下ボタン)で「1 電話機設定」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

1 着信音
2 音量調整
3 画面コントラスト調整

- 3  (上下ボタン)で「2 音量調整」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

1 外線スピーカ音量
2 内線スピーカ音量
3 受話音量

- 4  (上下ボタン)で「1 外線スピーカ音量」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

外線スピーカ音量
6 ---■

- 5  (上下ボタン)で1から11段階までのいずれかを選択し、 (決定ボタン)を押します。

- 6 待ち受け状態に戻るには、もう一度**メニュー**を押します。

Note

- 本メニューで設定した音量レベルは、毎回の通話で有効になります。

内線スピーカ音量を調整する

- 1 受話器を置いた状態で、**メニュー**を押します。
・メインメニュー画面が表示されます。

1 電話機設定
2 電話帳編集
3 不在転送設定

- 2  (上下ボタン)で「1 電話機設定」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

1 着信音
2 音量調整
3 画面コントラスト調整

- 3  (上下ボタン)で「2 音量調整」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

1 外線スピーカ音量
2 内線スピーカ音量
3 受話音量

- 4  (上下ボタン)で「2 内線スピーカ音量」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

内線スピーカ音量
6 ---

- 5  (上下ボタン)で1から11段階までのいずれかを選択し、 (決定ボタン)を押します。

- 6 待ち受け状態に戻るには、もう一度**メニュー**を押します。

Note

●本メニューで設定した音量レベルは、毎回の通話で有効になります。

受話音量を調整する

- 1 受話器を置いた状態で、**メニュー**を押します。
・メインメニュー画面が表示されます。

1 電話機設定
2 電話帳編集
3 不在転送設定

- 2  (上下ボタン)で「1 電話機設定」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

1 着信音
2 音量調整
3 画面コントラスト調整

- 3  (上下ボタン)で「2 音量調整」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

1 外線スピーカー音量
2 内線スピーカー音量
3 受話音量

- 4  (上下ボタン)で「3 受話音量」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

受話音量


- 5  (上下ボタン)で1から6段階までのいずれかを選択し、 (決定ボタン)を押します。

- 6 待ち受け状態に戻るには、もう一度**メニュー**を押します。

Note

- この設定を有効にするには、データ設定の変更が必要になります。

外線着信音量を調整する

- 1 受話器を置いた状態で、**メニュー**を押します。
・メインメニュー画面が表示されます。

1 電話機設定
2 電話帳編集
3 不在転送設定

- 2  (上下ボタン)で「1 電話機設定」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

1 着信音
2 音量調整
3 画面コントラスト調整

- 3  (上下ボタン)で「2 音量調整」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

4 外線着信音量
5 内線着信音量
6 BGM音量

- 4  (上下ボタン)で「4 外線着信音量」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

外線着信音量

—

- 5  (上下ボタン)で0から4段階までのいずれかを選択し、 (決定ボタン)を押します。

- 6 待ち受け状態に戻るには、もう一度**メニュー**を押します。

内線着信音量を調整する

- 1 受話器を置いた状態で、**メニュー**を押します。
・メインメニュー画面が表示されます。

1 電話機設定
2 電話帳編集
3 不在転送設定

- 2  (上下ボタン)で「1 電話機設定」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

1 着信音
2 音量調整
3 画面コントラスト調整

- 3  (上下ボタン)で「2 音量調整」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

4 外線着信音量
5 内線着信音量
6 BGM音量

- 4  (上下ボタン)で「5 内線着信音量」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

内線着信音量

—

- 5  (上下ボタン)で0から6段階までのいずれかを選択し、 (決定ボタン)を押します。

- 6 待ち受け状態に戻るには、もう一度**メニュー**を押します。

BGM音量を調整する

- 1 受話器を置いた状態で、**メニュー**を押します。
・メインメニュー画面が表示されます。

1 電話機設定
2 電話帳編集
3 不在転送設定

- 2  (上下ボタン)で「1 電話機設定」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

1 着信音
2 音量調整
3 画面コントラスト調整

- 3  (上下ボタン)で「2 音量調整」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

4 外線着信音量
5 内線着信音量
6 BGM音量

- 4  (上下ボタン)で「6 BGM音量」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

BGM音量



- 5  (上下ボタン)で0から6段階までのいずれかを選択し、 (決定ボタン)を押します。

- 6 待ち受け状態に戻るには、もう一度**メニュー**を押します。

5 電話帳(短縮)を登録する

電話帳を登録する

システムが持っている電話帳に相手先の情報を登録できます。

電話帳に登録しておくことで、登録した名前をスクロールして検索したり、発信に便利な機能(短縮発信、検索発信など)が使用できます。携帯電話の操作感覚で使えます。

電話帳登録できる件数は、使用する短縮番号の桁数により異なります。

種類	最大登録件数		
	短縮番号2桁	短縮番号3桁	短縮番号4桁
システム電話帳	合計90件	合計900件	合計9000件
内線グループ電話帳(グループ全体)			
個別電話帳(電話機ごと)	10件	100件	500件

■対象(制限)電話機数

個別電話帳の対象電話機数は、以下の通りです。

電話帳件数	対象電話機数
10件	1024台
100件	300台
500件	60台

■電話帳項目

以下の内容を電話帳に設定することが出来ます。

- 名前：一覧表示に使用する名前を登録します。
- ヨミガナ：検索に使用するヨミガナを登録します。
- 発信先：発信先(外線/内線)を登録します。
- 電話番号：外線の場合は相手先電話番号、内線の場合は内線番号を登録します。
- 短縮番号：短縮ダイヤル発信時に使用する短縮番号を登録します。
- 電話帳グループ：電話帳データが所属するグループを登録します。
- 発信グループ：発信先が外線の場合、局線発信グループを登録します。

Note

- システム電話帳、内線グループ電話帳は、システム電話機またはあらかじめ決められた電話機で登録が行えます。
- 個別電話帳は、各電話機から登録が行えます。
- 電話帳登録データと短縮ダイヤル登録データは同一のデータです。
- 短縮番号の桁数を2桁または3桁でご使用になる場合は、あらかじめ設定が必要です。お求め時(初期値)のシステム電話帳・内線グループ電話帳の桁数は4桁です。
- 各電話帳における電話番号は、最大3番号まで登録可能です。

新規に登録する

下記の内容を登録する場合を例にとって、登録操作を説明します。

名前：鈴木一郎、電話番号：03-XXXX-5678、
電話帳グループ：グループ2、外線発信グループ：1

1 受話器を置いた状態で、**メニュー**を押します。

- ・メインメニュー画面が表示されます。

- 1 電話機設定
- 2 電話帳編集
- 3 不在転送設定

2 (上下ボタン)で「2 電話帳編集」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

- ・電話機設定選択画面が表示されます。

- 1 電話帳登録
- 2 個別電話帳全削除
- 3 電話帳グループ名変更

3 (上下ボタン)で「1 電話帳登録」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

- ・登録モード選択画面が表示されます。

4 (上下ボタン)で「1 名前」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

- ・名称の入力画面が表示されます。

名前
(全角8文字)

Note

- 手順1～3の代わりに、**機能** **短縮** の順に押した場合も、電話帳の登録モード選択画面が表示されます。
- 登録操作を途中でキャンセルする場合は、いったん受話器を取り上げ、受話器を置いてください。
- 登録中の画面で一定時間(3分)操作を行わない状態が続くと、操作画面は終了し、電話機は待ち受け状態になります。
- 何らかの理由で登録できない場合は、登録不可のメッセージが3秒間表示され、入力前の状態に戻ります。再度入力し直してください。
- 手順1～3で**機能** **短縮** の順に押して登録する場合は、あらかじめ設定が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

(次ページへ続く)

5 登録先の名称(姓)を入力します。

例：すずき

- ① す : [ヨ DEF] を3回押す
- ② す : [□ (右ボタン)] を押して、右に1文字移動し、[ヨ DEF] を3回押す
- ③ “（濁点） : [* °] を1回押す。
- ④ き : [乙 ABC] を2回押す

※登録先の名称(姓+名)は、ひらがな・漢字は全角8文字、カタカナ・英数字は半角16文字まで入力できます。

※文字入力の詳細については、「文字の入力方法」(44ページ)を参照してください。

あ
名前
(全角8文字)
すずき

6 □(上下ボタン)を押します。

- ・カーソル位置までの変換候補が表示されます。

7 □(上下ボタン)を押し、目的の候補を選択し、□(決定ボタン)を押します。

あ
名前
(全角8文字)
鈴木_

8 登録先の名称(名)を入力します。

例：いちろう

- い : [I あ] を2回押す
- ち : [4 た] を2回押す
- ろ : [9 ら] を5回押す
- う : [1 あ] を3回押す

※文字入力の詳細については、「文字の入力方法」(44ページ)を参照してください。

あ
名前
(全角8文字)
鈴木
いちろう

9 □(上下ボタン)を押します。

- ・カーソル位置までの変換候補が表示されます。

10 □(上下ボタン)を押し、目的の候補を選択し、□(決定ボタン)を押します。

11 □(決定ボタン)を押します。

- ・名称が確定します。

1 名前
2 ヨミカナ
3 電話番号1
[鈴木一郎] ④ 登録

12  (上下ボタン)で「2 ヨミガナ」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

※ 名称の入力時に入力した文字が、読み仮名として表示されます。

13 読み仮名の変更が必要な場合は、修正します。

※ 読み仮名は、カタカナ・英数字は半角16文字まで入力できます。

※ 文字入力の詳細については、「文字の入力方法」(44ページ)を参照してください。

14  (決定ボタン)を押します。

- 読み仮名が確定します。

1 名前	◆
2 ヨミガナ	
3 電話番号1	
[]	〔登録〕

15  (上下ボタン)で「3 電話番号1」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

- 発信先の選択画面が表示されます。

※ 電話番号2・電話番号3の登録も手順15～18に従ってください。

発信先
1 外線
2 内線

16  (上下ボタン)で登録する電話番号が外線であるか内線であるかを選択し、 (決定ボタン)を押します。

電話番号1 (32桁)	1
----------------	---

17 電話番号(32桁以内)を押します。

- 入力されたダイヤルが表示されます。

例：03XXXX5678

※ 制御コードの入力については、「文字の入力方法」(47ページ)を参照してください。

電話番号1 (32桁)	1
03XXXX5678	

18  (決定ボタン)を押します。

- 電話番号が確定します。

1 名前	◆
2 ヨミガナ	
3 電話番号1	
[03XXXX5678]	〔登録〕

(次ページへ続く)

- 19 (上下ボタン)で「7 電話帳グループ」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

7 電話帳グループ。
8 発信グループ。
[グループなし] 登録

- 20 (上下ボタン)で、指定する電話帳グループを選択し、 (決定ボタン)を押します。

例：グループ02
電話帳グループの選択を確定します。

電話帳グループ。
グループなし
グループ01
グループ02

- 21 (上下ボタン)で「8 発信グループ」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

7 電話帳グループ。
8 発信グループ。
[0] 登録

- 22 外線発信グループ番号(00～60)を押します。

例：発信グループ01
外線発信グループの選択を確定します。

発信グループ。
(0-60) 1
01

- 23 (決定ボタン)を押します。

7 電話帳グループ。
8 発信グループ。
[0] 登録

Note

●登録操作を途中でキャンセルする場合は、いったん受話器を取り上げ、受話器を置いてください。

●指定可能な短縮番号

種類	短縮番号2桁	短縮番号3桁	短縮番号4桁
システム短縮ダイヤル	00～89	000～899	0000～8999
内線グループ短縮ダイヤル	—	—	1000～1999
個別短縮ダイヤル	90～99	900～999	9000～9499

●短縮番号として、登録済みの番号を指定した場合は、以前に登録されていた内容が上書きされますのでご注意願います。

●主装置がMタイプの場合、外線発信グループ番号は「00～60」、Lタイプの場合は「000～250」となります。

主装置のタイプについては、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

24 短縮番号の変更が必要な場合は、
▲(上下ボタン)で「6 短縮番号」を選択
し、▼(決定ボタン)を押します。
・登録先選択画面が表示されます。

登録先
1 個別電話帳
2 システム電話帳

25 個別電話帳に指定する場合、「1 個別
電話帳」を選択し、▲(決定ボタン)を
押します。
・入力画面が表示されます。

1
短縮番号
(90-99)
90

26 短縮番号(90～99)をダイヤルしま
す。

1
短縮番号
(90-99)
90

27 システム電話帳に指定する場合、「2 シ
ステム電話帳」を選択し、▼(決定ボタ
ン)を押します。
・入力画面が表示されます。

1
短縮番号
(0000-8999)
0001

28 短縮番号(0000～8999)をダイ
ヤルします。

29 ▼(決定ボタン)を押します。
・短縮番号が確定されます。

30 保留を押します。
・登録が完了します。

電話帳登録/編集
登録しました

発信履歴から登録する

- 1 受話器を置いた状態で、 (発信履歴ボタン)を押します。
・発信履歴リストが表示されます。

03XXXX5555	18:36
03XXXX2222	18:36
3001	12:55

- 2  (上下ボタン)で登録する発信履歴を選択し、 (決定ボタン)を押します。
・発信履歴詳細が表示されます。

〈登録なし〉
03XXXX5555
10年09月16日 18:36

- 3  (決定ボタン)を押します。
・動作選択表示画面が表示されます。

03XXXX5555
1 電話帳登録
2 発信
3 一件削除

- 4  (上下ボタン)で「1 電話帳登録」を選択し、 (決定ボタン)を押します。
・電話帳の登録画面が表示されます。

1 名前
2 ヨミカナ
3 電話番号
[] ④ 登録

- 5 「新規に登録する」(35ページ)の手順4以降と同様に操作します。

Note

- 発信履歴リストに表示される相手先は、電話帳に登録されていれば、その名前が表示されます。電話帳に登録されていない場合は、相手先の電話番号のみ表示されます。
- 発信履歴に記録されている電話番号の桁数は、最大32桁です。
- 発信履歴リストの電話番号表示は、最大12桁です。
- 発信履歴の表示中に、3分間ダイヤル操作がない状態が続くと、発信履歴表示を終了します。なお、着信が行われても履歴表示が継続されます。
- 発信履歴の表示中に受話器を上げる、または発信を行うボタンを押すと、発信します。

着信履歴から登録する

- 1 受話器を置いた状態で、 (着信履歴ボタン)を押します。
・着信履歴リストが表示されます。

03XXXX2222	09/13他
03XXXX2222	09/13他
03XXXX2222	09/13他
03XXXX2222	09/13未

- 2  (上下ボタン)で登録する着信履歴を選択し、 (決定ボタン)を押します。
・着信履歴詳細が表示されます。

〈登録なし〉
03XXXX2222
10年09月13日 15:53
他応答 3003 外

- 3  (決定ボタン)を押します。
・動作選択表示画面が表示されます。

03XXXX2222
1 電話帳登録
2 迷惑電話防止登録
3 発信

- 4  (上下ボタン)で「1 電話帳登録」を選択し、 (決定ボタン)を押します。
・電話帳の登録画面が表示されます。

1 名前
2 ヨミカナ
3 電話番号
[] ④ 登録

- 5 「新規に登録する」(35ページ)の手順4以降と同様に操作します。

Note

- 着信履歴に記録されている電話番号桁数は、最大16桁です。
- 着信時にNTT等から発信者名情報が通知された場合でも、電話帳に相手先名が登録されている場合は、電話帳に登録されている相手先名が着信履歴に記録されます。
- 既に電話帳に登録されている、または非通知理由を表示している相手先は、電話帳に登録できません。
- 着信履歴の表示中に、3分間ダイヤル操作がない状態が続くと、着信履歴表示を終了します。なお、着信が行われても、履歴表示が継続されます。
- 着信履歴の表示中に受話器を上げる、または外線発信を行うボタンを押すと、外線発信します。ただし、着信履歴が非通知で保存されている相手に対しては発信できません。
- 履歴リスト上における種別の意味は以下の通りです。

内：内線着信、外：外線着信、他：他者応答、未：未応答、VM：ボイスメール応答

登録内容を編集する

ここでは、前回の検索が「50音訓検索」であった場合を例として説明しています。前回の検索が、「読み仮名検索」であった場合は、「電話帳を検索してかける(読み仮名検索)」(57ページ)の手順(1)~(3)と同様な操作後に、手順(2)の操作を行ってください。

1 受話器を置いた状態で、**電話帳**を押します。

- ・電話帳一覧画面が表示されます。

2 □(上下左右ボタン)で登録された電話番号を選択し、□(決定ボタン)を押します。

- ・登録内容が表示されます。

鈴木一郎
03XXXX5678
クルーフ。なし
個別:90

3 □(決定ボタン)を押しサブメニューを表示させます。

- ・サブメニュー画面が表示されます。

鈴木一郎
1 発信 03XXXX5678
2 編集
3 削除

4 □(上下ボタン)で「2 編集」を選択し、□(決定ボタン)を押します。

- ・電話帳の登録画面が表示されます。

5 電話帳の各項目を変更する。

※各項目には既存の値が入っています。必要に応じて変更してください。

6 **保 留**を押し、登録を行います。

7 電話機は待ち受け状態に戻ります。

Note

- 編集操作を途中でキャンセルする場合は、いったん受話器を取り上げ、受話器を置いてください。
- 登録中や検索中の画面で一定時間(3分)操作を行わない状態が続くと、操作画面は終了し、電話機は待ち受け状態になります。
- 何らかの理由で編集できない場合は、登録不可のメッセージが3秒間表示され、入力前の状態に戻ります。再度入力し直してください。
- 一般電話機(システム電話機以外)の場合、システム電話帳に登録した電話番号を選択したときは、操作手順3の表示は「1 発信」のみ行われます。

登録内容を削除する

ここでは、前回の検索が「50音訓検索」であった場合を例として説明しています。前回の検索が、「読み仮名検索」であった場合は、「電話帳を検索してかける(読み仮名検索)」(57ページ)の手順(1)~(3)と同様な操作後に、手順(2)の操作を行ってください。

1 受話器を置いた状態で、を押します。

- ・電話帳一覧画面が表示されます。

2 (上下左右ボタン)で登録された電話番号を選択し、 (決定ボタン)を押します。

- ・登録内容が表示されます。

鈴木一郎
03XXXX5678
グループなし
個別: 90

3 (決定ボタン)を押しサブメニューを表示させます。

- ・サブメニュー画面が表示されます。

鈴木一郎
1 発信 03XXXX5678
2 編集
3 削除

4 (上下ボタン)で「3 削除」を選び、 (決定ボタン)を押します。

鈴木一郎
削除しますか?
はい
いいえ

5 (上下ボタン)で「はい」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

- ・削除が完了します。

6 電話機は待ち受け状態に戻ります。

Note

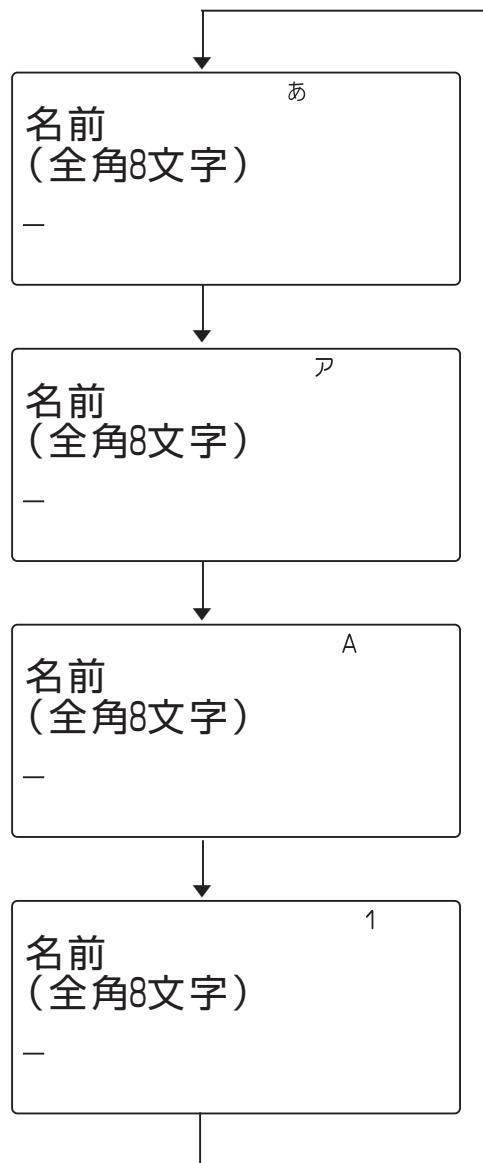
- 編集操作を途中でキャンセルする場合は、いったん受話器を取り上げ、受話器を置いてください。
- 登録中や検索中の画面で一定時間(3分)操作を行わない状態が続くと、操作画面は終了し、電話機は待ち受け状態になります。
- 一般電話機(システム電話機以外)の場合、システム電話帳に登録した電話番号を選択したときは、操作手順3の表示は「1 発信」のみ行われます。

文字の入力方法

電話帳ダイヤルの登録などで文字を入力します。文字入力時には、「漢字」「ひらがな」「カタカナ」「英字」「数字」「記号」を入力することができます。**文字 電話帳**を押して入力モードを選択し、ダイヤルボタンで希望する文字を表示させて入力します。

1 **文字 電話帳**を押して入力モードを選択します。

- ひらがなモード
漢字、ひらがなを入力することができます。
- 半角カタカナモード
半角カタカナを入力することができます。
- 半角英字モード
半角英字、記号を入力することができます。
- 半角数字モード
半角数字を入力することができます。



2 文字を入力します。

ひらがなモードの場合

【例】「岩崎」と入力する場合

1. [1 あ] を2回、[0 わをん 記号] を1回、[3 DEF] を1回、
[2 ABC] を2回押します。

あ
名前
(全角8文字)
いわさき

2. [□] (上ボタン) または [□] (下ボタン) で文字を変換します。

- ・漢字候補→全角カタカナ→ひらがな⇒半角カタカナ
- ・入力したい文字に変換できない場合は、

[□] (左ボタン) または [□] (右ボタン) で変換対象を漢字1文字分にしたり、濁点や半濁点をはずしたり、読み方を変えて(音読み／訓読み)入力し直してください。

3. 入力したい文字が表示されたら [□] (決定ボタン) を押します。
・確定された文字が上段に移動します。

あ
名前
(全角8文字)
[岩崎]

あ
名前
(全角8文字)
岩崎_

カタカナモードの場合

【例】「イサキ」と入力する場合

1. [1 あ] を2回、[0 わをん 記号] を1回、[3 DEF] を1回、
[2 ABC] を2回押します。

ア
名前
(全角8文字)
イサキ

2. [□] (上ボタン) または [□] (下ボタン) で文字を変換します。

- ・半角カタカナ→全角カタカナ

ア
名前
(全角8文字)
[イワサキ]

(次ページへ続く)

- 入力したい文字が表示されたら□(決定ボタン)を押します。
 - 確定された文字が上段に移動します。

ア

名前 (全角8文字)
イサキ_

英字モードの場合

【例】「KT」と入力する場合

- 5° JKLを2回、8 TUVを1回押します。

A

名前 (全角8文字)
KT_

- (決定ボタン)を押します。
 - 確定された文字が上段に移動します。

A

名前 (全角8文字)
KT_

数字モードの場合

【例】「123」と入力する場合

- 1 あ、2 ABC、3 DEFの順に押します。

1

名前 (全角8文字)
123_

- (決定ボタン)を押します。
 - 確定された文字が上段に移動します。

1

名前 (全角8文字)
123_

ちょっと一言!

- 文字が割り当てられているボタンを、入力したい文字が表示されるまで繰り返し押してください。
入力したい文字が表示されたら、次の入力したい文字のボタンを押してください。入力が確定します。
続けて同じボタンの文字を入力したいときは、#を押してカーソルを右に移動させてからボタンを押してください。
- 文字入力を間違えたときは、クリア/戻るを押してください。カーソルの位置の1文字が削除され、後ろの文字が詰められます。また、クリア/戻るを1秒以上押し続けることで全文字削除することができます。
- 入力文字を修正したいときは、□(左ボタン)または□(右ボタン)を押してカーソルを修正したい桁まで移動し、再度入力してください。
- 文字入力はカーソル位置への挿入となります。ただし、入力桁数を超えると入力できなくなります。
- 3分間何も操作が行われない状態が続くと、文字入力はキャンセルされます。

●文字を入力するときのカタカナ／英字／数字の各モードでの入力キーは以下の通りです。

キー	ひらがなモード	半角カタカナモード	半角英字/記号モード	半角数字モード
1 あ	あいうえおあいうえお	アイウオアイウオ	./_@1空白	1
2 か ABC	かきくけこ	カキケコ	ABCabc2	2
3 さ DEF	さしすせそ	サシスセソ	DEFdef3	3
4 た GHI	たちつてとっ	タチツテトッ	GHlghi4	4
5 な JKЛ	なにぬねの	ナニヌネノ	JKLjkl5	5
6 は MNO	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNOmno6	6
7 ポクス PQRS	まみむめも	マミムメモ	PQRSpqrs7	7
8 や TUV	やゆよやゆよ	ヤコヨヤコヨ	TUVtuv8	8
9 らWXYZ	らりるれろ	ラリルレロ	WXYZwxyz9	9
□ わをん 記号	わをんわ 一。、！？空白	ワヲンー。、！？空白	:~`!?'”()\$%#+*= ^`;¥& {}<>[]0空白	0
*	(無効)	*
#	(無効)	(無効)	定型句選択	#
文字 電話帳	半角カタカナ入力モードへ切替	半角英字/記号入力モードへ切替	半角数字入力モードへ切替	ひらがな入力モードへ切替
□	変換候補選択	変換候補選択(全角/半角)	変換候補選択(全角/半角)	変換候補選択(全角/半角)
□	変換候補選択	変換候補選択(全角/半角)	変換候補選択(全角/半角)	変換候補選択(全角/半角)
□	カーソル左移動	カーソル左移動	カーソル左移動	カーソル左移動
□	カーソル右移動	カーソル右移動	カーソル右移動	カーソル右移動
□	候補決定/入力確定	候補決定/入力確定	候補決定/入力確定	候補決定/入力確定
クリア/戻る	1文字消去/変換候補選択キャンセル	1文字消去/変換候補選択キャンセル	1文字消去/変換候補選択キャンセル	1文字消去/変換候補選択キャンセル
クリア/戻る (長押し)	全文字消去	全文字消去	全文字消去	全文字消去

●制御コードの入力方法

制御コードは、電話番号2桁分に相当します。

制御コード	入力方法	ディスプレイ表示
ポーズ	「保留」ボタンを押し、続けて「1」～「9」ボタン(ポーズの秒数1～9秒)を押します。	-n ※(n:1～9)
ダイヤルリバース(DP→PB)	「保留」ボタンを押し、続けて「*」ボタンを押します。	T
ダイヤルリバース(PB→DP)	「保留」ボタンを押し、続けて「#」ボタンを押します。	P
ロングフラッシュ	「フラッシュ」ボタン(または「保留」ボタンを押し、続けて「0」)を押します。	F

6 基本的な使い方

外へ電話をかける <外線発信>

外へ電話をかける <一般発信>

- 1 空いている外線ボタンを押し、次に受話器を取り上げます。(またはスピーカを押します)
 - ・緑色の外線ランプが点滅します。
 - ・ツーという発信音を確認してください。
- 2 電話番号をダイヤルし、相手の方が出たら通話します。

短縮ダイヤルをかける <短縮ダイヤル>

- 1 空いている外線ボタンを押し、次に受話器を取り上げます。(またはスピーカを押します)
 - ・緑色の外線ランプが点滅します。
 - ・ツーという発信音を確認してください。
- 2 短 縮、短縮ダイヤルの順にダイヤルし、相手の方が出たら通話します。

外からの電話を受ける <外線着信>

外からの電話を受ける <外線着信>

1 着信している外線ボタンを押します。

- ・赤色の点滅が緑色に変わります。

2 受話器を取り上げ、通話します。

- システムの設定で局線着信鳴音指定が設定されている電話機で、着信の時に相手のダイヤルが通知されている場合、そのダイヤルが電話帳に登録されていると、電話帳に登録された名前がディスプレイの1行目に表示されます。
- ディスプレイに表示された相手の方の名前は、通話を開始すると消えます。表示が消えた後で相手の方の名前を確認したい場合は、着信記録(62ページ)を参照してください。相手の方の名前がディスプレイに表示されます。

受話器を置いたまま外線と通話する

1 [スピーカ] を押し、受話器を置いて通話します。

2 必要に応じて、[マイク]ボタンを押します。

- 通話中は[機能]+**6** [は]**I** [あ]の特番操作は無効です。
- [マイク]ボタンはフレキシブルボタン登録により割り当てます。もう一度[マイク]ボタンを押すと、内蔵マイクがOFFとなります。[マイク]ボタンの代わりに[機能]+**0** [わせん記号]**6** [は]**I** [あ]を押すと内蔵マイクがOFFになります。

Note

- マイクがオフの時は、受話器を使用して通話をしてください。
- 受話器を上げて通話中は、ハンズフリー通話にできません。
- 外線通話時は相手の保留音が途切れる事がありますが故障ではありません。
- 音量を最大にしても相手の声が小さい時は、受話器で通話してください。

(次ページへ続く)

お願い

ハンズフリー通話時は以下の注意事項をお守りください。

- ・通話相手と交互にお話しください。
同時に話すと相手の音声が途切れる事があります。
- ・電話機の前方50cm付近でマイクに向かってお話しください。
離れすぎるとマイクが音をひろいにくくなります。
- ・天気予報や時報など、相手の声を聞くだけの時は、マイクをオフにしてください。
マイクがオンになっていると音声が途切れる事があります。
- ・以下の場合は、相手の声が途切れる事があります。その場合は受話器をお使いください。
 - ・相手がハンズフリー通話の場合
 - ・相手がドアホンの場合
 - ・会議通話の場合
 - ・騒がしい、または音が反響しやすい場所で通話をする場合

お待ちいただくとき <外線保留>

1 通話状態で [保 留] を押し、受話器を置きます。

●再び通話するときは、保留中の外線ボタンを押して受話器を取り上げ、通話します。

保留した外線を他の人が受けないようにする <外線自己保留>

1 通話状態で [機 能] [保 留] の順に押し、受話器を置きます。

●再び通話するときは、保留中の外線ボタンを押して受話器を取り上げ、通話します。

内部の人を呼び出す <内線発信>

音で呼び出す <内線トーン呼び出し>

1 受話器を取り上げます。(またはスピーカを押します。)

- ・ツツツツツツツという内線発信音を確認してください。

2 相手の内線番号をダイヤルします。

- ・相手の電話機は呼び出し音が鳴ります。

3 相手の方が出たら通話します。

声で呼び出す <内線音声呼び出し>

1 受話器を取り上げます。(またはスピーカを押します。)

- ・ツツツツツツツという内線発信音を確認してください。

2 相手先の内線番号、#の順にダイヤルし、受話器で「〇〇さん」のように呼びかけます。

- ・相手の電話機のスピーカーからこちらの声が出ます。

3 相手の方が出たら通話します。

内部から呼び出しを受ける <内線着信>

受話器を取り上げて応答する <内線自動応答>

- 1 トゥルトゥルトゥルという呼出音が鳴ったら、受話器を取り上げます。
- 2 通話します。

音声による内線呼び出しに、受話器を上げずに応答する <内線ハンズフリー応答>

- 1 「〇〇さん」という呼出音声が聞こえたら、通話します。
 - 2 必要に応じて、[マイク]ボタン(または機能 + 6 MNO + I あ)を押します。
- [マイク]ボタンはフレキシブルボタン登録により割り当てます。もう一度[マイク]ボタンを押すと、内蔵マイクがOFFとなります。[マイク]ボタンの代わりに機能 + □ 記号 6 は MNO I あを押すと内蔵マイクがOFFになります。

お待ちいただくとき <内線保留>

- 1 通話状態で保留を押し、受話器を置きます。
・内線保留状態になります。
- 2 再び通話するときは、内線ボタンを押し、受話器を取り上げます。
- 3 通話します。

お待ちいただくとき

通話を一時中断して相手の方に待っていただくときには保留します。相手の方へは保留音が流れます。

保留には、他の内線電話機でも電話にでることができる共通保留、他の内線電話機ではでることができない個別保留と、同じパーク保留グループ内の内線電話機で電話にでることができるパーク保留があります。(パーク保留については、システムの取扱説明書一基本編一をご参照ください。)

普通に保留する <共通保留>

1 通話中の相手の方に待っていただくよう伝えます。

2 **保留**を押します。

- ・内線ダイヤルトーンが聞こえます。
- ・相手の方には保留音が聞こえます。
- ・保留した局線ボタンが緑にゆっくりと点滅します。
- ・内線ボタンが点灯し、周期的に2回点滅します。

ナイセン

3 保留している局線ボタンを押すと、保留していた相手の方と再び通話できます。

- ・保留した局線ボタンが緑に点灯し、周期的に2回点滅します。

1234567

0:23

Note

●保留した状態で話中音(プー..プー..プー)が聞こえているときは局線ボタンを押しても通話に戻れません。一度、受話器を置いてから局線ボタンを押し、受話器を取り上げてお話し下さい。

他の電話機で取れないようにする <個別保留>

1 通話中の相手の方に待っていただくように伝えます。

2 **機能**を押します。

3 **保留**を押します。

- ・内線ダイヤルトーンが聞こえます。
- ・相手の方には保留音が聞こえます。
- ・局線ボタンが緑にゆっくりと点滅します。
- ・内線ボタンが点灯し、周期的に2回点滅します。

ナイセン

4 保留している局線ボタンを押すと、保留していた相手の方と再び通話することができます。

- ・局線ボタンが緑に点灯し、周期的に2回点滅します。

1234567

0:53

Note

- 手順2の後、10秒以内に**保留**を押してください。10秒以上間隔があくと共通保留となります。
- 個別保留を行ったときは、他の電話機の局線ボタンはビジー表示となります。
- 保留した状態で話中音(プー..プー..プー)が聞こえているときは局線ボタンを押しても通話に戻れません。一度、受話器を置いてから局線ボタンを押し、受話器を取り上げてお話し下さい。

通話を他の人に回す <転送>

近くの人に声をかけて回す <外線保留転送>

- 1 通話状態で [保 留] を押します。
- 2 「〇〇さん××番に電話です」のように呼びかけます。
- 3 呼ばれた方は該当する外線ボタンを押し、通話します。

特定の内線番号に回す <外線自動転送>

- 1 通話状態で [転 送] を押し、転送先の内線番号をダイヤルします。
 - 2 つながったら、「〇〇さん××番に電話です」のように呼びかけて、受話器を戻します。
 - 3 呼ばれた方は通話します。
- 転送できない場合は、[転 送] を再び押せば保留した外線に応答できます。

最後にかけた相手に再びかけ直す <ラストナンバリダイヤル>

- 1 空いている外線ボタンを押し、次に受話器を取り上げます。(またはスピーカを押します。)
 - ・緑色の外線ランプが点滅します。
 - ・ツーという発信音を確認してください。
 - 2 [再発信]ボタン(または短縮 + #)を押します。
 - 3 相手の方が出たら通話します。
- [再発信]ボタンはフレキシブルボタン登録により割り当てます

7 電話帳(短縮)を使用する

電話帳を検索してかける <読み仮名検索>

- 1 受話器を置いた状態で、**電話帳**を押し
ます。

・検索読み仮名入力画面が表示されます。

文字

電話帳

検索ヨミガナ入力
(半角8文字)

ア

- 2 検索したい電話帳の読み仮名を入力し
ます。

- 3  (決定ボタン)を押します。

・検索に一致した場合は、一致した電話帳に
カーソルが合った状態で読み仮名一覧画面が
表示されます。

[ア-オ]
岩崎通信機

- 4  (上下左右ボタン)で発信したい電話
帳を選択します。

- 5  (決定ボタン)を押します。

・詳細画面が表示されます。

岩崎通信機
03XXXX5678
ケルーフ°なし
個別:90

- 6  (決定ボタン)を押します。

・項目メニュー画面が表示されます。

岩崎通信機
1 発信 03XXXX5678
2 編集
3 削除

- 7  (上下ボタン)で「1 発信」を選択し、
 (決定ボタン)を押します。

- 8 受話器を上げます。

・選択した電話帳の相手先に発信します。

Note

- 検索モード切替を行うと、検索モードが記憶され、再度電話帳を起動した際に前回指定した検索画面が表示されます。
- 検索操作をキャンセルする場合は、**メニュー**を押してください。
- 読み仮名一覧画面で受話器を上げると、カーソルが合っている電話帳の相手先に発信します。
- 詳細画面で受話器を上げると、詳細表示中の電話帳の相手先に発信します。
- 読み仮名一覧画面が表示されている状態で「数字キー」を押すと、読み仮名の先頭文字を対象に検索を行い、一致した電話帳にカーソルが移動します

電話帳を検索してかける <50音順検索>

1 読み仮名検索の手順1～3までの手順で、読み仮名一覧画面を表示します。

2  電話帳 を押します。

- ・検索モード切替画面が表示されます。

検索モード切替
1 ヨミガナ検索
2 50音順検索
3 電話帳グループ検索

3  (上下ボタン)で「2 50音順検索」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

- ・先頭の電話帳にカーソルが合った状態で読み仮名一覧画面が表示されます。

[ア-オ]
岩崎通信機

4  (上下左右ボタン)で発信したい電話帳を選択します。

5  (決定ボタン)を押します。

- ・詳細画面が表示されます。

岩崎通信機
03XXXX5678
ケルーフ。なし
個別:90

6  (決定ボタン)を押します。

- ・項目メニュー画面が表示されます。

岩崎通信機
1 発信 03XXXX5678
2 編集
3 削除

7  (上下ボタン)で「1 発信」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

8 受話器を上げます。

- ・選択した電話帳の相手先に発信します。

Note

- 検索モード切替を行うと、検索モードが記憶され、再度電話帳を起動した際に前回指定した検索画面が表示されます。
- 検索操作をキャンセルする場合は、 メニュー を押してください。
- 読み仮名一覧画面で受話器を上げると、カーソルが合っている電話帳の相手先に発信します。
- 詳細画面で受話器を上げると、詳細表示中の電話帳の相手先に発信します。
- 読み仮名一覧画面が表示されている状態で「数字キー」を押すと、読み仮名の先頭文字を対象に検索を行い、一致した電話帳にカーソルが移動します。

電話帳を検索してかける <電話帳グループ検索>

1 読み仮名検索の手順1～3までの手順で、読み仮名一覧画面を表示します。

2 文字
電話帳を押します。

- ・検索モード切替画面が表示されます。

検索モード切替
1 ヨミガナ検索
2 50音訓検索
3 電話帳グループ検索

3 □(上下ボタン)で「3 電話帳グループ検索」を選択し、□(決定ボタン)を押します。

- ・電話帳グループ一覧画面が表示されます。

[グループなし]
岩崎通信機

4 □(上下左右ボタン)で発信したい電話帳を選択します。

5 □(決定ボタン)を押します。

- ・詳細画面が表示されます。

岩崎通信機
03XXXX5678
グループなし
個別: 90

6 □(決定ボタン)を押します。

- ・項目メニュー画面が表示されます。

岩崎通信機
1 発信 03XXXX5678
2 編集
3 削除

7 □(上下ボタン)で「1 発信」を選択し、□(決定ボタン)を押します。

8 受話器を上げます。

- ・選択した電話帳の相手先に発信します。

Note

- 検索モード切替を行うと、検索モードが記憶され、再度電話帳を起動した際に前回指定した検索画面が表示されます。
- 検索操作をキャンセルする場合は、メニューを押してください。
- 電話帳グループ一覧画面で受話器を上げると、カーソルが合っている電話帳の相手先に発信します。
- 詳細画面で受話器を上げると、詳細表示中の電話帳の相手先に発信します。
- 電話帳グループ一覧画面が表示されている状態で「数字キー」を押すと、表示中の電話帳グループに所属している電話帳の読み仮名の先頭文字を対象に検索を行い、一致した電話帳にカーソルが移動します。

電話帳を検索してかける <短縮番号検索>

1 読み仮名検索の手順1～3までの手順で、読み仮名一覧画面を表示します。

2  電話帳 を押します。

- ・検索モード切替画面が表示されます。

検索モード切替
4 短縮番号検索

3  (上下ボタン)で「4 短縮番号検索」を選択し、 (決定ボタン)を押します。
・短縮番号一覧画面が表示されます。

[90-99] [90]
岩崎通信機

4  (上下左右ボタン)で発信したい電話帳を選択します。

5  (決定ボタン)を押します。

- ・詳細画面が表示されます。

岩崎通信機
03XXXX5678
グループなし
個別: 90

6  (決定ボタン)を押します。

- ・項目メニュー画面が表示されます。

岩崎通信機
1 発信 03XXXX5678
2 編集
3 削除

7  (上下ボタン)で「1 発信」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

8 受話器を上げます。

- ・選択した電話帳の相手先に発信します。

Note

- 検索モード切替を行うと、検索モードが記憶され、再度電話帳を起動した際に前回指定した検索画面が表示されます。
- 検索操作をキャンセルする場合は、 メニュー を押してください。
- 短縮番号一覧画面で受話器を上げると、カーソルが合っている電話帳の相手先に発信します。
- 詳細画面で受話器を上げると、詳細表示中の電話帳の相手先に発信します。
- 短縮番号一覧画面が表示されている状態で「数字キー」を押すと、電話帳の短縮番号検索を行い、一致した電話帳にカーソルが移動します。

8 発信／着信履歴

発信履歴／着信履歴から相手を選んで、外線に電話をかけることができます。

発信履歴からかける

過去に発信した電話番号は、発信履歴として最新の30件を記録しています。発信履歴から相手を選んで、外線に電話をかけることができます。

1 受話器を置いた状態で、 (発信履歴ボタン)を押します。

- ・発信履歴リストが表示されます。
- ※発信履歴リストの表示中に、 を押すと、発信履歴リストの表示を終了します。

03XXXX5555	18:36
03XXXX2222	18:36
3001	12:55
岩崎通信機	09:12

2 (上下ボタン)で表示する発信履歴を選択します。

03XXXX5555	18:36
03XXXX2222	18:36
3001	12:55
岩崎通信機	09:12

3 (決定ボタン)を押します。

- 発信履歴詳細表示が表示されます。
※発信履歴詳細表示中に、 を押すと、手順2の発信履歴リストの表示に戻ります。

〈登録なし〉
03XXXX5555
10年09月16日 18:36

4 受話器を取り上げます。

- ・選択した相手先の電話番号にダイヤルされます。

Note

- 発信履歴に記録されている電話番号の行数は、最大32行です。

着信履歴からかける

過去に着信した電話番号は、着信履歴として最新の50件を記録しています。着信履歴から相手を選んで、外線に電話をかけることができます。

1 受話器を置いた状態で、 (着信履歴) を押します。

- 着信履歴リストが表示されます。
※着信履歴リストの表示中に、 ボタンを押すと、着信履歴リストの表示を終了します。

03XXXX2222	09/13他
03XXXX2222	09/13他
03XXXX2222	09/13他
03XXXX2222	09/13未

2 (上下ボタン)で相手先の着信履歴を選択します。

03XXXX2222	09/13他
03XXXX2222	09/13他
03XXXX2222	09/13他
03XXXX2222	09/13未

3 受話器を取り上げます。

- 選択した相手先の電話番号にダイヤルされます。

Note

- 着信拒否(ドントディスターク)中の着信は、着信履歴に記録されません。
- 着信履歴に非通知で記憶されている相手に対しては、発信できません。
- 着信履歴リストに表示される相手先は、電話帳に登録されていれば、その名前が表示されます。電話帳に登録されていない場合は、相手先の電話番号のみ表示されます。
- 内線の発信／着信は、発信／着信履歴に蓄積されます。
- 着信履歴は、応答した電話機にのみ残ります(他の電話機には着信履歴は残りません)。または、他の応答していない電話機に残すこともできます。
- 全ての電話機が応答しない着信履歴は、着信している電話機全てに蓄積されます。

9 さらに便利な使い方

3人または4人で同時に通話する <会議通話>

外線または内線と通話中に会議通話をする <外線会議通話><内線会議通話>

- 1 通話状態で [転送] を押し、参加させたい内線番号をダイヤルします。
 - 2 相手先が応答したら「会議通話に参加してください」のように呼びかけます。
 - 3 [会議] ボタンを押し、3人で通話します。
※4人で通話する場合は、それぞれ同じ操作を繰り返します。
- [会議] ボタンはフレキシブルボタン登録により割り当てます。

外線と通話中に他の外線を呼び出して会議通話する <複数外線会議通話>

- 1 通話状態で [保留] 、空いている外線ボタンの順に押します。
 - 2 相手先の電話番号をダイヤルし、応答したら「会議通話に参加してください」のように呼びかけます。
 - 3 [会議] ボタン、保留してある外線ボタンの順に押し、3人で通話します。
※4人で通話する場合は、それぞれ同じ操作を繰り返します。
- [会議] ボタンはフレキシブルボタン登録により割り当てます。

Note

- 内線と外線を混在して会議通話をした場合、内線に比べて外線の声が小さく聞こえますが、故障ではありません。

10 故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったときは、修理に出す前に次の点をご確認ください。

基本動作

こんなときは	原 因	確認してください	参照ページ
電話をかけられない	空き回線がない	少し待ってからかけ直してみてください	—
相手の声が小さい	受話音量を小さく設定している	受話音量を上げてみてください	22
会話中の相手の声が大きすぎる、ひずんで聞こえる	受話音量を大きく設定しそぎている	受話音量を下げてみてください	22
着信音が小さい	着信音量を小さく設定している	着信音量を上げてみてください	24
着信音が大きすぎる	着信音量を大きく設定しそぎている	着信音量を下げてみてください	24
相手に声が通らない	ミュートがオンになっている	ミュートをオフにしてください	—
リコール表示ができる	保留が残っている	お近くの電話機で受話器を上げて、 [機能] + [3 DEF] [I あ] を押して、応答してください	—

11 こんな音がしたら

受話口から出る音

種 別	音	こんな状態のときに聞こえます
内線ダイヤルトーン	プープーピー・・・・・	ダイヤルができるとき
ビジートーン (話中音)	プー..プー..プー・・・・・	ダイヤルした相手が通話中のとき
相手呼出中音	プルプルプル..プルプルプル..	相手を呼び出しているとき

スピーカ口から出る音

種 別	音	こんな状態のときに鳴ります
確認音	ピーピーピー	登録操作が完了したとき
警告音	プー..プー..プー	登録操作が失敗したとき
内線着信音	トゥルトゥルトゥル..・・・	内線電話機からの呼び出しのとき
外線着信音	トゥルルルルル..・・・	外線からの呼び出しのとき
キータッチトーン	ピッ	ボタンを押したとき

12 主な仕様

項目	仕様
外形寸法	183(W)×88(D)×245(H)mm
質量	900g
消費電力	約2.3W(最大)、約0.6W(待機時)、0W(エコモード時)
環境条件	周囲温度：0～40。C 相対湿度：90%RH以下(ただし結露しないこと)

○仕様および外観は、性能改善等の理由により、予告なく変更することがあります。

13 オプション

オプション品の入手は、お買い求めの販売店もしくは工事店にご相談ください。販売店がご不明の場合には、岩崎通信機お客様ご相談センタへご相談ください。

- 受話音量増幅・騒音防止送話機(NHHDハンドセット)
- 内線線路延長用品(IX-24KT-EXT)(IX-24KTAPF-Nを除く)

14 アフターサービスについて

- **アフターサービスはお買い求めの販売店、もしくは工事店が行います。**
万一の故障の修理、移動、増設、移設はすべてお買い求めの販売店、もしくは工事店にご依頼ください。
- **修理はお買い求めの販売店、もしくは工事店にご依頼ください。**
修理はお買い求めの販売店、もしくは工事店にまずご相談ください。
販売店へのご相談ができない場合には、岩崎通信機お客様ご相談センタへご相談ください。

<お客様ご相談センタ：0120-186102>

修理により商品の機能が維持できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料：故障した製品を正常に修復するための作業にかかる費用です。
部品代：修理に使用した部品代金です。
出張料：製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。

ただし、商品の機能が維持できるかお電話で判断できない場合にはご希望により出張し、判断させていただきます。その結果、修理しても商品の機能が維持できないとした場合でも有料となる場合がありますのでご了承ください。

・補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品(商品の性能を維持するために必要な部品)は、製造打ち切り後、7年を目安に保有しています。この期間中は原則として修理をお受け致します。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い求めの販売店、もしくは工事店にお問い合わせください。

このたびはLEVANCIQをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も本製品のそばなど、いつもお手元に置いてお使いください。

ご不明の点がございましたら、岩崎通信機お客様相談センタへお気軽にご相談ください。

＜お客様相談センタ：☎ 0120-186102＞

お客様メモ

お買い求めになった年月日、店名等をご記入ください。
修理を依頼される時やお問い合わせの時に大変便利です。

設置年月日	年 月 日
設置店名	
住所	
電話番号	

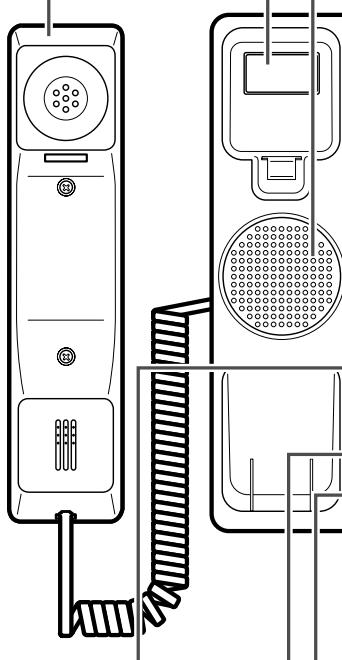
各部の名前とはたらき

着信ランプ／ボイスメールメッセージランプ

電話がかかってきたときに点滅します。ボイスメールメッセージがあるときに点灯します。

スピーカ

受話器 フックスイッチ



ダイヤルボタン※

電話番号や文字を入力するときに使用します。

クリア／戻るボタン

入力した電話番号や文字を修正するときに使用します。

電話帳ボタン

電話帳を使って電話をかけるときに使用します。

文字の入力モードの選択に使用します。

ディスプレイ

時刻、ダイヤルした電話番号、通話料金などを表示します。

フレキシブルボタン
(フレキシブルファンクション)

システムの設定により、いろいろな機能を割り付けることができます。

内線ボタン

内線でお話するときに使用します。(8番目のキー)

外線ボタン
(フレキシブルファンクションボタン)

システムの設定により、いろいろな機能を割り付けることができます。

機能ボタン

ダイヤルボタンと組み合わせて、いろいろな機能を使うときに使用します。

マイク

十字／決定ボタン

上下（音量／検索）ボタン：受話音量、着信音量およびスピーカ音量の調節に使用します。

電話帳、発着信履歴やメニュー機能の検索に使用します。

電話帳ダイヤルの登録などでの漢字変換を行うときに使用します。

左右（着信履歴／発信履歴）ボタン：

発着信履歴の表示やカーソルを移動するときに使用します。

決定ボタン：

選択した項目や入力した内容などを確定するときに使用します。

保留ボタン

電話を保留するときに使用します。

※：ダイヤルボタン **S^{*} JK[#]** の部分に突起が付いていますが、この突起は目の不自由な方の操作を容易にするためのものです。

時刻を設定する

システム電話機にてシステム内の日時を設定することができます。

● 設定方法

- 1 受話器を置いた状態で、**メニュー**を押します。

・メインメニュー画面が表示されます。

1 電話機設定
2 電話帳編集
3 不在転送設定

- 2  (上下ボタン)で「0 システム設定」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

・システム設定画面が表示されます。

4 ホームメール設定
5 個人情報削除
0 システム設定

- 3  (上下ボタン)で「3 日付と時刻変更」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

・日付と時刻変更画面が表示されます。

1 SLT/FAXダイヤル種別
2 保留音
3 日付と時刻変更

- 4 日時を設定します。西暦下2桁と年月日および時刻(24時間表記)を入力し、 (決定ボタン)を押します。

1
日付と時刻変更
年 月 日 :

1
日付と時刻変更
11年01月31日 10:10

- 5 待ち受け状態に戻るには、もう一度**メニュー**を押します。

システム電話機(親機)の確認方法

- 1 受話器を置いた状態で、**機能** + **9 WXYZ** を押します。

・システム電話機は、内線番号の後に“s”が表示されます。

EXT #1 3001 s
3001

電話帳を登録する

下記の内容を登録する場合を例にとって、登録操作を説明します。

名前：鈴木一郎、電話番号：03-XXXX-5678、
電話帳グループ：グループ2、外線発信グループ：1

1 受話器を置いた状態で、を押します。

- ・メインメニュー画面が表示されます。

1 電話機設定
2 電話帳編集
3 不在転送設定

2 (上下ボタン)で「2 電話帳編集」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

- ・電話機設定選択画面が表示されます。

1 電話帳登録
2 個別電話帳全削除
3 電話帳グループ名変更

3 (上下ボタン)で「1 電話帳登録」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

- ・登録モード選択画面が表示されます。

4 (上下ボタン)で「1 名前」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

- ・名称の入力画面が表示されます。

あ
名前
(全角8文字)
ー

5 登録先の名称(姓)を入力します。

例：すずき

- ① す : を3回押す
- ② す :  (右ボタン)を押して、右に1文字移動し、を3回押す
- ③ 〃 (濁点) : を1回押す。
- ④ き : を2回押す

あ
名前
(全角8文字)
すずき

6 (上下ボタン)を押します。

- ・カーソル位置までの変換候補が表示されます。

7 (上下ボタン)を押し、目的の候補を選択し、 (決定ボタン)を押します。

あ
名前
(全角8文字)
鈴木_

8 登録先の名称(名)を入力します。

例：いちろう

い： あを2回押す

ち： かを2回押す

ろ： わを5回押す

う： おを3回押す

名前
(全角8文字)
鈴木
いちろう

あ

9 (上下ボタン)を押します。

- カーソル位置までの変換候補が表示されます。

10 (上下ボタン)を押し、目的の候補を選択し、 (決定ボタン)を押します。

11 (決定ボタン)を押します。

- 名称が確定します。

1 名前
2 ヨミガナ
3 電話番号1
[鈴木一郎]  登録

12 (上下ボタン)で「2 ヨミガナ」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

※名称の入力時に入力した文字が、読み仮名として表示されます。

13 読み仮名の変更が必要な場合は、修正します。

14 (決定ボタン)を押します。

- 読み仮名が確定します。

1 名前
2 ヨミガナ
3 電話番号1
[ 登録

15 (上下ボタン)で「3 電話番号1」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

- 発信先の選択画面が表示されます。

発信先
1 外線
2 内線

16 (上下ボタン)で登録する電話番号が外線であるか内線であるかを選択し、 (決定ボタン)を押します。

1
電話番号1
(32桁)

17 電話番号(32桁以内)を押します。

- ・入力されたダイヤルが表示されます。

例：03XXXX5678

電話番号1
(32桁)

03XXXX5678

1

18 □(決定ボタン)を押します。

- ・電話番号が確定します。

1 名前

2 ヨミカナ

3 電話番号1

[03XXXX5678]登録

◆

19 □(上下ボタン)で「7 電話帳グループ」を選択し、□(決定ボタン)を押します。

7 電話帳グループ

8 発信グループ

[グループなし]登録

◆

20 □(上下ボタン)で、指定する電話帳グループを選択し、□(決定ボタン)を押します。

例：グループ02

電話帳グループの選択を確定します。

電話帳グループ

グループなし

グループ01

グループ02

◆

21 □(上下ボタン)で「8 発信グループ」を選択し、□(決定ボタン)を押します。

7 電話帳グループ

8 発信グループ

[0]登録

◆

22 外線発信グループ番号(00～60)を押します。

発信グループ

(0-60)

1

01

23 □(決定ボタン)を押します。

7 電話帳グループ

8 発信グループ

[0]登録

◆

24 短縮番号の変更が必要な場合は、

□(上下ボタン)で「6 短縮番号」を選択し、△(決定ボタン)を押します。

- 登録先選択画面が表示されます。

登録先

- 1 個別電話帳
2 システム電話帳

25 個別電話帳に指定する場合、「1 個別電話帳」を選択し、△(決定ボタン)を押します。

- 入力画面が表示されます。

短縮番号
(90-99)

1

90

26 短縮番号(90～99)をダイヤルします。

短縮番号
(90-99)

1

90

27 システム電話帳に指定する場合、「2 システム電話帳」を選択し、△(決定ボタン)を押します。

- 入力画面が表示されます。

短縮番号
(0000-8999)

1

0001

28 短縮番号(0000～8999)をダイヤルします。

29 △(決定ボタン)を押します。

- 短縮番号が確定されます。

30 保留 を押します。

- 登録が完了します。

電話帳登録/編集
登録しました

31 待ち受け状態に戻るには、もう一度メニュー を押します。

発信履歴から電話帳に登録する

- 1 受話器を置いた状態で、 (発信履歴ボタン)を押します。

・発信履歴リストが表示されます。

03XXXX5555	18:36
03XXXX2222	18:36
3001	12:55

- 2  (上下ボタン)で登録する発信履歴を選択し、 (決定ボタン)を押します。

・発信履歴詳細が表示されます。

〈登録なし〉
03XXXX5555
10年09月16日 18:36

- 3  (決定ボタン)を押します。

・動作選択表示画面が表示されます。

03XXXX5555
1 電話帳登録
2 発信
3 一件削除

- 4  (上下ボタン)で「1 電話帳登録」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

・電話帳の登録画面が表示されます。

1 名前
2 ミカナ
3 電話番号
[]

- 5 「電話帳を登録する」(3ページ)の手順4以降と同様に操作します。

着信履歴から電話帳に登録する

1 受話器を置いた状態で、 (着信履歴ボタン)を押します。

- ・着信履歴リストが表示されます。

03XXXX2222	09/13他
03XXXX2222	09/13他
03XXXX2222	09/13他
03XXXX2222	09/13未

2  (上下ボタン)で登録する着信履歴を選択し、 (決定ボタン)を押します。

- ・着信履歴詳細が表示されます。

〈登録なし〉
03XXXX2222
10年09月13日 15:53
他応答 3003 外

3  (決定ボタン)を押します。

- ・動作選択表示画面が表示されます。

03XXXX2222
1 電話帳登録
2 迷惑電話防止登録
3 発信

4  (上下ボタン)で「1 電話帳登録」を選択し、 (決定ボタン)を押します。

- ・電話帳の登録画面が表示されます。

1 名前
2 ヨミカナ
3 電話番号
[](登録)

5 「電話帳を登録する」(3ページ)の手順4以降と同様に操作します。

登録内容を編集する

- 1 受話器を置いた状態で、を押します。

・電話帳一覧画面が表示されます。

- 2  (上下左右ボタン)で登録された電話番号を選択し、 (決定ボタン)を押します。

・登録内容が表示されます。

鈴木一郎
03XXXX5678
グループなし
個別: 90

- 3  (決定ボタン)を押しサブメニューを表示させます。

・サブメニュー画面が表示されます。

- 4  (上下ボタン)で「2 編集」を選択し、
 (決定ボタン)を押します。

・電話帳の登録画面が表示されます。

鈴木一郎
1 発信 03XXXX5678
2 編集
3 削除

- 5 電話帳の各項目を変更する。

※各項目には既存の値が入っています。必要に応じて変更してください。

- 6 を押し、変更内容の登録を行います。

短縮番号XXXXに上書きしますか?
はい
いいえ

- 7  (上下ボタン)で「はい」を選択し、
 (決定ボタン)を押します。

- 8 電話機は待ち受け状態に戻ります。

登録内容を削除する

1 受話器を置いた状態で、を押します。

- ・電話帳一覧画面が表示されます。

2  (上下左右ボタン)で登録された電話番号を選択し、 (決定ボタン)を押します。

- ・登録内容が表示されます。

鈴木一郎
03XXXX5678
グループなし
個別: 90

3  (決定ボタン)を押しサブメニューを表示させます。

- ・サブメニュー画面が表示されます。

鈴木一郎
1 発信 03XXXX5678
2 編集
3 削除

4  (上下ボタン)で「3 削除」を選び、
 (決定ボタン)を押します。

5  (上下ボタン)で「はい」を選択し、
 (決定ボタン)を押します。

- ・削除が完了します。

鈴木一郎
削除しますか?
はい
いいえ

6 電話機は待ち受け状態に戻ります。

電話帳を検索してかける <ヨミガナ検索>

- 1 受話器を置いた状態で、を押します。

・検索読み仮名入力画面が表示されます。

文字
電話帳

検索ヨミガナ入力
(半角8文字)

-

- 2 検索したい電話帳の読み仮名を入力します。

- 3 を押します。

・検索に一致した場合は、一致した電話帳にカーソルが合った状態で読み仮名一覧画面が表示されます。

[ア-オ]
岩崎通信機

- 4 で発信したい電話帳を選択します。

- 5 を押します。

・詳細画面が表示されます。

岩崎通信機
03XXXX5678
グループなし
個別:90

- 6 を押します。

・項目メニュー画面が表示されます。

岩崎通信機
1 発信 03XXXX5678
2 編集
3 削除

- 7 で「1 発信」を選択し、
を押します。

- 8 受話器を上げます。

・選択した電話帳の相手先に発信します。

発信履歴からかける

1 受話器を置いた状態で、 (発信履歴ボタン)を押します。

- ・発信履歴リストが表示されます。
※発信履歴リストの表示中に、 を押すと、発信履歴リストの表示を終了します。

03XXXX5555	18:36
03XXXX2222	18:36
3001	12:55
岩崎通信機	09:12

2 (上下ボタン)で表示する発信履歴を選択します。

03XXXX5555	18:36
03XXXX2222	18:36
3001	12:55
岩崎通信機	09:12

3 (決定ボタン)を押します。

- 発信履歴詳細表示が表示されます。
※発信履歴詳細表示中に、 を押すと、手順2の発信履歴リストの表示に戻ります。

〈登録なし〉
03XXXX5555
10年09月16日 18:36

4 受話器を取り上げます。

- 選択した相手先の電話番号にダイヤルされます。

着信履歴からかける

1 受話器を置いた状態で、 (着信履歴)を押します。

- 着信履歴リストが表示されます。
※着信履歴リストの表示中に、 ボタンを押すと、着信履歴リストの表示を終了します。

03XXXX2222	09/13他
03XXXX2222	09/13他
03XXXX2222	09/13他
03XXXX2222	09/13未

2 (上下ボタン)で相手先の着信履歴を選択します。

03XXXX2222	09/13他
03XXXX2222	09/13他
03XXXX2222	09/13他
03XXXX2222	09/13未

3 受話器を取り上げます。

- 選択した相手先の電話番号にダイヤルされます。

迷惑電話防止機能を使う

●登録方法

外線通話中に「迷惑電話防止」ボタン

※「迷惑電話防止」ボタンはデータ設定によりあらかじめ登録が必要です

●確認方法

受話器を置いた状態で「迷惑電話防止」ボタン⇒ 登録番号(3桁)

※「*」ボタンで次の情報、「#」ボタンで前の情報が表示されます

●登録の取り消し

「スピーカ」ボタン⇒「迷惑電話防止」ボタン⇒ 登録番号(3桁)

⇒「保留」ボタン⇒「迷惑電話防止」ボタン

擬似話中返しを使う

●登録方法

「外線」ボタン⇒ 受話器をあげる⇒「保留」ボタン⇒ 受話器を置く

※擬似話中の局線は、通常の局線保留中と同じ表示になります

●解除方法

受話器をあげる⇒ 擬似話中の「外線」ボタン⇒ 受話器を置く

外線への転送

●外線への手動転送

通話中に「保留」ボタン⇒「外線」ボタン⇒ 転送先の電話番号

⇒ 相手が応答したら⇒「接続ボタン」

※「接続」ボタンはデータ設定によりあらかじめ登録が必要です

内線の便利機能

- 内線の音声呼び出し(着信音の代わりに声で相手に呼びかけます)
「スピーカ」ボタン⇒ 相手の内線番号⇒「#」ボタン
⇒ 呼びかける
- 内線ハンズフリー応答(内線の音声呼びに対して、受話器を取らずに応答)
「機能」ボタン+「6」「1」⇒ 通話(マイクON操作)
「機能」ボタン+「0」「6」「1」⇒ 通話(マイクOFF操作)
- 内線代理応答(鳴っている電話機の着信を他の電話機で応答できます)
【グループ内への着信】
受話器をあげる⇒「機能」ボタン+「3」「1」⇒ 通話

【グループ外への着信】
受話器をあげる⇒「機能」ボタン+「3」「2」⇒ グループ番号
⇒ 通話

MEMO

アフターサービスについて

- 修理、増設、移設などについては、お買い求めの販売店、もしくは工事店にご相談ください。
- 商品の操作方法などについては、岩崎通信機お客様ご相談センターへお問合せください。

お客様相談センター

 **0120-186-102**
携帯PHS OK® (携帯電話／PHS からもご利用いただけます)

受付時間：平日 9:00～17:00
(土、日、祝日を除く)

IWATSU



LEVANCIO
レバンシオ

取扱説明書
– ボイスメール/メッセージ/IVR編 –

第5版

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書をよくお読みになったあとは、いつでも見られる場所に保管してください。

本書を紛失または損傷したときは、お買い求めの販売店でお買い求めください。

本書中のマーク説明

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。

注意

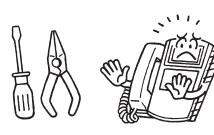
この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

(VCCI-A)

本商品のご使用にあたって、NTTのレンタル電話機がご不要となった場合は、NTT（局番なしの116番）にご連絡いただければ、「機器使用料金」は、不要となります。

- この電話機システムは日本国内用に設計されておりませんので、海外ではご利用できません。
This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通話、録音、通話料金管理、FAX通信、データ通信、その他のサービスの利用ができなかったために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本商品の設置および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店等へお申しつけください。

!**警告**

- 万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用を続けますと、火災・感電・故障の原因となります。すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、バッテリの配線をショートさせないように接続端子からはずしてください。電話機などの端末機器は、(電源スイッチのあるものは切り、電源プラグをコンセントから抜き) モジュラケーブルをはずすか、接続ケーブルを接続端子からはずしてください。その上で煙がでなくなるのを確認して、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。
- 万一、主装置が倒れて破損した場合は、主装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。電話機などの端末機器を落として破損した場合は、(電源スイッチのあるものは切り、電源プラグをコンセントから抜き) モジュラケーブルをはずすか、配線を接続端子からはずして、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 主装置から異常音がしたり、主装置キャビネットが熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店に点検をご依頼ください。
- 主装置や電話機などをぬれた手でさわったり、水をかけないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。
- 主装置や、電話機などの端末機器の通風口などの開口部から装置内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。万一、主装置や電話機などの端末機器に異物が入った場合は、装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、モジュラケーブルをはずすか、配線を接続端子からはずして、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一、主装置内部に水などの液体が入った場合は、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 主装置や電話機などを分解・改造したりしないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・清掃・修理はお買い求めの販売店にご依頼ください(分解、改造された主装置や電話機などは修理に応じられない場合があります)。
- 主装置や電話機などのそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。
- ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 主装置からの電源コードおよび電話機などの配線を傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したりすると電源コードおよび電話機までの配線が破損し、火災・感電の原因となります。電源コードおよび電話機などの配線が傷んだら、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。
- ぬれた手で電源プラグや電話機などのモジュラケーブルを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

!**警告**

- お客様による主装置の工事・修理などは危険ですから絶対におやめください。主装置の工事・修理などを行うときは、お買い求めの販売店にご依頼ください。
- 主装置の電源コードが傷んだ（芯線の露出、断線など）状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店に点検をご依頼ください。
- 動いている機械の近くでヘッドセットを使用している場合は、コード類の機械への巻き込みに十分注意してください。大怪我の原因になります。
- 故障したまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、差し込みプラグを抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 電源プラグの刃に金属などが触れると火災・感電の原因となります。
- 主装置や電話機などはぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、主装置や電話機などの上に重いものを乗せないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 万一、電話機などの内部に水などの液体が入った場合は、すぐに電話機などを電話機コードから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。

!**注意**

- 主装置は直射日光の当たるところや、暖房設備・ボイラーなどのため著しく温度が上昇するところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 主装置や電話機などを調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電話機などを壁掛け用に取り付ける場合は、電話機などの重みにより落下しないよう堅固に取り付け、設置してください。落下してけがの原因となることがあります。
- 電話機底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 近くに雷が発生したときは、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてご使用を控えてください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。
- 主装置や電源コードを熱器具に近づけないでください。主装置キャビネットや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 主装置の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと主装置の内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。
 - ・主装置を仰向けや横倒し、逆さまにする。
 - ・主装置を収納棚や本箱などの風通しの悪い狭いところに押し込む。
 - ・主装置をじゅうたんや布団の上に置く。
 - ・主装置にテーブルクロスなどをかける。

⚠ 注意

- 長時間ご使用にならないときは、安全のため必ず主装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電話機パネルの取り外しには先のとがったものを利用してください。指や爪で行うとけがをすることがあります。
- 主装置を移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、配線など外部の接続線をはずしたことを確認のうえ行ってください。また、電話機などの端末機器を移動させる場合は、電源コードのあるものは電源プラグをコンセントから抜き、モジュラケーブルや配線などを接続端子からはずしたことを確認のうえ行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 本機から送話をするときは、受話器を上げ、発信操作後に耳を近づけてください。
- 電話機などをお手入れされる場合は、安全のためモジュラケーブルを抜いてから行ってください。呼出音で衝撃を受けることがあります。
- 電話機などに水滴が付いた場合は、乾いた布で拭き取ってください。
- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
- 指定外のACアダプタは使用しないでください。火災や故障の原因となることがあります。

お願ひ

- 主装置や電話機などをぬれた雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。主装置や電話機などの変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
- 電話機などを落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 電話機コードを引っ張らないでください。故障の原因となることがあります。
- 停電中に主装置の電源スイッチを切らないでください。停電復旧時に使用できなくなります。
- 停電のときは、停電用電話機を使用してください。
 - ・他の内線電話機は使えません。
 - ・ドアホンは使えません。
- 故障の原因となりますので、次のような場所への設置は避けてください。
 - ・製氷庫など特に温度が下がる場所。
 - ・塵・ほこり・鉄粉・有害ガスなどが発生する場所。
- 電気製品・AV機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、インバータエアコン、電磁調理器など）。
 - ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
 - ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れことがあります。
 - ・放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、主装置や電話機などの設置場所を移動してみてください。
- 硫化水素が発生する場所（温泉地）や、塩分の多いところ（海岸）などでは、主装置や電話機などの寿命が短くなることがあります。
- 電話機などは平らな面に置いてお使いください。

目 次

安全にお使いいただくために必ずお読みください

1. はじめに

本取扱説明書の読み方	1-2
マーク／表記について	1-3

2. お使いいただく前に

多機能電話機における設定例	2-2
表示一覧	2-3
システム電話機（親機）の確認方法	2-4

3. ボイスメール機能編

「メニュー」ボタン操作で留守番電話の設定をする	3-2
留守録応答メッセージを選択する	3-4
留守録モニタ開始方法を選択する	3-6
留守録自動発報先ダイヤルを設定する	3-7
留守録自動発報タイミングを設定する	3-8
発報時刻を設定する	3-9
メッセージ自動消去動作を設定する	3-10
自動消去対象条件を設定する	3-11
録音お知らせメールの動作モードを設定する	3-12
録音お知らせメールの宛先Eメールアドレスを設定する	3-13
自動送信メールアドレス・手動送信メールアドレスを設定する	3-14
留守番スケジュールのスケジュールを登録する	3-16
留守番スケジュールのスケジュール特定日を設定する	3-18
留守番スケジュールのスケジュール即時適用範囲を指定する	3-20
再生パスワード（暗証番号）を変更する	3-22
設定パスワード（暗証番号）を変更する	3-23
同報ボックスを変更する	3-24
留守番電話	3-26
グループ留守番録音を開始／終了する	3-26
個別留守番録音（電話機ごと）を開始／終了する	3-28
ボイスメールにスライド着信する	3-30
留守録中に相手の声をモニタする〈留守録モニタ〉	3-31
伝言が録音されたら自動的に知らせる〈呼び出し〉	3-32
録音内容再生	3-33
録音された内容を再生する	3-33
録音された内容を消去する	3-34
録音された内容を保存する	3-34
録音された伝言を転送する〈振り分け〉	3-35
再生時の暗証番号について〈再生パスワード〉	3-35

応答メッセージ	3-36
応答メッセージを録音する	3-37
応答メッセージを再生／消去する	3-38
応答メッセージを選択する	3-39
外部（外出先）から録音内容再生／録音する（リモート）	3-40
録音された内容を外出先から再生する	3-40
録音された内容を外出先から再生する（取次再生）	3-42
外出先から留守番電話をオン／オフする	3-43
外出先から伝言を録音する（リモート伝言録音）	3-45
通話録音（発信／着信）	3-46
お話しを手動で録音する	3-46
お話しを自動で録音する	3-48
録音した通話の保存先を変更する	3-50
通話録音を中止する	3-50
通話録音の再生	3-51
通話録音された内容を再生する	3-51
通話録音された内容を消去する	3-52
通話録音された内容を保存する	3-53
通話録音された内容を転送する（振り分け）	3-53
再生時の暗証番号について（再生パスワード）	3-54
伝言録音機能	3-55
メッセージを指定ボックス／同報ボックスに録音する（伝言録音／同報録音）	3-55
録音お知らせメール	3-56
録音お知らせメールを送信する	3-56
録音内容を添付したお知らせメールを送信する	3-56
録音お知らせメールを受信する	3-57
音声ファイルを再生する	3-58

4. メッセージ機能編

音声案内	4-2
音声案内サービス概要	4-2
固定メッセージの再生	4-3
可変メッセージの録音	4-3
可変メッセージの再生	4-4
可変メッセージの消去	4-5
案内サービス	4-6

5. 音声応答自動振分機能（IVR）編

音声応答自動振分機能（IVR）	5-2
音声応答自動振分機能（IVR）概要	5-2
IVRの動作例	5-3
IVRの応答動作例	5-4
IVR可変ガイダンス登録	5-5
可変ガイダンスを登録する	5-6

目 次

IVR機能開始／停止	5-8
IVRサービスを開始／停止する	5-8
IVR呼び出し	5-9
発信者が選択したシナリオを確認する	5-9

6. 管理者編

保守について	6-2
仕様	6-3
ご注意	6-4
アフターサービスについて	6-5

索引

索引	索引-1
----	------

1.はじめに

本取扱説明書の読み方

この取扱説明書に記載したディスプレイの表示などは、操作方法を説明するためのサンプルです。実際の表示と異なることがあります。

■ページ構成

章タイトル
章ごとにタイトルが付けられています

タイトル
操作目的ごとにタイトルを付けています。

電話機イラスト
操作で使うボタンなどの位置を示しています。

操作手順説明
準備や操作手順を順番に説明しています。

3. ボイスメール機能編

通話録音（発信／着信）

専用通話を録音して、メッセージボックスに保存しておくことができます。
録音は、お話し中のいつでも開始できます。

お話しを手動で録音する

● 録音先ボックスが自動指定されている場合
録音内容は、自動的に自バックスに保存されます。
通話中に他の「ボックス」ボタンを押すと、そのボックスに保存されます。（「録音した通話の保存先を変更する」（3-50ページ））

- 1 お話し中に、「通話録音」ボタンを押します。
録音が開始され、「通話録音」ボタンと保存先ボックスの「ボックス」ボタンが赤色に点滅します。
※お話し中に録音をいったん終了するときは、点滅している「ボックス」ボタンを押します。再び「通話録音」ボタンを押すと、新たに通話録音が開始されます。
- 2 お話しが終したら、受話器を置きます。
録音は自動的に終了し、「通話録音」ボタンが点灯します。また、保存先ボックスの「ボックス」ボタンが赤色に点滅します。
録音した通話は、点灯しているボックスに保存されています。

Note

- ・通話録音を開始すると、録音開始音が聞こえます。
- ・「通話録音」ボタン、「ボックス」ボタンはコントロール設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

3-46

1. はじめに

マーク／表記について

この取扱説明書で使用するマークや表記には、次のようなものがあります。

「安全にお読みいただくために必ずお読みください」(2ページ)に記載している警告マークと合わせて、内容を理解してからお使いください。

マーク	説明
 Note	注意事項、知つておいていただきたい内容、役立つ内容などを説明しています。
オプション	マークの付いている項目をご使用になるには、機器の追加が必要です。

表記例	説明
「外線」ボタン 「保留」ボタン	各種機能（外線、保留、発信、索線など）を割り当てた、フレキシブルボタンのことを示しています。
「機能」ボタン	 のことを示しています。
「電話帳」ボタン	 のことを示しています。
着信履歴ボタン	 のことを示しています。
発信履歴ボタン	 のことを示しています。
「0」「1」～「9」 「#」、「*」	ダイヤルボタン（  わけん 記号 ~  ら、  、  ）のことを示しています。
上下ボタン	 のことを示しています。
上下左右ボタン	 のことを示しています。
「決定」ボタン	 のことを示しています。
音量ボタン	 のことを示しています。
文字ボタン	 のことを示しています。
「機能」+「1」「1」ボタン	 を押し、続けて  あ、さらに続けて  あと押すことを示しています。

■フレキシブルボタンについて

多機能電話機の1から5段目キーを、フレキシブルボタンと呼びます。

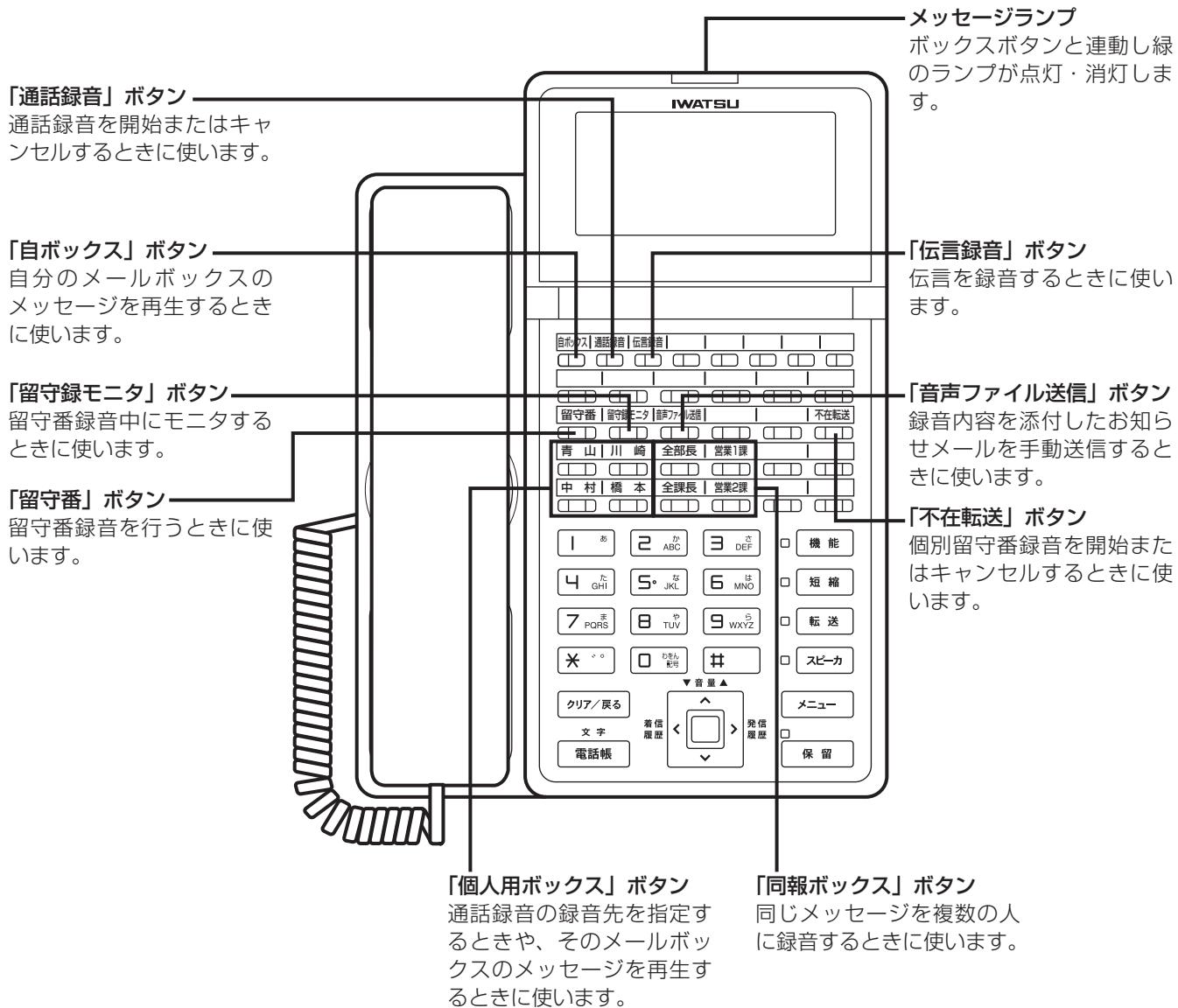
あらかじめ、フレキシブルボタンに各種機能を登録・設定しておくことで、いろいろな機能をワンタッチで操作できます。

MEMO

2. お使い
いただく前に

多機能電話機における設定例

多機能電話機のフレキシブルボタンにボイスメール用のボタンを設定することにより、ボイスメールの機能を活用することができます。



Note

- ボイスメール用ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- メッセージランプのボックスボタンとの連動は、設定によります。詳しくはお買い求めの販売店にお問い合わせください。

表示一覧

■フレキシブルボタンのランプ表示

ボタン	ランプ	状態
「自ボックス」ボタン	点灯（赤）	ボックスに聞いていない録音がある
	点滅（赤）	保存先ボックスに指定されている
	消灯	ボックスに聞いていない録音がない 注1
「通話録音」ボタン	点滅（赤）	通話録音中
	消灯	通話録音停止中
「伝言録音」ボタン	点滅（赤）	伝言録音中
	消灯	伝言録音停止中
「個人用ボックス」ボタン	点灯（赤）	ボックスに聞いていない録音がある
	点滅（赤）	保存先ボックスに指定されている
	消灯	ボックスに聞いていない録音がない 注1
「留守番」ボタン	点灯（赤）	留守番機能が開始している状態
	消灯	留守番機能が解除された状態
「留守録モニタ」ボタン	点滅（赤）	留守録モニタ中、着信
	点滅（緑）	留守録モニタ中
	消灯	留守録モニタ停止中
「不在転送」ボタン 注2	点灯（赤）	即時転送モード
	点滅（赤）	話中・未応答転送モード
	点滅（赤）、消灯を繰り返す	未応答転送モード
	消灯	不在転送OFF
「音声ファイル送信」ボタン	消灯	常時消灯

注1：データ設定により、ボックス内の録音メッセージが0件になったときに消灯させることもできます。

詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

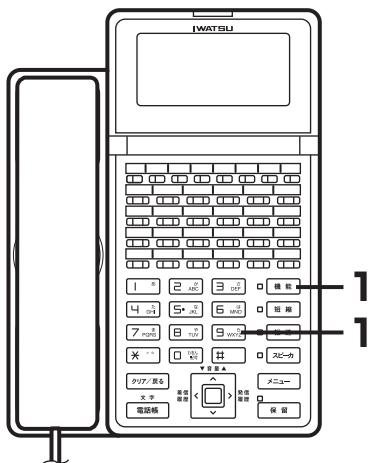
注2：データ設定で固定不在転送が登録されているときは点灯しません。

■ディスプレイ表示

状態	表示内容	備考
録音メモリ不足	□クオンメモリガワズカデス	録音可能時間が、システムの最大録音時間の3%未満となった場合、または最大録音件数に達したとき。
全使用中	VMLセツゾクカイセンBUSY	ボイスメールの全チャネルが使用中になったとき、待機中の端末に表示されます。
全使用	VMLシヨウチュウ	ボイスメールにアクセスしたとき、全チャネルが使用中だった場合、操作端末に表示されます。

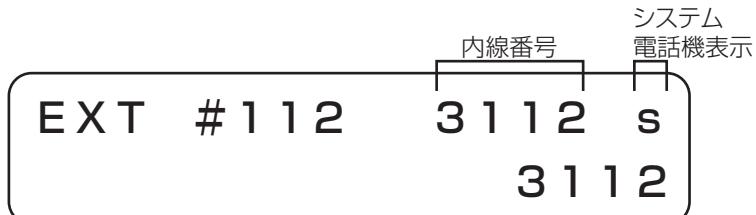
システム電話機（親機）の確認方法

システム電話は、次の操作で確認できます。



1 受話器を置いた状態で、「機能」 + 「9」「9」ボタンを押します。

※ システム電話機は、内線番号の後に “s” が表示されます。



3.ボイスメール 機能編

オプション マークがついている項目は、機器の追加が必要です。

「メニュー」ボタン操作で留守番電話の設定をする

「メニュー」ボタンの留守番／メール設定メニューで、個別ボックス、グループボックス、同報ボックスの留守番動作に関する設定ができます。

各ボックスのボックス番号およびパスワードについては、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

留守録機能を動作させるためには、あらかじめ設定が必要です。

設定項目名			参照ページ	
個別ボックス	留守録応答メッセージ		3-4	
	留守録モニタ開始方法		3-6	
	留守録自動発報設定	発報先ダイヤル	3-7	
		内線		
		外線		
	発報タイミング		3-8	
	定刻発報時刻1		3-9	
	定刻発報時刻2			
	定刻発報時刻3			
	定刻発報時刻4			
	メッセージ自動消去設定	自動消去動作	3-10	
		自動消去対象条件	3-11	
	録音お知らせメール	メール送信動作	3-12	
		宛先Eメールアドレス設定	3-13	
	音声ファイル添付	自動送信メールアドレス	3-14	
		手動送信メールアドレス		
	再生パスワード変更		3-22	
	設定パスワード変更		3-23	
留守番グループボックス	留守録応答メッセージ		3-4	
	留守録モニタ開始方法		3-6	
	留守録自動発報設定	発報先ダイヤル	3-7	
		内線番号		
		外線番号		
		発報タイミング	3-8	
	定刻発報時刻1		3-9	
	定刻発報時刻2			
	定刻発報時刻3			
	定刻発報時刻4			
	メッセージ自動消去設定	自動消去動作	3-10	
		自動消去対象条件	3-11	
	録音お知らせメール	メール送信動作	3-12	
		宛先Eメールアドレス設定	3-13	
	音声ファイル添付	自動送信メールアドレス	3-14	
		手動送信メールアドレス		

設定項目名				参照ページ		
留守番グループボックス	留守番スケジュール	スケジュール登録	月曜日	3-16		
			火曜日			
			水曜日			
			木曜日			
			金曜日			
			土曜日			
			日曜日			
			特定日1			
			特定日2			
		スケジュール特定日 設定	特定日1	3-18		
			特定日2			
スケジュール即時適用				3-20		
再生パスワード変更				3-22		
設定パスワード変更				3-23		
同報ボックス設定	所属ボックス設定	所属ボックス1 所属ボックス2 所属ボックス3 所属ボックス4 所属ボックス5 ⋮ ⋮ ⋮ 所属ボックス36 所属ボックス37 所属ボックス38 所属ボックス39 所属ボックス40		3-24		
(注) システム電話機のみ設定可能です。				3-23		
設定パスワード変更				3-23		



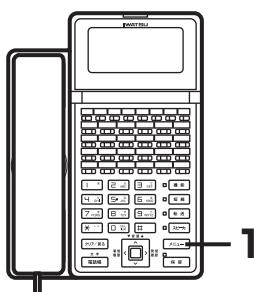
Note

- お買い求め時の設定（初期値）は、次のとおりです。

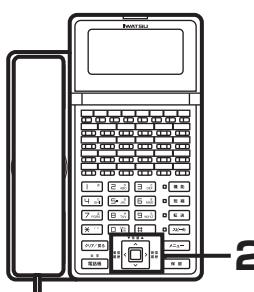
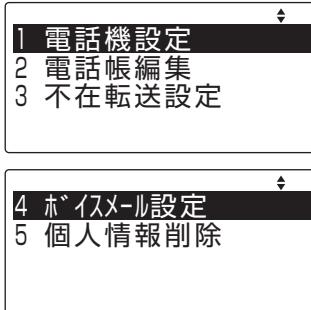
ボックス	ボックス番号	ボックスインデックス番号	再生パスワード (暗証番号)	設定パスワード (暗証番号)
個別ボックス	3001~3128	1~128	0000	1111
留守番グループボックス	8001~8060	801~860	0000	1111
同報ボックス	9001~9060	901~960	—	1111

「メニュー」ボタン操作で留守番電話の設定をする

留守録応答メッセージを選択する



- 1 受話器を置いた状態で「メニュー」ボタンを押します。**
メインメニュー画面が表示されます。



- 2 上下ボタンで“4 ボイスメール設定”を選択し、「決定」ボタンを押します。**

- システム電話機以外の電話機で、かつキーパタン上にボックスキーがある場合
次の画面が表示されます。

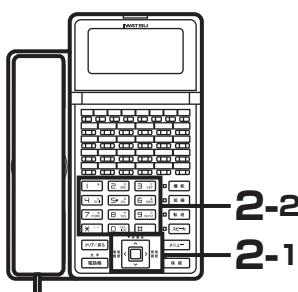
ボックス選択
ボックスキー-または留守番キー-を押してください
[点灯中のキーを選択可]

Note

- ・システム電話機以外の電話機では、キーパタン上にボックスキーがない場合、“この電話機では設定できません”と表示されます。

- システム電話機の場合
次の画面が表示されます。

1 個別ボックス
2 留守番ゲループボックス
3 同報ボックス



- 1 上下ボタンでボックス種別を選択し、「決定」ボタンを押します。**
ボックス番号入力画面が表示されます。

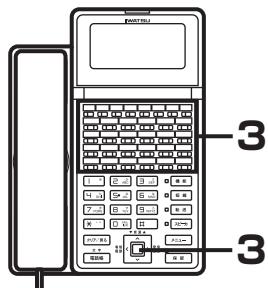
1
ボックス番号?

- 2 ボックス番号を入力します。**

3 赤点灯中の「ボックス」ボタンまたは「留守番」ボタンを選択し、「決定」ボタンを押下します。

パスワード入力画面が表示されます。

※押されたボタンは赤点滅します。

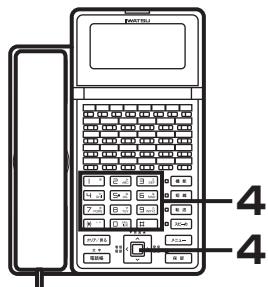


ハ°スワート?

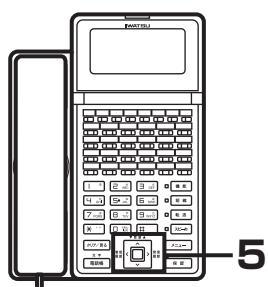
1

4 設定パスワード（暗証番号）を入力し、「決定」ボタンを押します。

留守番設定画面が表示されます。



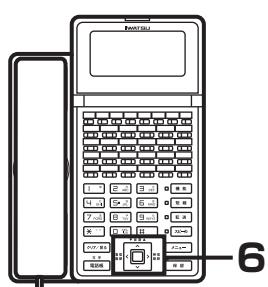
- 1 留守録応答メッセージ
- 2 留守録モニタ開始方法
- 3 留守録自動発報設定
- [応答メッセージ1]



5 上下ボタンで“1 留守録応答メッセージ”を選択し、「決定」ボタンを押します。

応答メッセージ選択画面が表示されます。

- 留守録応答メッセージ
- 応答メッセージ1
- 応答メッセージ2
- 応答メッセージ3



6 上下ボタンで応答メッセージを選択し、「決定」ボタンを押します。

留守番設定画面に戻ります。

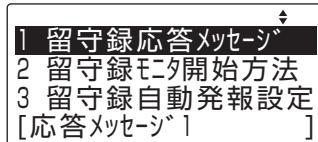
※設定できなかった場合は、設定不完了画面が表示され、3秒後に応答メッセージ選択画面に戻ります。

「メニュー」ボタン操作で留守番電話の設定をする

留守録モニタ開始方法を選択する

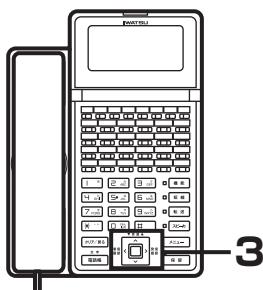
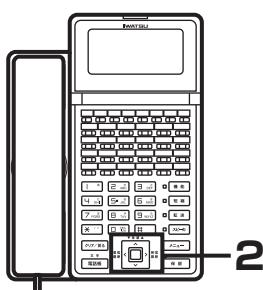
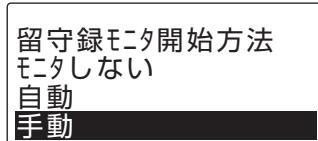
- 1 「留守録応答メッセージを選択する」(3-4ページ)の手順
(1)～(4)と同様に操作します。**

留守番設定画面が表示されます。



- 2 上下ボタンで“2 留守録モニタ開始方法”を選択し、「決定」ボタンを押します。**

留守録モニタ開始方法選択画面が表示されます。



- 3 上下ボタンで留守録モニタ開始方法を選択し、「決定」ボタンを押します。**

留守番設定画面に戻ります。

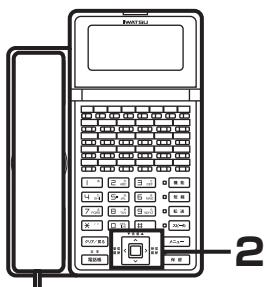
※ 設定できなかった場合は、設定不完了画面が表示され、3秒後に留守録モニタ開始方法選択画面に戻ります。

留守録自動発報先ダイヤルを設定する

**1 「留守録応答メッセージを選択する」(3-4ページ)の手順
(1)～(4)と同様の操作を行います。**

留守番設定画面が表示されます。

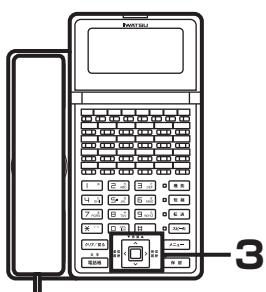
- | |
|--------------|
| 1 留守録応答メッセージ |
| 2 留守録モニタ開始方法 |
| 3 留守録自動発報設定 |
| [応答メッセージ1] |



2 上下ボタンで“3 留守録自動発報設定”を選択し、「決定」ボタンを押します。

留守録自動発報設定画面が表示されます

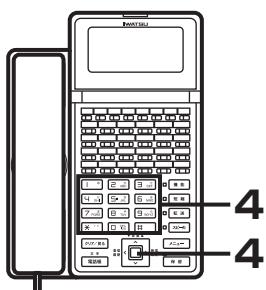
- | |
|-----------|
| 1 発報先ダイヤル |
| 2 発報タイミング |
| 3 定刻発報時刻1 |
| [外線:] |



3 上下ボタンで“1 発報先ダイヤル”を選択し、「決定」ボタンを押します。

発報先ダイヤル設定画面が表示されます。

- | |
|---------|
| 発報先ダイヤル |
| 内線 |
| 外線 |
-
- | |
|-----------------|
| 1
発報先ダイヤル-内線 |
|-----------------|
-
- | |
|--------------------------|
| 1
発報先ダイヤル-外線
(26行) |
|--------------------------|



4 発報先の電話番号をダイヤルし、「決定」ボタンを押します。

留守番設定画面に戻ります。

※ 設定できなかった場合は、設定完了画面が表示され、3秒後に留守録自動発報設定画面に戻ります。

● 内線を呼出先とする場合

→ 呼出先の内線番号を登録します。

● 外線を呼出先とする場合

→ 呼出先の電話番号を登録します。



Note

- データ設定にて、外線アクセス番号、ポーズ時間の登録が必要な場合があります。詳しくは販売店にお問い合わせください。

「メニュー」ボタン操作で留守番電話の設定をする

留守録自動発報タイミングを設定する

- 1 「留守録応答メッセージを選択する」(3-4ページ)の手順
(1)～(4)と同様の操作を行います。**

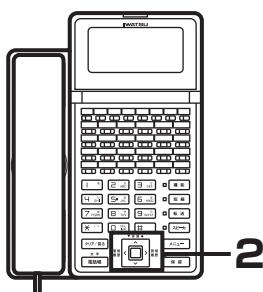
留守番設定画面が表示されます。

1 留守録応答メッセージ
2 留守録モニタ開始方法
3 留守録自動発報設定
[応答メッセージ]

- 2 上下ボタンで“3 留守録自動発報設定”を選択し、「決定」ボタンを押します。**

留守録自動発報設定画面が表示されます。

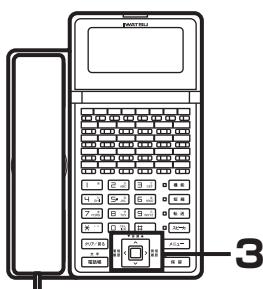
1 発報先ダイヤル
2 発報タイミング
3 定刻発報時刻1
[外線:]



- 3 上下ボタンで“2 発報タイミング”を選択し、「決定」ボタンを押します。**

発報タイミング設定画面が表示されます。

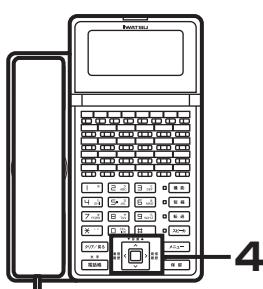
発報タイミング
発報しない
定刻
定刻&即時



- 4 上下ボタンで発報タイミングを選択し、「決定」ボタンを押します。**

留守番設定画面に戻ります。

※ 設定できなかった場合は、設定不完了画面が表示され、3秒後に留守録自動発報設定画面に戻ります。

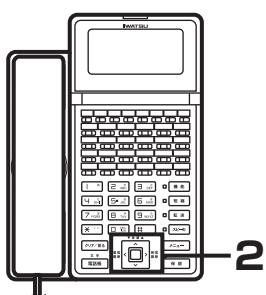


発報時刻を設定する

- 1 「留守録応答メッセージを選択する」(3-4ページ)の手順
(1)～(4)と同様の操作を行います。**

留守番設定画面が表示されます。

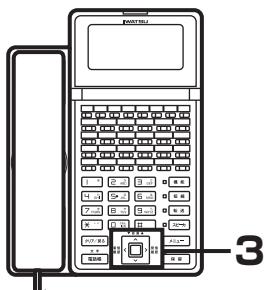
- 1 留守録応答メッセージ
- 2 留守録モニタ開始方法
- 3 留守録自動発報設定
- [応答メッセージ1]



- 2 上下ボタンで“3 留守録自動発報設定”を選択し、「決定」ボタンを押します。**

留守録自動発報設定画面が表示されます。

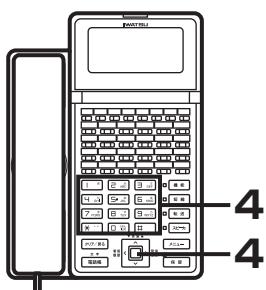
- 1 発報先ダイヤル
- 2 発報タイミング
- 3 定刻発報時刻1
- [外線:]



- 3 上下ボタンで“3 定刻発報時刻1”～“6 定刻発報時刻4”から設定する発報時刻を選択し、「決定」ボタンを押します。**

発報時刻設定画面が表示されます。

- | | |
|--------------------------|---|
| 定刻発報時刻1
(00:00-23:59) | 1 |
| : | : |



- 4 24時間表記で発報時刻（数字4桁）を入力し、「決定」ボタンを押します。**

〈例〉午後3時30分の場合は、「1」「5」「3」「0」ボタンを押します。

留守番設定画面に戻ります。

※ 設定できなかった場合は、設定不完了画面が表示され、3秒後に留守録自動発報設定画面に戻ります。

「メニュー」ボタン操作で留守番電話の設定をする

メッセージ自動消去動作を設定する

**Note**

- この機能を利用するには、ボックス種別の選択にて個別ボックスまたは留守番ボックスを指定する必要があります。

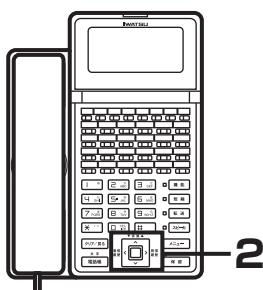
1 「留守録応答メッセージを選択する」(3-4ページ)の手順(1)～(4)と同様の操作を行います。

留守番設定画面が表示されます。

- | |
|--------------|
| 1 留守録応答メッセージ |
| 2 留守録モニタ開始方法 |
| 3 留守録自動発報設定 |
| [応答メッセージ] |
-
- | |
|---------------|
| 4 メッセージ自動消去設定 |
| 5 録音お知らせメール |
| 6 音声ファイル添付 |
| [既読メールを消去] |

2 上下ボタンで“4 メッセージ自動消去設定”を選択し、「決定」ボタンを押します。

メッセージ自動消去設定画面が表示されます。

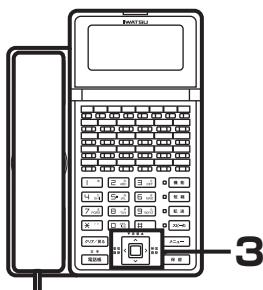


- | |
|---------|
| 自動消去動作 |
| 自動消去する |
| 自動消去しない |

3 上下ボタンで“自動消去する”または“自動消去しない”を選択し、「決定」ボタンを押します。

留守番設定画面に戻ります。

※ 設定できなかった場合は、設定不完了画面が表示され、3秒後にメッセージ自動消去設定画面に戻ります。



自動消去対象条件を設定する



Note

- この機能を利用するには、ボックス種別の選択にて個別ボックスまたは留守番グループボックスを指定する必要があります。

1 「留守録応答メッセージを選択する」(3-4ページ)の手順(1)～(4)と同様の操作を行います。

留守番設定画面が表示されます。

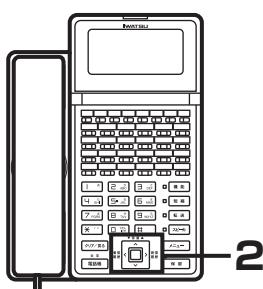
1 留守録応答メッセージ
2 留守録モニタ開始方法
3 留守録自動発報設定
[応答メッセージ 1]

4 メッセージ自動消去設定
5 録音お知らせメール
6 音声ファイル添付
[既読メールを消去]

2 上下ボタンで“4 メッセージ自動消去設定”を選択し、「決定」ボタンを押します。

メッセージ自動消去設定画面が表示されます。

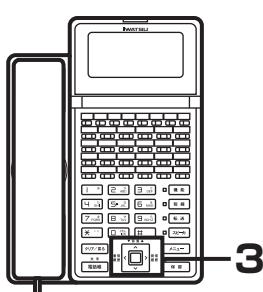
自動消去動作
自動消去する
自動消去しない



3 上下ボタンで“自動消去する”を選択し、「決定」ボタンを押します。

自動消去対象条件設定画面が表示されます。

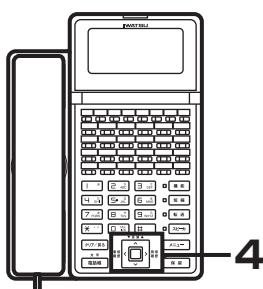
自動消去対象条件
既読メールを消去
保護メール以外を消去
未読メール以外を消去



4 上下ボタンで自動消去対象条件を選択し、「決定」ボタンを押します。

留守番設定画面が表示されます。

4 メッセージ自動消去設定
5 録音お知らせメール
6 音声ファイル添付
[既読メールを消去]



「メニュー」ボタン操作で留守番電話の設定をする

録音お知らせメールの動作モードを設定する

**Note**

- この機能を利用するには、ボックス種別の選択にて個別ボックスまたは留守番グループボックスを指定する必要があります。

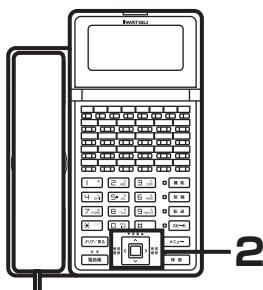
1 「留守録応答メッセージを選択する」(3-4ページ)の手順(1)～(4)と同様の操作を行います。

留守録設定画面が表示されます。

- | |
|---------------|
| 1 留守録応答メッセージ |
| 2 留守録モニタ開始方法 |
| 3 留守録自動発報設定 |
| [応答メッセージ 1] |
| 4 メッセージ自動消去設定 |
| 5 録音お知らせメール |
| 6 音声ファイル添付 |
| [既読メールを消去] |

2 上下ボタンで“5 録音お知らせメール”を選択し、「決定」ボタンを押します。

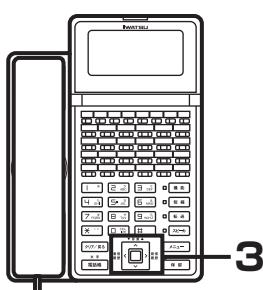
録音お知らせ設定メニュー画面が表示されます。



- | |
|----------------|
| 1 メール送信動作 |
| 2 宛先Eメールアドレス設定 |
| [メール送信する] |

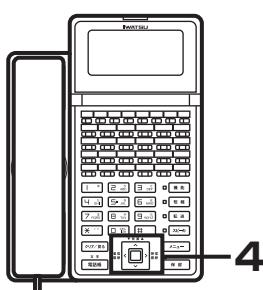
3 上下ボタンで“1 メール送信動作”を選択し、「決定」ボタンを押します。

動作モード選択画面が表示されます。



- | |
|----------|
| メール送信動作 |
| メール送信する |
| メール送信しない |

4 上下ボタンで動作モードを選択し、「決定」ボタンを押します。

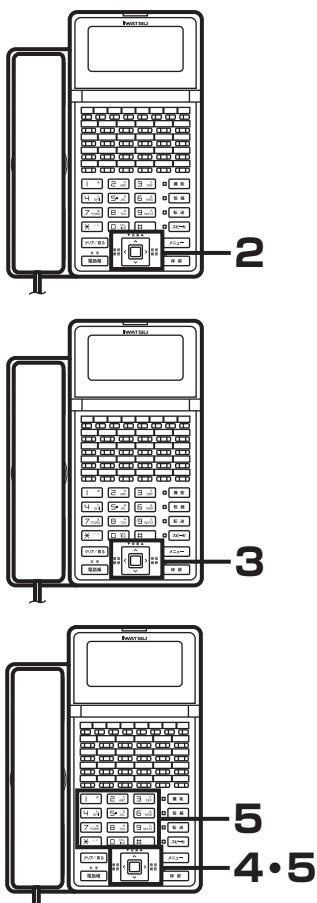


録音お知らせメールの宛先Eメールアドレスを設定する



Note

- この機能を利用するには、ボックス種別の選択にて個別ボックスまたは留守番グループボックスを指定する必要があります。



1 「留守録応答メッセージを選択する」(3-4ページ)の手順

(1) ~ (4) と同様の操作を行います。

留守録設定画面が表示されます。

1 留守録応答メッセージ
2 留守録モニタ開始方法
3 留守録自動発報設定
[応答メッセージ 1]

4 メッセージ自動消去設定
5 録音お知らせメール
6 音声ファイル添付
[既読メールを消去]

2 上下ボタンで“5 録音お知らせメール”を選択し、「決定」ボタンを押します。

録音お知らせ設定メニュー画面が表示されます。

1 メール送信動作
2 宛先Eメールアドレス設定
[メール送信する]

3 上下ボタンで“2 宛先Eメールアドレス設定”を選択し、「決定」ボタンを押します。

メール登録選択画面が表示されます。

1 登録なし
2 登録なし
3 登録なし

4 上下ボタンで1~5のいずれかを選択し、「決定」ボタンを押します。

文字入力画面が表示されます。

宛先Eメールアドレス1
(半角64文字)
-

5 宛先メールアドレスを文字入力し、「決定」ボタンを押します。

送信オプションメニューが表示されます。

iwatsu@xxx.co.jp
メール送信する
メール送信しない
編集

6 上下ボタンでいずれかを選択し、「決定」ボタンを押します。

「メニュー」ボタン操作で留守番電話の設定をする

自動送信メールアドレス・手動送信メールアドレスを設定する

**Note**

- この機能を利用するには、ボックス種別の選択にて個別ボックスまたは留守番ボックスを指定する必要があります。

1 「留守録応答メッセージを選択する」(3-4ページ)の手順(1)～(4)と同様の操作を行います。

留守録設定画面が表示されます。

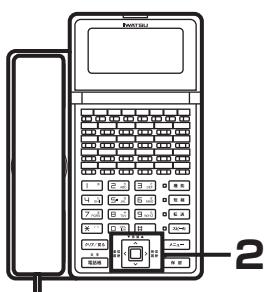
- | |
|--------------------------|
| 1 留守録応答メッセージ |
| 2 留守録モニタ開始方法 |
| 3 留守録自動発報設定
[応答メッセージ] |

- | |
|--------------------------|
| 4 メッセージ自動消去設定 |
| 5 録音お知らせメール |
| 6 音声ファイル添付
[既読メールを消去] |

2 上下ボタンで“6 音声ファイル添付”を選択し、「決定」ボタンを押します。

送信メールアドレス選択メニュー画面が表示されます。

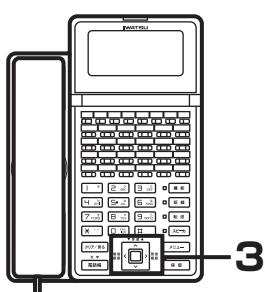
- | |
|---------------|
| 1 自動送信メールアドレス |
| 2 手動送信メールアドレス |



3 上下ボタンで“1 自動送信メールアドレス”または“2 手動送信メールアドレス”を選択し、「決定」ボタンを押します。

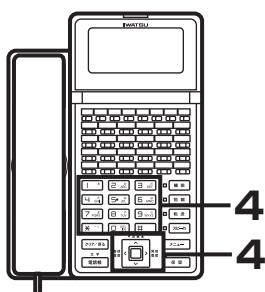
メールアドレス入力画面が表示されます。

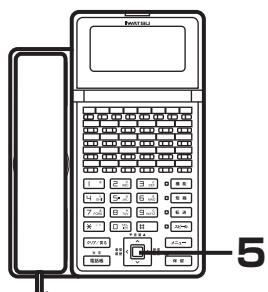
自動送信メールアドレス
(半角64文字)



4 メールアドレスを文字入力します。

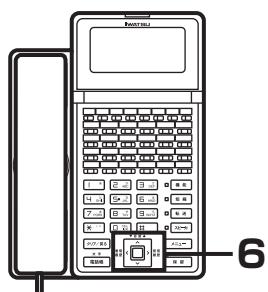
自動送信メールアドレス
(半角64文字)
suzuki@xxx.co.jp_





- 5** 入力を終えたら「決定」ボタンを押します。
モード選択メニュー画面が表示されます。

SUZUKI@XXX.CO.JP
メール送信する
メール送信しない
編集



- 6** 上下ボタンで“メール送信する”を選択し、「決定」ボタンを押します。

「メニュー」ボタン操作で留守番電話の設定をする

留守番スケジュールのスケジュールを登録する

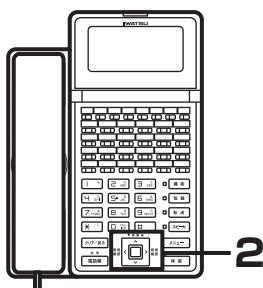
**Note**

- この機能を利用するには、ボックス種別の選択にて留守番グループボックスを指定する必要があります。

1 「留守番スケジュールのスケジュール特定日を設定する」(3-18ページ)の手順(1)～(5)と同様の操作を行います。

留守録設定画面が表示されます。

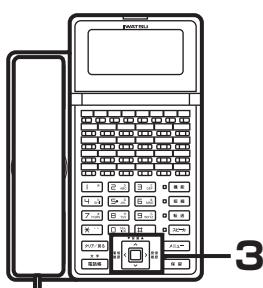
- | |
|---------------------------|
| 1 留守録応答メッセージ |
| 2 留守録モード開始方法 |
| 3 留守録自動発報設定
[応答メッセージ] |
| 4 メッセージ自動消去設定 |
| 5 録音お知らせメール |
| 6 音声ファイル添付 |
| [既読メールを消去] |
| 7 留守番スケジュール |
| 9 再生ハースト変更 |
| 0 設定ハースト変更
[] |



2 上下ボタンで“7 留守番スケジュール”を選択し、「決定」ボタンを押します。

スケジュール設定メニュー画面が表示されます。

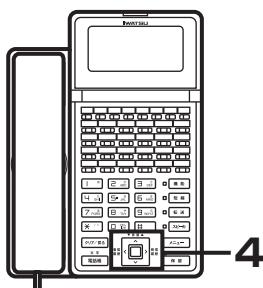
- | |
|---------------|
| 1 スケジュール登録 |
| 2 スケジュール特定日設定 |
| 3 スケジュール即時適用 |



3 上下ボタンで“1 スケジュール登録”を選択し、「決定」ボタンを押します。

曜日選択メニュー画面が表示されます。

- | |
|-------|
| 1 月曜日 |
| 2 火曜日 |
| 3 水曜日 |



4 上下ボタンで曜日を選択し、「決定」ボタンを押します。

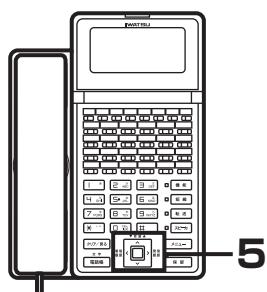
スケジュール時刻設定画面が表示されます。

- | |
|--------|
| 1 登録なし |
| 2 登録なし |
| 3 登録なし |

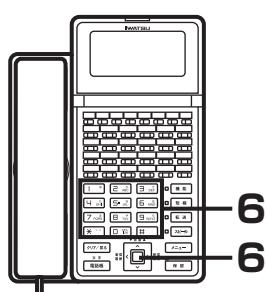
5 上下ボタンでスケジュールを選択し、「決定」ボタンを押します。

時刻設定画面が表示されます。

月曜日 -スケジュール1	1
(00:00-24:00)	
:	-
:	:



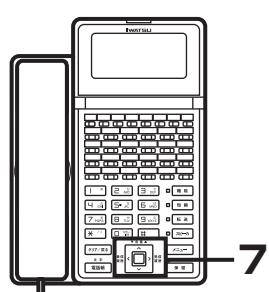
6 24時間表記で時刻（数字4桁）を入力し、「決定」ボタンを押します。



7 上下ボタンで“1 留守録応答メッセージ”を選択し、「決定」ボタンを押します。

応答メッセージ選択画面が表示されます。

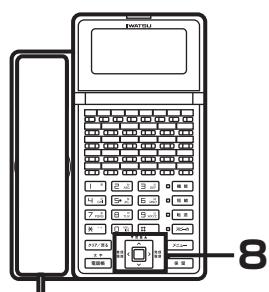
留守録応答メッセージ	◆
応答メッセージ1	
応答メッセージ2	
応答メッセージ3	



8 上下ボタンで応答メッセージを選択し、「決定」ボタンを押します。

留守番設定画面に戻ります。

※ 設定できなかった場合は、設定不完了画面が表示され、3秒後に応答メッセージ選択画面に戻ります。



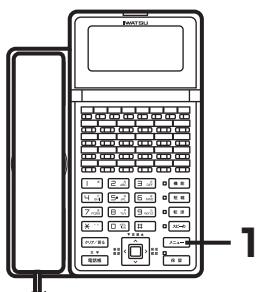
「メニュー」ボタン操作で留守番電話の設定をする



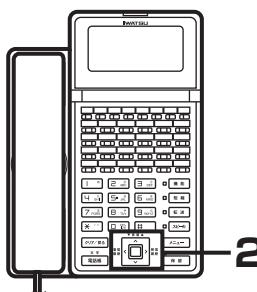
- Note**
- この機能を利用するには、ボックス種別の選択にて留守番グループボックスを指定する必要があります。
 - システム電話機以外の電話機では、キー パタン上にボックスキーがない場合、“この電話機では設定できません”と表示されます。

留守番スケジュールのスケジュール特定日を設定する

- 1** 受話器を置いた状態で「メニュー」ボタンを押します。
メインメニュー画面が表示されます。

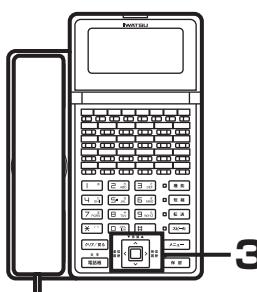


1 電話機設定
2 電話帳編集
3 不在転送設定
4 ボイスメール設定
5 個人情報削除
0 システム設定



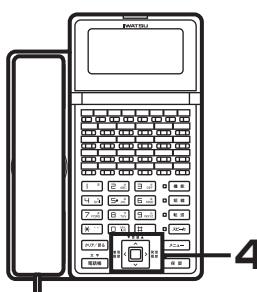
- 2** 上下ボタンで“4 ボイスメール設定”を選択し、「決定」ボタンを押します。

1 個別ボックス
2 留守番グループボックス
3 同報ボックス



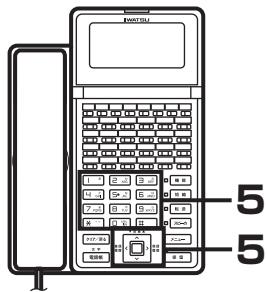
- 3** 上下ボタンで“2 留守番グループボックス”を選択し、「決定」ボタンを押します。
グループ番号入力画面が表示されます。

グループ番号?
(1~60)



- 4** グループ番号（1~60）を入力し、「決定」ボタンを押します。
パスワード入力画面が表示されます。

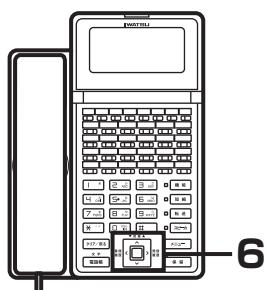
ハズワード?



5 設定パスワード（暗証番号）を入力し、「決定」ボタンを押します。

留守録設定画面が表示されます。

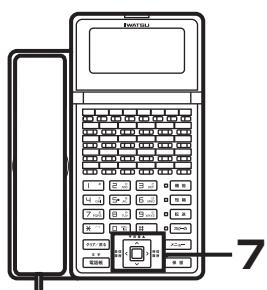
- 1 留守録応答メッセージ
- 2 留守録モニタ開始方法
- 3 留守録自動発報設定
[応答メッセージ]
- 4 メッセージ自動消去設定
- 5 録音お知らせメール
- 6 音声ファイル添付
[既読メールを消去]
- 7 留守番スケジュール
- 9 再生ハースト変更
- 0 設定ハースト変更
[]



6 上下ボタンで“7 留守番スケジュール”を選択し、「決定」ボタンを押します。

スケジュール設定メニュー画面が表示されます。

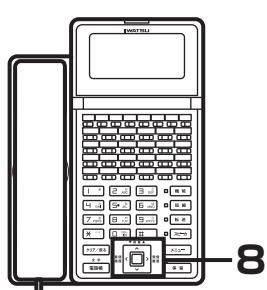
- 1 スケジュール登録
- 2 スケジュール特定日設定
- 3 スケジュール即時適用



7 上下ボタンで“2 スケジュール特定日設定”を選択し、「決定」ボタンを押します。

特定日選択メニュー画面が表示されます。

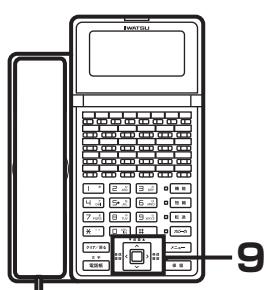
- 1 特定日1
- 2 特定日2



8 上下ボタンで“特定日1”または“特定日2”を選択し、「決定」ボタンを押します。

特定日選択メニュー画面が表示されます。

- 特定日1
- 新規登録
- 01月01日
- 02月11日



9 上下ボタンで“新規登録”または特定日を選択し、「決定」ボタンを押します。

特定日入力画面が表示されます。

- | | |
|------|---|
| 特定日1 | 1 |
| 月 日 | |

※ 特定日を新規に登録する場合は、“新規登録”を選択してください。
※ 月日はそれぞれ2桁で入力してください。

例 01年02日

「メニュー」ボタン操作で留守番電話の設定をする

留守番スケジュールのスケジュール即時適用範囲を指定する

**Note**

- この機能を利用するには、ボックス種別の選択にて留守番ボックスを指定する必要があります。

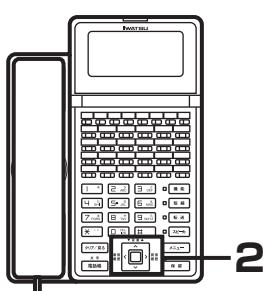
1 「留守番スケジュールのスケジュール特定日を設定する」(3-18ページ)の手順(1)～(5)と同様の操作を行います。

留守録設定画面が表示されます。

- | | |
|--------------------------|---|
| 1 留守録応答メッセージ | ◆ |
| 2 留守録モード開始方法 | |
| 3 留守録自動発報設定
[応答メッセージ] |] |
| ◆ | |
| 4 メッセージ自動消去設定 | ◆ |
| 5 録音お知らせメール | |
| 6 音声ファイル添付 | |
| [既読メールを消去] |] |
| ◆ | |
| 7 留守番スケジュール | ◆ |
| 9 再生ハンドスワート変更 | |
| 0 設定ハンドスワート変更 | |
| [] |] |

2 上下ボタンで“7 留守番スケジュール”を選択し、「決定」ボタンを押します。

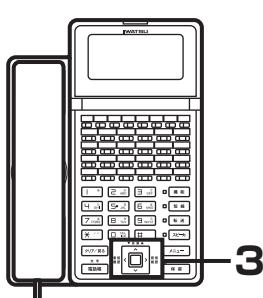
スケジュール設定メニュー画面が表示されます。



- | | |
|---------------|---|
| 1 スケジュール登録 | |
| 2 スケジュール特定日設定 | |
| 3 スケジュール即時適用 | ◆ |

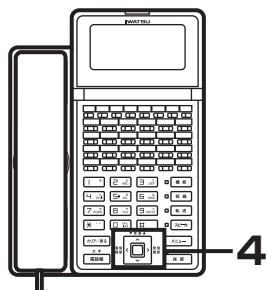
3 上下ボタンで“3 スケジュール即時適用”を選択し、「決定」ボタンを押します。

即時適用画面が表示されます。



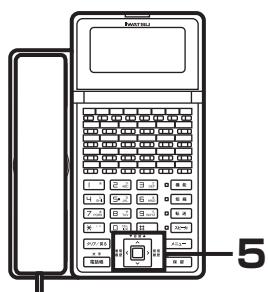
- | | |
|------------|---|
| スケジュール即時適用 | |
| このグループ | ◆ |
| 全グループ | |

* このメニュー画面は、システム電話機のみ表示されます。



- 4 上下ボタンで適応範囲を選択し、「決定」ボタンを押します。

設定したスケジュールを適用しますか?
はい
いいえ



- 5 上下ボタンで“はい”または“いいえ”を選択し、「決定」ボタンを押します。

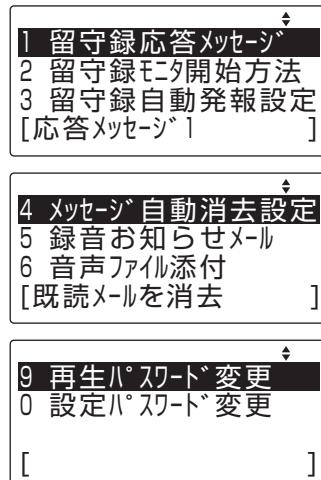
設定完了画面が表示されます。

「メニュー」ボタン操作で留守番電話の設定をする

再生パスワード（暗証番号）を変更する

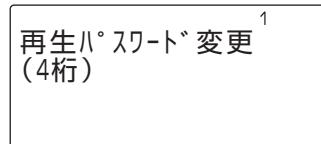
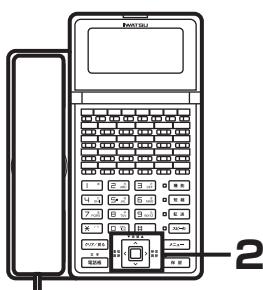
- 1 「留守録応答メッセージを選択する」(3-4ページ)の手順
(1)～(4)と同様の操作を行います。**

留守番設定画面が表示されます。



- 2 上下ボタンで“9 再生パスワード変更”を選択し、「決定」ボタンを押します。**

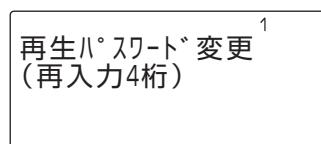
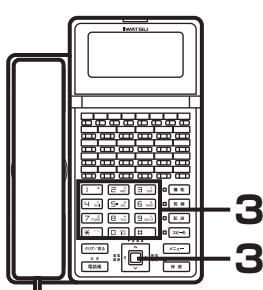
再生パスワード（暗証番号）変更画面が表示されます。



- 3 新しい再生パスワード（暗証番号）を入力し、「決定」ボタンを押します。**

再生パスワード（暗証番号）再入力画面が表示されます。

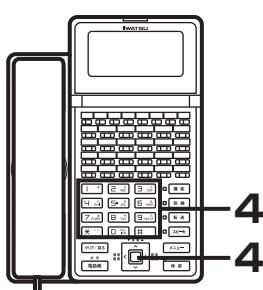
※ 再生パスワード 数字4桁



- 4 手順（3）で入力したものと同じ再生パスワード（暗証番号）を入力し、「決定」ボタンを押します。**

設定完了画面が表示され、3秒後に再生パスワード（暗証番号）変更画面に戻ります。

※ 設定できなかった場合は、設定不完了画面が表示され、3秒後に再生パスワード（暗証番号）変更画面に戻ります。



設定パスワード（暗証番号）を変更する

- 1 「留守録応答メッセージを選択する」(3-4ページ)の手順
(1)～(4)と同様の操作を行います。**

留守番設定画面が表示されます。

1 留守録応答メッセージ
2 留守録モニタ開始方法
3 留守録自動発報設定
[応答メッセージ1]

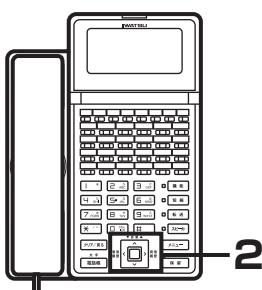
4 メッセージ自動消去設定
5 録音お知らせメール
6 音声ファイル添付
[既読メールを消去]

9 再生パスワード変更
0 設定パスワード変更
[]

- 2 上下ボタンで“0 設定パスワード変更”を選択し、「決定」ボタンを押します。**

設定パスワード（暗証番号）変更画面が表示されます。

設定パスワード変更 ¹ (4桁)

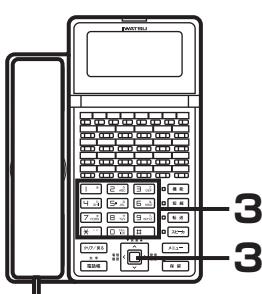


- 3 新しい設定パスワード（暗証番号）を入力し、「決定」ボタンを押します。**

設定パスワード（暗証番号）再入力画面が表示されます。

※設定パスワード 数字4桁

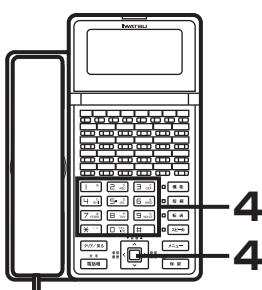
設定パスワード変更 ¹ (再入力4桁)



- 4 手順（3）で入力したものと同じ設定パスワード（暗証番号）を入力し、「決定」ボタンを押します。**

設定完了画面が表示され、3秒後に設定パスワード（暗証番号）変更画面に戻ります。

※設定できなかった場合は、設定不完了画面が表示され、3秒後に設定パスワード（暗証番号）変更画面に戻ります。



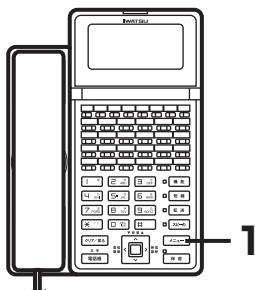
「メニュー」ボタン操作で留守番電話の設定をする



• この機能は、システム電話機でのみご利用になります。

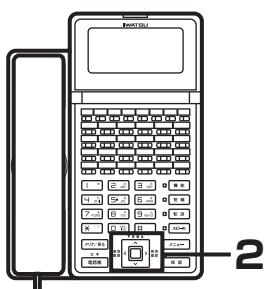
同報ボックスを変更する

- 1** 受話器を置いた状態で「メニュー」ボタンを押します。
メインメニュー画面が表示されます。



1 電話機設定
2 電話帳編集
3 不在転送設定
4 ボイスメール設定
5 個人情報削除

- 2** 上下ボタンで“4 ボイスメール設定”を選択し、「決定」ボタンを押します。
ボイスメール設定画面が表示されます。

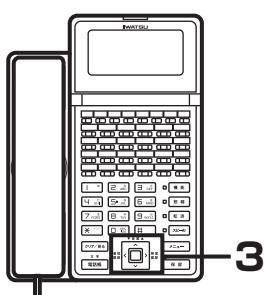


1 個別ボックス
2 留守番グループボックス
3 同報ボックス

- 3** 上下ボタンで“3 同報ボックス”を選択し、「決定」ボタンを押します。

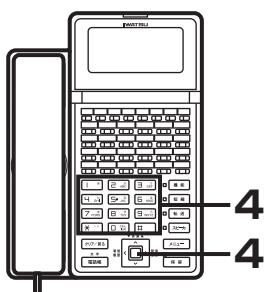
ボックス番号入力画面が表示されます。

初期値：9001～9060



1 ボックス番号？

- 4** ボックス番号を入力し、「決定」ボタンを押します。
パスワード入力画面が表示されます。

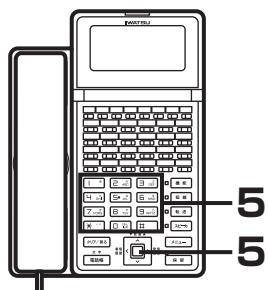


1 ハスワード？

5 設定パスワード（暗証番号）を入力し、「決定」ボタンを押します。

選択画面が表示されます。

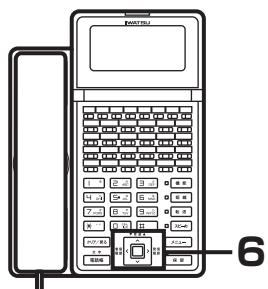
1 所属ボックス設定
0 設定パスワード変更



6 上下ボタンで“1 所属ボックス設定”を選択し、「決定」ボタンを押します。

所属ボックス選択画面が表示されます。

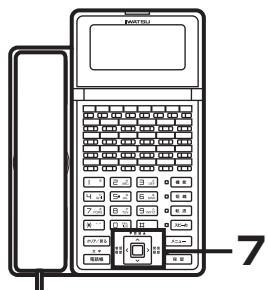
所属ボックス1
所属ボックス2
所属ボックス3
[]



7 上下ボタンで所属ボックスを選択し、「決定」ボタンを押します。

所属ボックス番号入力画面が表示されます。

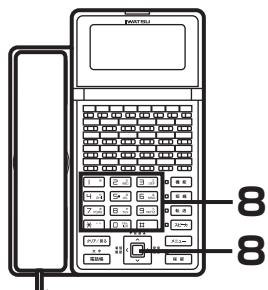
1 所属ボックス (4行)



8 ボックス番号を入力し、「決定」ボタンを押します。

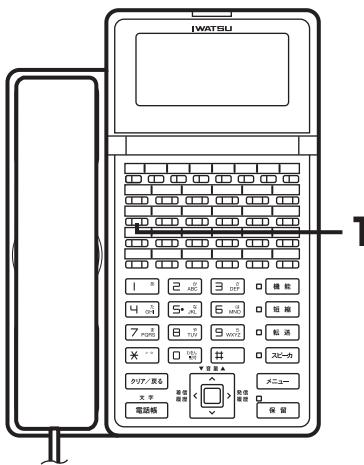
所属ボックス選択更画面に戻ります。

※ 設定できなかった場合は、設定完了画面が表示され、3秒後に所属ボックス選択更画面に戻ります。



留守番電話

グループ留守番録音を開始／終了する



Note

- 「留守番」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 応答メッセージの設定は、「応答メッセージを選択する」(3-39ページ)を参照してください。

システム内の電話機を複数の留守番グループに分けている場合、留守番グループごとに留守番機能の開始／終了(解除)および応答メッセージを設定できます。

留守番機能を開始すると、外線着信時にボイスメールが自動応答し、事前に録音された応答メッセージを流します。また、電話をかけてきた人の用件を指定ボックスに録音できます。

● グループ留守番録音を開始する

1 「留守番」ボタンが消灯しているときに、受話器を置いた状態で、「留守番」ボタンを押します。

電話機のスピーカから現在の応答メッセージが流れ、「留守番」ボタンが赤色に点灯し、留守番機能の状態となります。

※「留守番」ボタンを押すごとに、留守／留守解除が切り替わります。

※LCD画面の1行目に、現在の応答メッセージ番号が表示されます。

Note

- 次の場合、留守番機能は開始しません。
 - 留守録用ボックスの録音件数が999件に達している
 - 録音メモリ残量が不足している

この場合、いったん、聞き終わって不要になった録音内容を消去（「録音された内容を消去する」(3-34ページ)）してから、あらためて留守番機能の開始操作をしてください。データ設定により古いメッセージから自動消去することも可能です。

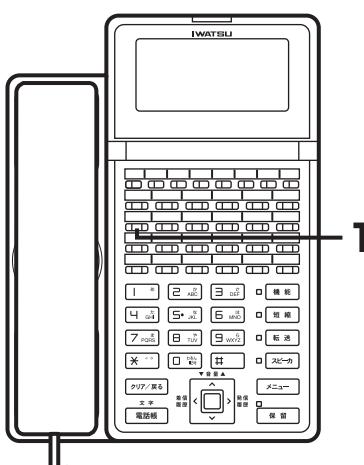
● グループ留守番録音を解除する

1 「留守番」ボタンが赤色に点灯しているときに、受話器を置いた状態で、「留守番」ボタンを押します。

留守番機能が解除となり、「留守番」ボタンが消灯し、留守録されたメッセージの有無を知らせるガイダンスが電話機のスピーカから自動的にアナウンスされます。

留守録されたメッセージの再生を行うことができます。

※「留守番」ボタンを押すごとに、留守／留守解除が切り替わります。



Note

- 「留守番」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

● グループ留守番録音された用件を再生する

録音された用件は、留守番グループに対応する留守番用の「ボックス」ボタンを押して再生します。

再生方法の詳細については、「録音された内容を再生する」(3-33ページ)を参照してください。

Note

- ・「ボックス」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- ・グループ留守番録音は、外線着信（ダイヤルイン着信、iナンバー着信、外線着信（郡着））が対象です。
 - ダイヤルイン着信の内線番号呼びや着サブアドレスなどの個別の電話機が指定される着信は、個別着信になります。
 - DISA着信はグループ留守番録音の対象外です。
- ・各留守番グループに対応する留守番用ボックスは、あらかじめ設定が必要です。
- ・留守番グループごとに、着信から留守録動作に移行するまでの時間を指定できます。
- ・留守番グループは最大60グループまでです。
- ・複数の電話機に同じ「留守番」ボタンが割り当てられている場合、同じ留守番グループの「留守番」ボタンに開始／終了状態が反映されます。
- ・ボイスメールのチャネルがビジーの場合、留守番機能の開始／解除の操作は無効となります。

留守番電話

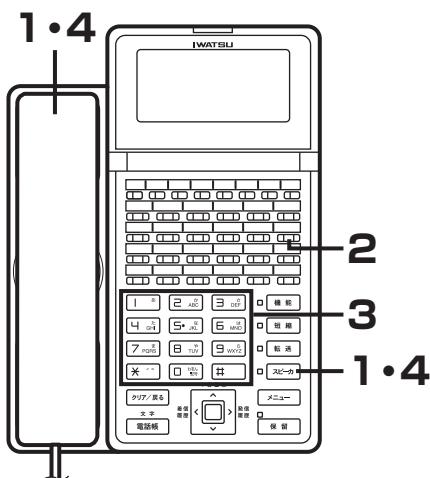
個別留守番録音（電話機ごと）を開始／終了する

電話機への着信をボイスメールに不在転送し、留守番電話としての応答メッセージを流した後、電話をかけてきた人の用件を指定ボックスに録音することができます



Note

- ・個別留守番録音は、あらかじめシステムで不在転送を使用できる設定にしておく必要があります。
- ・録音された内容は、電話機ごとにあらかじめ録音されている留守録優先ボックスに保存されます。ただし、留守録優先ボックスがあらかじめ登録されていない場合には、電話機対応ボックスに保存されます。
- ・応答メッセージは、録音先のボックスに録音しておいてください。（「応答メッセージを録音する」(3-37ページ)）留守番機能で使われる応答メッセージは、あらかじめボックスごとに設定することもできます。
- ・録音ボックスの録音メモリ残量が不足している場合は、応答専用メッセージが流れた後、お話が切断されます。
- ・録音メモリ残量なしなどで録音が終了した場合、録音が終了した時点までの録音内容がボックスに保存されます。
- ・録音可能時間は、ライセンスに依存しますが、次のとおりです。
 - IX-MCU-N (M-EX) の場合：最大約22時間
 - IX-MCU-N (M-STまたはL) +IX-WGU/VML-Nの場合：最大約120時間
 - IX-MCU-N (M-STまたはL) +IX-MBU/VML-Nの場合：最大約120時間
- ・不在転送の転送モード切替えにより、話中時および未応答時でもボイスメールに転送して留守番機能を使用できます。



個別留守番録音を開始する

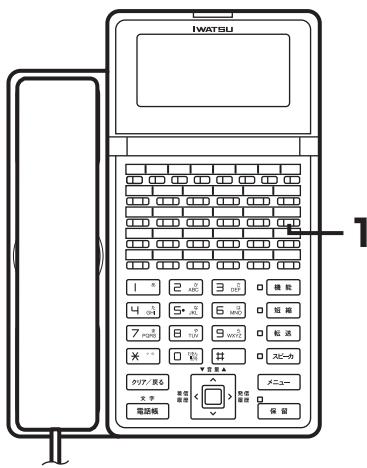
- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
- 2 「不在転送」ボタンを押します。
「不在転送」ボタンが赤色に点滅します。
- 3 ボイスメールのアクセス番号をダイヤルします。
確認音（ピッピッピッ）が聞こえ、「不在転送」ボタンが赤色に点灯します。
- 4 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。



Note

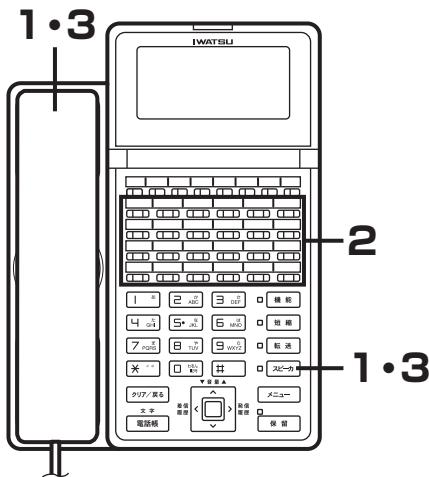
- ・「不在転送」ボタンは、データ設定によりあらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- ・ボイスメールのアクセス番号は、あらかじめ設定する必要があります。
- ・転送モードの設定が必要になります。

個別留守番録音を解除する



- 1 「不在転送」ボタンを押します。
「不在転送」ボタンが消灯します。

留守番電話



●個別留守番録音された用件を再生する

- 1** 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
- 2** 録音先ボックスの「ボックス」ボタンを押します。
ボックスに暗証番号（再生パスワード）が設定されている場合は、「暗証番号をダイヤルしてください」というガイダンスが流れます。ガイダンスに従って、再生パスワードを入力してください。
- 3** メッセージを聞き終わったら、受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。



Note

- ・「ボックス」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

ボイスメールにスライド着信する

外線着信時に、一定時間内に応答しない場合、自動的にボイスメールに接続することができます。ボイスメールに接続後は、リモート操作ガイダンスがアナウンスされます。

これにより、留守番電話をセットし忘れても、ボイスメールで応答できます。

また、外部から伝言の再生などを行えるようになります。



Note

- ・データ設定で、スライド着信先にボイスメールを指定する必要があります。
- ・スライド着信に移行するまでの時間は、あらかじめデータ設定が必要です。
- ・スライド着信先に電話機も設定されている場合、その電話機が個別留守番録音を開始している場合は、ボイスメールへのスライド着信が優先されます。

留守録中に相手の声をモニタする〈留守録モニタ〉

留守番録音中に、スピーカで録音内容をモニタできます。居留守などをしているときにかけてきた相手の声を確認できます。



Note

- ・留守録モニタ動作設定は、「留守録モニタ開始方法を選択する」(3-6ページ) を参照してください。

●留守録モニタの開始動作が自動の場合

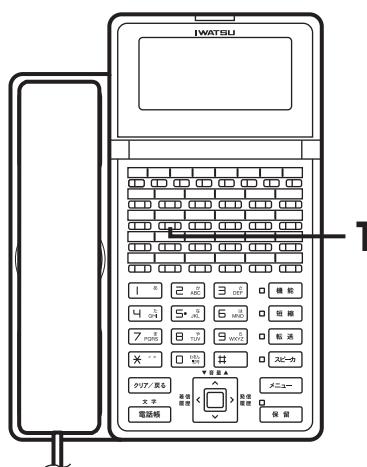
留守録モニタが自動的に開始され「留守録モニタ」ボタンが緑色で点滅します。

留守録モニタ中は、スピーカ受話状態になります（そのまま受話器を取り上げれば、スピーカから受話器に切替わります）。



Note

- ・留守録モニタ中に「留守録モニタ」ボタンを押すと、ピー音が出てお話しできます。
- ・「留守録モニタ」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。



Note

- ・「留守録モニタ」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- ・電話機が使用中の場合、留守録開始音は鳴りません。

●留守録モニタの開始動作が手動の場合

着信すると、留守録開始音（ピー）が鳴り、「留守録モニタ」ボタンが赤色で点滅します。

1 留守番録音中に、「留守番モニタ」ボタンを押します。

留守録モニタが開始され、「留守録モニタ」ボタンが緑色で点滅します。
留守録モニタ中は、スピーカ受話状態になります（そのまま受話器を取り上げれば、スピーカから受話器に切替わります）。



Note

- ・留守録モニタ中に受話器を上げると、留守録モニタ中の音声が受話器から聞こえます（留守録モニタは継続しています）
- ・留守録モニタ中に受話器を戻すと、留守録モニタは終了し、「留守録モニタ」ボタンが赤色で点滅します。留守録は継続しています。
- ・留守録モニタ中に「留守録モニタ」ボタンを押すと、ピー音がでて受話器を上げるとお話しできます。留守録は終了し、その時点までの録音内容を所定のボックスに保存します。
- ・1台の電話機で複数のモニタは行えません。
- ・1つの留守録を複数の電話機でモニタすることはできません。
- ・留守録モニタの開始動作が“自動”に設定されていても、留守録モニタを行う電話機がすでにスピーカオンまたはオフックの場合は、留守録モニタは開始されません。

伝言が録音されたら自動的に知らせる〈呼び出し〉

伝言が録音されると、あらかじめ設定しておいた相手を自動的に呼び出すことができます。

自動的に呼び出しを行う動作モードには、次のモードがあります。いずれか1つを選択できます。

発報なし : 呼び出ししません。

定刻発報モード : あらかじめ指定した時刻に自動的に呼び出します。

1日に最大4つの時刻を指定できます。

定刻+即時発報モード : あらかじめ指定した時刻と着信メッセージが保存されたときに自動的に呼び出します。

1 外出先の電話機で着信したボイスメールからの呼び出しに応答します。

「この電話は伝言センターからおかけしております。暗証番号をダイヤルしてください」というガイダンスが流れます。

2 ボックスの暗証番号（再生パスワード）をダイヤルします。

入力した暗証番号（再生パスワード）が間違っていると、入力エラーのガイダンスが流れます。正しく入力しなおしてください。なお、ガイダンスが流れている間は入力できません。

3 伝言を聞きます。

4 伝言を聞き終わったら、お話しを終了します。



Note

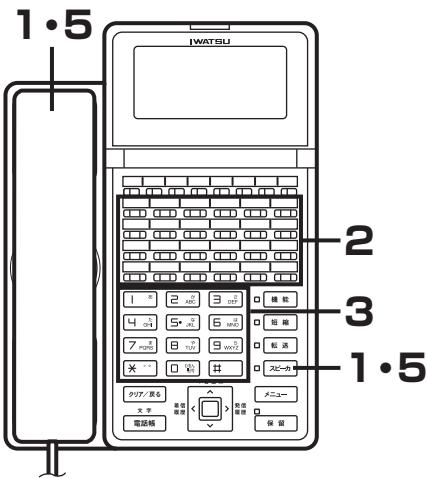
- ボイスメールからの呼び出しに応答しないときは、あらかじめ設定されたリトライ回数、周期で再発信を繰り返します。

録音内容再生

録音された内容を再生する

留守番電話に残された伝言を聞きます。

聞いていない伝言があるときには、そのボックスの「ボックス」ボタンが赤色に点灯します。



Note

- 「ボックス」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 同報ボックスは再生できません。
- 未再生の伝言がなくなると、「ボックス」ボタンは消灯します。
- 発信者番号が通知された相手からの伝言が録音されている場合は、伝言の再生中に、発信者番号をディスプレイに表示します。また、発信者番号が電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録している登録名称も表示します。

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

2 伝言を聞くボックスの「ボックス」ボタンを押します。

3 ボックスの暗証番号（再生パスワード）をダイヤルします。

ボックスに暗証番号（再生パスワード）が設定されている場合は、「暗証番号をダイヤルしてください」というガイダンスに従って、暗証番号（再生パスワード）を入力してください。

※録音されている伝言が再生されます。

4 伝言を聞きます。

先頭の伝言を再生する前に、未再生の伝言の件数がアナウンスされます。
※複数の伝言が録音されている場合は、連続して再生されます。

※再生中の操作については、「録音内容再生中の操作一覧」（下記）を参照してください。

5 伝言を聞き終わったら、受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

全ての伝言を再生し終わり未再生の伝言がなくなると、「ボックス」ボタンは消灯します。



Note

- あらかじめデータ設定により、ボックス内の録音メッセージが0件になった時に消灯させ、録音メッセージがあるときに点灯させることもできます。

■録音内容再生中の操作一覧

録音内容再生中には、次の操作を行えます。

ダイヤル	再生中機能
「1」	複数の録音内容がある場合、1つ前の録音内容を再生します
「2」	再生中の録音内容を繰り返し再生します
「3」	再生を中止し、次の録音内容を再生します
「4」	(なし)
「5」	再生中の録音内容を消去します
「6」	(なし)
「7」	再生中の録音内容を数秒間巻き戻して再生します
「8」	再生中の録音内容を数秒間早送りして再生します
「9」	再生中の録音内容を保存します
「0」	ボイスメールの操作ガイドを読み上げます
「#」「#」	再生を終了します
「ボックス」ボタンまたは「6」「1」	指定ボックスへメッセージを転送します
「*」「*」「1」	ボックス内の全ての録音内容が消去されます
「音声ファイル送信」ボタンまたは「6」「9」	録音内容つきのお知らせメールを手動で送信します

録音内容再生

録音された内容を消去する

聞き終わった伝言を消去します。

●1件消去する

1 伝言の再生中に、「5」ボタンを押します。

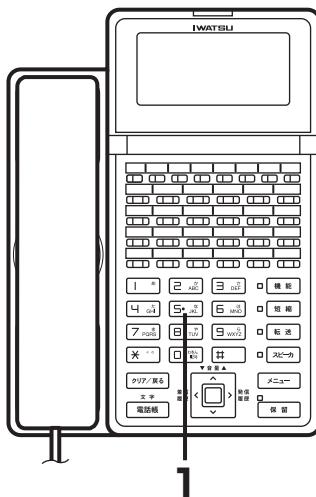
再生中の伝言が消去されます。

消去すると、次の伝言の再生が始まります。次の未再生の伝言がない場合は、保存メッセージがあれば、続けて保存メッセージの再生を行います。

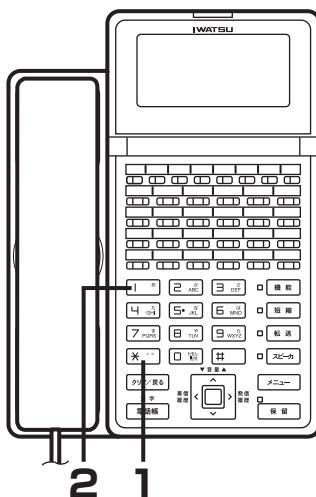


Note

- ・消去した伝言を復活させる方法はありません。間違いのないように、慎重に操作してください。
- ・未再生の伝言がなくなると、「ボックス」ボタンは消灯します。
※データ設定により、ボックス内の録音メッセージが0件になった時に消灯させることもできます。



1



2
1

●全件消去する

1 伝言の再生中に、「*」「*」ボタンを押します。

確認のガイダンスが流れます。

2 「1」ボタンを押します。

ボックス内の全ての伝言が消去されます。

伝言の再生は終了します。

未再生の伝言がなくなり、「ボックス」ボタンは消灯します。

※「2」ボタンを押すか、何も操作しなかった場合は、全件消去の操作はキャンセルされます。次の伝言の再生が開始されます。



Note

- ・消去した伝言を復活させる方法はありません。間違いのないように、慎重に操作してください。

録音された内容を保存する

伝言を保存しておくこともできます。

1 伝言の再生中に、「9」ボタンを押します。

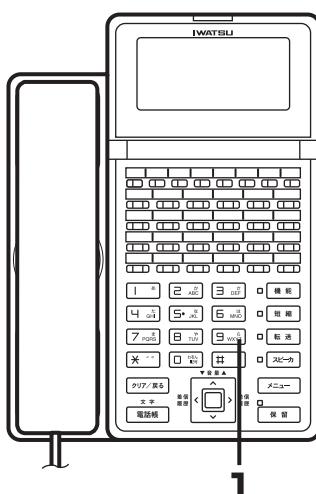
再生中の伝言が保存されます。

保存すると、次の伝言の再生が始まります。次の未再生の伝言がない場合は、保存メッセージがあれば、続けて保存メッセージの再生を行います。



Note

- ・保存された伝言も、既定の日数（初期値：30日）が経過すると自動的に消去するように設定することもできます。



1

録音された伝言を転送する〈振り分け〉

録音されている伝言を、他のボックスに転送します。

グループ留守番電話のボックスに録音されている内容を、個別留守番電話のボックスに転送することもできます。

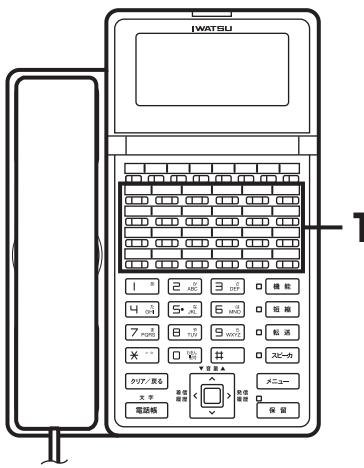
1 伝言の再生中に、転送先のボックスの「ボックス」ボタンを押します。

転送先のボックスの「ボックス」ボタンが赤色に点灯します。

転送すると、次の伝言の再生が始まります。次の未再生の伝言がない場合は、伝言の再生は終了します。

※「6」「1」ボタン+転送先ボックスの番号+「#」ボタンを押しても同じ操作ができます。

※転送の操作は、次の伝言の再生が始まる前までは可能です。



Note

- 「ボックス」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

Note

- 録音されている伝言を同報ボックスに転送することもできます。同報ボックスに転送すると、設定されている同報先ボックスに転送されます。この方法は、1件の伝言を複数のボックスに転送するときに使用できます。
- 同報ボックスを使うためには、あらかじめ同報ボックスに同報先のボックスを設定しておく必要があります。
- 「同報ボックス1」～「同報ボックス60」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 転送先の同報ボックスは、「同報ボックス1」～「同報ボックス60」を使用できます。
- 転送先に無効なボックスを指定した場合や、同報先が指定されていない同報ボックスを指定した場合、ボックス番号がない旨のガイダンスが聞こえます。
- 録音メモリが満杯等で転送先のボックスに保存できない場合には、録音できない旨のガイダンスが聞こえます。
- 転送先が同報ボックスの場合で、全ての同報先ボックスで録音メモリが満杯等で転送先のボックスに伝言を保存できない場合には、録音できない旨のガイダンスが聞こえます。

再生時の暗証番号について〈再生パスワード〉

ボックスに暗証番号（再生パスワード）を設定して、ボックス使用者以外が再生することを防ぐことができます。暗証番号（再生パスワード）を設定すると、ボックスの内容を再生するときに、暗証番号（再生パスワード）の入力が必要になります。入力された暗証番号（再生パスワード）が間違っていると、ボックスの再生はキャンセルされます。

Note

- 入力した暗証番号（再生パスワード）が間違っていると、ガイダンスが流れます。ガイダンスに従って暗証番号（再生パスワード）を入力しなおしてください。なお、ガイダンスが流れている間は、入力できません。

応答メッセージ

留守番電話（グループ／個別）でボイスメールが着信に応答したときに流すメッセージです。

応答メッセージには、あらかじめボイスメールで用意している共通応答メッセージとユーザが録音できる応答メッセージとがあります。

■共通応答メッセージ

あらかじめボイスメールで用意されている共通の応答メッセージです、新たに応答メッセージが録音されていない場合は、この共通応答メッセージが流れます。

共通応答メッセージは次のとおりです。

応答メッセージ番号	種類	音声ガイダンス内容
1	応答メッセージ1	「本日の業務は終了しました。ご用件のある方はピーッという発信音のあとにメッセージをお話しください。」
2	応答メッセージ2	「只今、席を外しています。ご用件のある方はピーッという発信音のあとにメッセージをお話しください。」
3	応答メッセージ3	「只今、外出しています。ご用件のある方はピーッという発信音のあとにメッセージをお話しください。」
4	応答専用メッセージ1 [#]	「只今、留守にしております。恐れ入りますが後ほどおかけ直しください。」
5	応答専用メッセージ2 [#]	「本日の業務は、終了いたしました。恐れ入りますが、就業時間におかけ直しください。」

注：応答専用メッセージ1、2は応答専用です。メッセージ録音しない場合に使用するものです。

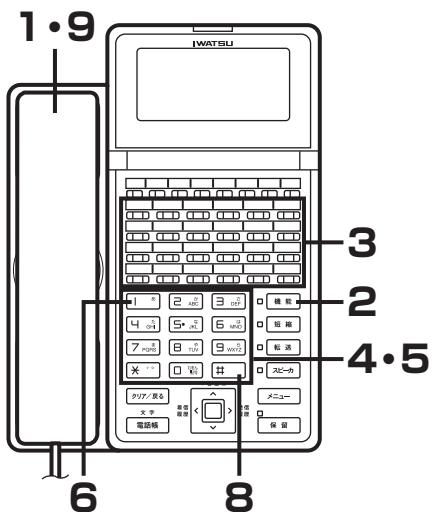


Note

- ・共通応答メッセージは消去できません。同一番号に応答メッセージを録音すると、その録音内容が優先されます。しかし、録音した応答メッセージを消去すると、ふたたび共通応答メッセージが流れます。
- ・ボイスメールの全てのチャネルがビジーの場合は、応答メッセージの録音／再生／消去の操作はできません。

応答メッセージを録音する

共通応答メッセージとは別に、留守番電話（グループ／個別）でボイスメールが着信に応答したときに流すメッセージを録音することができます。



Note

- 「ボックス」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 同報ボックスには録音できません。

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

2 「機能」ボタンを押します。
「機能」ボタンが赤色で点滅します。

3 応答メッセージを録音するボックスの「ボックス」ボタンを押します。

「暗証番号をダイヤルしてください。」のガイダンスが流れます。
該当のボックスボタンが赤点灯します。

4 暗証番号（設定パスワード）をダイヤルします。

「留守番応答のメッセージ番号をダイヤルしてください。」のガイダンスが流れます。

5 留守番応答のメッセージ番号（1～5）をダイヤルします。

「録音は「1」、再生は「2」、消去は「3」をダイヤルしてください。」のガイダンスが流れます。

6 「1」ボタンを押します。

「録音を開始します。ピーという発信音の後にメッセージをお話しください。録音の終了は、「#」をダイヤルしてください。」のガイダンスが流れます。
開始音（ピー）の後に録音が始まります。

7 応答メッセージを話します。

8 応答メッセージを話し終わったら、「#」ボタンを押します。

「録音を終了しました。」のガイダンスが流れます。
録音を終了した後、手順（5）のガイダンスが再度流れます。

9 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。
該当のボックスボタンが消灯します。

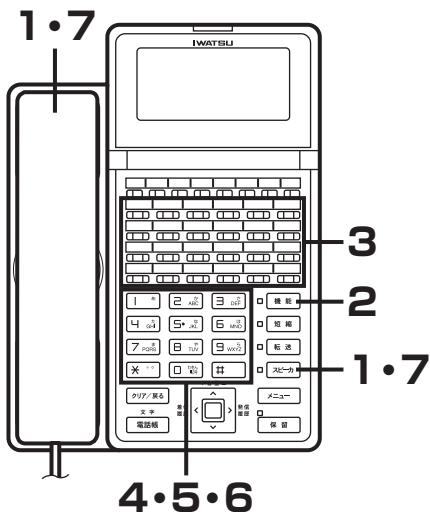
Note

- 入力した暗証番号（設定パスワード）が間違っていると、入力エラーのガイダンスが流れます。正しく入力しなおしてください。なお、ガイダンスが流れている間は入力できません。
- 応答メッセージの録音上限時間は2分です。それを超えると録音は中止され、その時点までの録音が保存されます。

応答メッセージ

応答メッセージを再生／消去する

登録された応答メッセージを再生、消去することができます。



Note

- 「ボックス」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

2 「機能」ボタンを押します。
「機能」ボタンが赤色で点滅します。

3 応答メッセージを再生または消去するボックスの「ボックス」ボタンを押します。
「暗証番号をダイヤルしてください。」のガイダンスが流れます。
該当のボックスボタンが赤点灯します。

4 暗証番号（設定パスワード）をダイヤルします。
「留守番応答のメッセージ番号をダイヤルしてください。」のガイダンスが流れます。

5 留守番応答のメッセージ番号（1～5）をダイヤルします。
「録音は「1」、再生は「2」、消去は「3」をダイヤルしてください。」のガイダンスが流れます。

6 録音されたメッセージを聞くときは「2」ボタン、消去ときは「3」ボタンを押します。

●「2」を押したときは

→録音されたメッセージが再生されます。

メッセージが再生された後、手順（5）のガイダンスが流れます。

●「3」を押したときは

→「もう一度、「3」を押すと消去します。」のガイダンスが流れるので、再度、「3」を押してください。

「メッセージを消去しました。」のガイダンスが流れ、メッセージが消去されます。メッセージが消去された後、手順（5）のガイダンスが流れます。

7 受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。
該当のボックスボタンが消灯します。

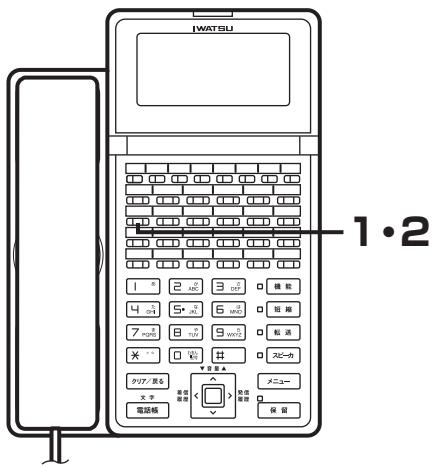


Note

- 入力した暗証番号（設定パスワード）が間違っていると、入力エラーのガイダンスが流れます。正しく入力しなおしてください。なお、ガイダンスが流れている間は入力できません。

応答メッセージを選択する

グループ留守番電話機の応答メッセージを、ユーザが録音したメッセージまたは共通応答メッセージの合計5種類のメッセージから選択できます。



Note

- 「留守番」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 応答メッセージの選択は、留守機能が解除されている状態で操作してください。

1 留守番電話グループに属する電話機で、受話器を置いたまま、「留守番」ボタンを押します。

応答メッセージが流れます。
「留守番」ボタンが赤点灯します。

2 希望の応答メッセージが再生されるまで、繰り返し「留守番」ボタンを押します。

- 希望の応答メッセージが再生されたら
その応答メッセージが終わるまで待ちます。
再生が終わるとメッセージが選ばれます。
再生を途中でオフプッシュしても選択されます。



Note

- ボイスメールの全てのチャネルがビジーの場合は、操作できません。
- グループ留守番電話の応答メッセージの切り替えは、その留守番電話グループに属する電話機から操作してください。
- 留守番電話グループに属する電話機から応答メッセージの切替えを行っているときには、他の電話機から留守番電話の開始／終了の操作はできません。
- 応答メッセージの選択は、次に応答メッセージが切替えられるまで有効です。グループ留守番電話を開始しても変化しません。
- 「メニュー」ボタンの操作でも同様の設定が行えます。（「留守録応答メッセージを選択する」（3-4ページ））

外部（外出先）から録音内容再生／録音する〈リモート〉

留守番電話に残された伝言を、外出先などから操作して聞くことができます。

録音された内容を外出先から再生する

●ボイスメールに直接着信する場合

ボイスメールに着信が行われる電話番号を発信して、ボイスメールへ直接着信させます。

1 外出先の電話機から、ボイスメールに着信する電話番号にダイヤルします。

「メッセージの再生は「1」、伝言録音は「2」、留守録の操作は「3」、終了は「#」をダイヤルしてください。」というボイスメールのガイダンスが流れます。

2 「1」をダイヤルします。

「メッセージを再生するボックス番号をダイヤルし、最後に「#」をダイヤルしてください。」というガイダンスが流れます。

3 ガイダンスに従って、ボックス番号と「#」をダイヤルします。

「暗証番号をダイヤルしてください」のガイダンスが流れます。

4 暗証番号（再生パスワード）をダイヤルします。

録音されている伝言が再生されます。

5 伝言を聞きます。

6 伝言を聞き終わったら、お話しを終了します。

●ボイスメールにスライド着信する場合

1 外出先の電話機から、ボイスメールにスライド着信する電話番号にダイヤルします。

2 応答メッセージが聞こえているうちに、「#」「#」をダイヤルし、続けて暗証番号（留守番応答アクセスパスワード）をダイヤルします。

「メッセージの再生は「1」、伝言録音は「2」、留守録の操作は「3」、終了は「#」をダイヤルしてください。」というボイスメールのガイダンスが流れます。

3 ガイダンスが聞こえたら、「1」をダイヤルします。

「メッセージの再生するボックス番号をダイヤルし、最後に「#」をダイヤルしてください。」というガイダンスが流れます。

4 ガイダンスに従って、ボックス番号と「#」をダイヤルします。

「暗証番号をダイヤルしてください」のガイダンスが流れます。

5 暗証番号（再生パスワード）をダイヤルします。

録音されている伝言が再生されます。

6 伝言を聞きます。

7 伝言を聞き終わったら、お話しを終了します。



Note

- ・暗証番号（再生パスワード）が設定されている場合は、暗証番号（再生パスワード）の入力が必要です。



Note

- ・ボイスメールにスライド着信する設定が必要です。
- ・暗証番号（再生パスワード）が設定されている場合は、暗証番号（再生パスワード）の入力が必要です。

**Note**

- 暗証番号（再生パスワード）が設定されている場合は、暗証番号（再生パスワード）の入力が必要です。

●留守番電話が応答する場合

- 1 外出先の電話機から、留守番電話に着信する電話番号にダイヤルします。**
応答メッセージが流れます。
- 2 応答メッセージが聞こえているうちに、「#」「#」をダイヤルし、続けて暗証番号（留守番応答アクセスパスワード）をダイヤルします。**
「メッセージの再生は「1」、伝言録音は「2」、留守録の操作は「3」、終了は「#」をダイヤルしてください。」というボイスメールのガイダンスが流れます。
- 3 ガイダンスが聞こえたら「1」をダイヤルします。**
「メッセージを再生するボックス番号をダイヤルし、最後に「#」をダイヤルしてください。」というガイダンスが流れます。
- 4 ガイダンスに従って、ボックス番号と「#」をダイヤルします。**
「暗証番号をダイヤルしてください」のガイダンスが流れます。
- 5 暗証番号（再生パスワード）をダイヤルします。**
録音されている伝言が再生されます。
- 6 伝言を聞きます。**
- 7 伝言を聞き終わったら、お話しを終了します。**

**Note**

- ガイダンスが流れた後に規定時間なにも操作しないと、自動的に通話は切断されます。
- DISA外線からボイスメールの内線代表番号をダイヤルすると、ボイスメールを直接呼び出せます。
- 外線からの操作は、プッシュ信号で送られます。プッシュ信号を送出できない電話機からは操作できません。

●ボイスメールからの呼び出しに応答する場合

- 1 外出先の電話機で、着信したボイスメールからの呼び出しに応答します。**
「この電話は伝言センターからおかげしています。」というガイダンスが流れます。
- 2 ボックスの暗証番号（再生パスワード）をダイヤルします。**
録音されている伝言が再生されます。
- 3 伝言を聞きます。**
- 4 伝言を聞き終わったら、お話しを終了します。**

外部（外出先）から録音内容再生／録音する〈リモート〉

録音された内容を外出先から再生する〈取次再生〉

留守番電話に残された伝言を、内線電話を操作してもらって聞くことができます。

● 内線電話機での操作

外線からの着信に応答します。

1 外線とお話し中に、「転送」ボタンを押します。

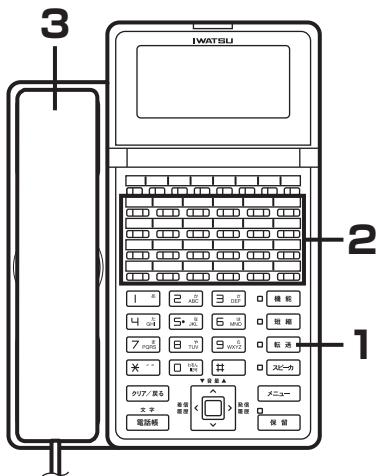
〔転送〕ボタンが点滅し、「ブブブ」という第2発信音が聞こえます。

2 「ボックス」ボタンを押します。

※個別ボックス・留守番グループボックスがご利用になります。

3 操作を促すガイダンスが聞こえたら、受話器を置きます。

お話し中の外線をボイスメールに接続します。



Note

- 内線電話機での取り次ぎ操作時に、ボイスメールのチャネルが話中の場合、受話器を戻すとキャンプオン（呼び出し待ち）状態になります。また、「転送」ボタンを押すと、外線とお話しできます。

● 外部の電話機での操作

1 ボイスメールに接続されたら、ガイダンスに従って、暗証番号（再生パスワード）をダイヤルします。

2 ガイダンスに従って操作します。

録音されている伝言が再生されます。

3 伝言を聞きます。

4 伝言を聞き終わったら、お話しを終了します。

Note

- 外線からの操作は、プッシュ信号で送られます。プッシュ信号を送出できない電話機からは操作できません。

外出先から留守番電話をオン／オフする

留守番電話をセットし忘れたときなど、外出先から留守番電話機能をオン／オフすることができます。
また、伝言の録音先ボックスを変更することもできます。

●留守番電話をオン（開始）する

1 外出先の電話機から、ボイスメールにスライド着信する電話番号にダイヤルします。

2 応答メッセージが聞こえているうちに、「#」「#」をダイヤルし、続けて暗証番号（留守番応答アクセスパスワード）をダイヤルします。

「メッセージの再生は「1」、伝言録音は「2」、留守録の操作は「3」、終了は「#」をダイヤルしてください。」というボイスメールのガイダンスが流れます。

3 ガイダンスが聞こえたら、「3」をダイヤルします。

「留守番の操作を開始します。ボックス番号をダイヤルし、最後に「#」をダイヤルしてください」というガイダンスが流れます。

4 ガイダンスが聞こえたら、ボックス番号と「#」をダイヤルします。

「暗証番号をダイヤルしてください」というガイダンスが流れます。

※ボックス番号には、留守番グループボックス番号を指定する必要があります。

5 ガイダンスが聞こえたら、暗証番号（設定パスワード）をダイヤルします。

「メッセージ番号をダイヤルしてください」というガイダンスが流れます。

6 ガイダンスが聞こえたら、留守番応答のメッセージ番号（1～5）をダイヤルします。

7 応答メッセージが聞こえたら、お話しを終了します。

※お話を終了しないでいると、再び手順（2）のリモート操作ガイダンスが流れます。

この状態で、引き続き、伝言の再生等の操作を行うことができます。



Note

- ・ボックス番号はお買い求めの販売店にお問い合わせください。
- ・入力したボックス番号がエラーの場合、ガイダンスが流れます。ガイダンスが流れている間は、何も入力できません。
- ・お買い求め時の暗証番号（設定パスワード）は1111が設定されています。詳細については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

外部（外出先）から録音内容再生／録音する〈リモート〉

●留守番電話をオフ（解除）する

**Note**

- 外線からの操作は、ブッシュ信号で送られます。ブッシュ信号を送出できない電話機からは操作できません。

1 外出先の電話機から、留守番電話に着信する電話番号にダイヤルします。

2 応答メッセージが聞こえているうちに、「#」「#」をダイヤルし、続けて暗証番号（留守番応答アクセスパスワード）をダイヤルします。

「メッセージの再生は「1」、伝言録音は「2」、留守録の操作は「3」、終了は「#」をダイヤルしてください。」というボイスメールのガイダンスが流れます。

**3 ガイダンスが聞こえたら、「3」をダイヤルします。
留守録の操作を開始します。**

「留守録の操作を開始します。ボックス番号をダイヤルし、最後に「#」をダイヤルしてください。」というガイダンスが流れます。

4 ガイダンスが聞こえたら、ボックス番号と「#」をダイヤルします。

「暗証番号をダイヤルしてください。」というガイダンスが流れます。

5 ガイダンスが聞こえたら、暗証番号（設定パスワード）をダイヤルします。

「メッセージ番号をダイヤルしてください。」というガイダンスが流れます。

**6 ガイダンスが聞こえたら、「0」をダイヤルします。
「解除しました。」というガイダンスが流れます。**

7 ガイダンスが聞こえたら、お話しを終了します。

**Note**

- ボックス番号は、お買い求めの販売店にて確認ください。
- グループ留守番電話機能がオフの状態でも、着信に一定時間応答しないときは、自動的に留守番電話に着信するように設定されている必要があります。
- お買い求め時の暗証番号（留守番応答アクセスパスワード）は0852が設定されています。詳細については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- お買い求め時の暗証番号（設定パスワード）は1111が設定されています。詳細については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- すでに留守番電話機能がオンに設定されているときに、上記の手順（6）で「0」の代わりに、留守番応答のメッセージ番号（1～5）を押すと、応答メッセージを切替えることができます。

外出先から伝言を録音する〈リモート伝言録音〉



Note

- 外線からの操作は、プッシュ信号で送られます。プッシュ信号を送出できない電話機からは操作できません。

1 外出先の電話機から、ボイスメールにスライド着信する電話番号にダイヤルします。

2 応答メッセージが聞こえているうちに、「#」「#」をダイヤルし、続けて暗証番号（留守番応答アクセスパスワード）をダイヤルします。

「メッセージの再生は「1」、伝言録音は「2」、留守録の操作は「3」、終了は「#」をダイヤルしてください。」というボイスメールのガイダンスが流れます。

3 ガイダンスが聞こえたら、「2」をダイヤルします。

4 録音先のボックス番号と「#」をダイヤルします。

5 メッセージを話します。

※録音の終了は、「#」をダイヤルしてください。もう一度録音する場合は、「*」をダイヤルしてください。

6 お話しを終了します。



Note

- 入力したボックス番号がエラーの場合、ガイダンスが流れます。ガイダンスが流れている間は、何も入力できません。
- グループ留守番電話機能がオフの状態でも、着信に一定時間応答しないときは、自動的に留守番電話に着信するように設定されている必要があります。

通話録音（発信／着信）

外線通話を録音して、メッセージボックスに保存しておくことができます。

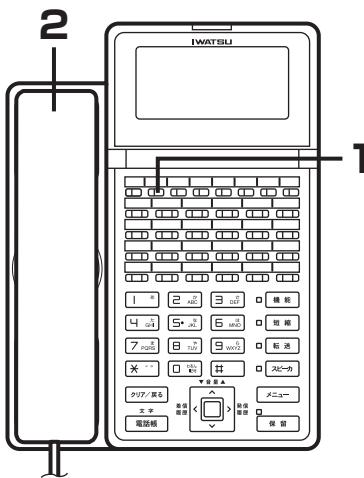
録音は、お話し中のいつでも開始できます。

お話しを手動で録音する

● 録音先ボックスが自動指定されている場合

録音内容は、自動的に自ボックスに保存されます。

通話中に他の「ボックス」ボタンを押すと、そのボックスに保存されます。（「録音した通話の保存先を変更する」（3-50ページ））



1 お話し中に、「通話録音」ボタンを押します。

録音が開始され、「通話録音」ボタンと保存先ボックスの「ボックス」ボタンが赤色に点滅します。

※お話し中に録音をいったん終了するときには、点滅している「ボックス」ボタンを押します。再び「通話録音」ボタンを押すと、新たに通話録音が開始されます。

2 お話しが終了したら、受話器を置きます。

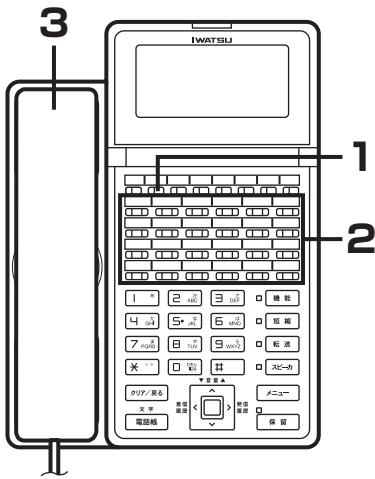
録音は自動的に終了し、「通話録音」ボタンが消灯します。また、保存先ボックスの「ボックス」ボタンが赤色に点灯します。

録音した通話は、点灯しているボックスに保存されています。



Note

- 通話録音を開始すると、録音開始音が聞こえます。
- 「通話録音」ボタン、「ボックス」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

**Note**

- ・「通話録音」ボタン、「ボックス」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- ・通話録音を開始すると、録音開始音が聞こえます。

●録音先ボックスが自動指定されていない場合

通話録音終了時、保存先ボックスの「ボックス」ボタンを押さないと録音内容は保存されません。

1 お話し中に、「通話録音」ボタンを押します。

録音が開始され、「通話録音」ボタンが赤色に点滅します。

2 通話録音中に、保存先ボックスの「ボックス」ボタンを押します。

保存先ボックスの「ボックス」ボタンが赤色に点滅します。

※保存先ボックスの【ボックス】ボタンを押さずに受話器を置いた場合、録音内容は消去されます。

※お話し中に録音をいったん終了するときには、点滅している「ボックス」ボタンを押します。再び「通話録音」ボタンを押すと、新たに通話録音が開始されます。

3 お話し終了したら、受話器を置きます。

録音内容がボックスに保存され、「通話録音」ボタンが消灯します。

また、保存先ボックスの「ボックス」ボタンは赤色に点灯します。

録音した通話は、点灯しているボックスに保存されています。

**Note**

- ・受話器を戻してお話しを終了したとき、または「ボックス」ボタンを押したとき以外に、次の場合に通話録音は終了します。
(その時点までの通話は、「ボックス」ボタンに録音されています。)
 - お話しが切断されたとき
 - お話しを保留したとき
 - ※あらかじめ設定により、保留操作時通話録音を一時停止させることもできます。
 - ※保留後、再び通話録音する場合、再度「通話録音」ボタンを押します。保留前の録音とは別に保存されます。
 - 録音可能時間に達したとき（録音終了音が聞こえます）
 - ※録音開始音・終了音の有無はデータ設定に依存します。
 - 録音メモリ残量がなくなったとき（録音終了音が聞こえます）
- ・次の場合は、通話録音できません。
 - 録音するボックスの録音件数が999件に達している
 - 録音するボックスの録音メモリ残量が不足している
 - 内線とお話し中の場合
 - 4者会議通話中の場合
 - 録音通話チャネルが全て使用中の場合
- ・録音した通話を再生するときは、「録音された内容を再生する」(3-33ページ)を参照してください。
- ・通話録音中に、録音先のボックスを変更することもできます。（「録音した通話の保存先を変更する」(3-50ページ)）
- ・録音した通話を他のボックスに転送することもできます。（「通話録音された内容を転送する〈振り分け〉」(3-53ページ)）
- ・通話中に録音を中止し、それまでに録音された通話を消去することもできます。（「通話録音を中止する」(3-50ページ)）

通話録音（発信／着信）

お話しを自動で録音する

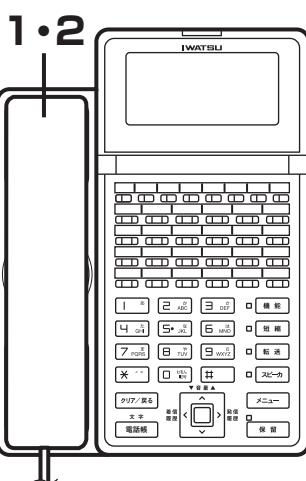
外線通話を録音して、メッセージボックスに保存しておくことができます。

録音は、かかってきた電話に応答するだけで、自動的に開始できます。

●録音先ボックスが自動指定されている場合

録音内容は、自動的に自ボックスに保存されます。

通話中に他の保存先ボックスの「ボックス」ボタンを押すとそのボックスに保存されます。（「録音した通話の保存先を変更する」（3-50ページ））



Note

- ・「通話録音」ボタン、「ボックス」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- ・データ設定により、あらかじめ電話機ごとにボックスキーのランプ点灯条件を登録することができます。
 - (1)新着メッセージがある場合
 - (2)新着メッセージまたは既読メッセージがある場合

1 着信中に、受話器を取り上げます。

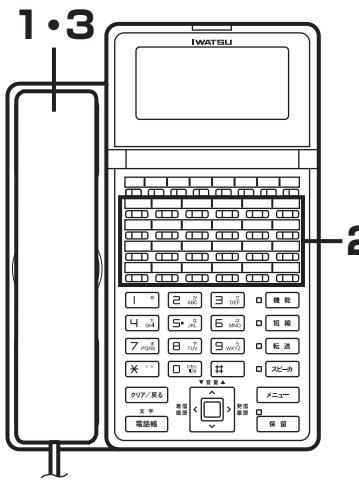
録音が開始され、「通話録音」ボタンと保存先ボックスの「ボックス」ボタンが赤色に点滅します。

※お話し中に録音をいったん終了するときには、点滅している「ボックス」ボタンを押します。再び「通話録音」ボタンを押すと、新たに通話録音が開始されます。

2 お話しが終したら、受話器を置きます。

録音は自動的に終了し、「通話録音」ボタンが消灯します。また、保存先ボックスの「ボックス」ボタンが赤色に点灯します。

録音した通話は、点灯しているボックスに保存されています。

**Note**

- 「通話録音」ボタン、「ボックス」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 通話録音を開始すると、録音開始音が聞こえます。
- データ設定により、システムが局線着信に自動応答して、相手先に対して通話が録音される旨のガイダンスを流すことができます。
- データ設定により、あらかじめ電話機ごとに、着信時・発信時・保留応答時に自動通話録音をするか登録することができます。

●録音先ボックスが自動指定されていない場合

通話録音終了時、保存先ボックスの「ボックス」ボタンを押さないと録音内容は保存されません。

1 着信中に、受話器を取り上げます。

録音が開始され、「通話録音」ボタンが赤色に点滅します。

2 通話録音中に、保存先ボックスの「ボックス」ボタンを押します。

保存先ボックスの「ボックス」ボタンが赤色に点滅します。

※保存先ボックスの【ボックス】ボタンを押さずに受話器を置いた場合、録音内容は消去されます。

※お話し中に録音をいったん終了するときには、点滅している「ボックス」ボタンを押します。再び「通話録音」ボタンを押すと、新たに通話録音が開始されます。

3 お話し終了したら、受話器を置きます。

録音内容がボックスに保存され、「通話録音」ボタンが消灯します。

また、保存先ボックスの「ボックス」ボタンは赤色に点灯します。

録音した通話は、点灯しているボックスに保存されています。

**Note**

- 受話器を戻してお話しを終了したとき、または「ボックス」ボタンを押したとき以外に、次の場合に通話録音は終了します。
(その時点までの通話は、「ボックス」ボタンに録音されています。)
 - お話しが切断されたとき
 - お話しを保留したとき
※あらかじめ設定により、保留操作時通話録音を一時停止させることができます。
 - ※保留後、再び通話録音する場合、再度「通話録音」ボタンを押します。保留前の録音とは別に保存されます。
 - 録音可能時間に達したとき（録音終了音が聞こえます）
※録音開始音・終了音の有無はデータ設定に依存します。
 - 録音メモリ残量がなくなったとき（録音終了音が聞こえます）
- 次の場合は、通話録音できません。
 - 録音するボックスの録音件数が999件に達している
 - 録音するボックスの録音メモリ残量が不足している
 - 内線とお話し中の場合
 - 4者会議通話中の場合
 - 録音通話チャネルが全て使用中の場合
- 録音した通話を再生するときは、「録音された内容を再生する」(3-33ページ)を参照してください。
- 通話録音中に、録音先のボックスを変更することもできます。（「録音した通話の保存先を変更する」(3-50ページ)）
- 録音した通話を他のボックスに転送することもできます。（「通話録音された内容を転送する、〈振り分け〉」(3-53ページ)）
- 通話中に録音を中止し、それまでに録音された通話を消去することもできます。（「通話録音を中止する」(3-50ページ)）

通話録音（発信／着信）

録音した通話の保存先を変更する

必要に応じて、通話の録音を保存するボックスを変更できます。

通常、通話の録音は、ご使用の電話機に対応したボックスに保存されます。

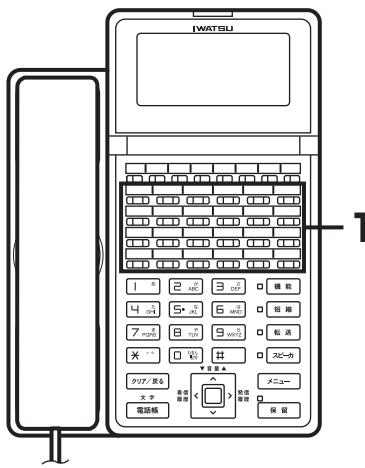
1 通話録音中に、保存先ボックスの「ボックス」ボタンを押します。

保存先を変更すると、始めに保存先に指定されていたボックスは消灯し、新たに保存先として指定したボックスが赤色に点滅します。



Note

- 保存先のボックスは、通話録音中に何回でも変更できます。通話の録音は、複数回変更した場合には、最後に押した「ボックス」ボタンのボックスに保存されます。
- 保存先を同報ボックスにすることもできます。
- 「ボックス」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 録音メモリ残量の不足等で指定したボックス（同報ボックスを含む）に保存できない場合、通話の録音はご使用の電話機用のボックスに保存されます。



通話録音を中止する

録音が不要な通話だった場合には、録音を中止できます。

中止すると、それまでの録音は消去されます。

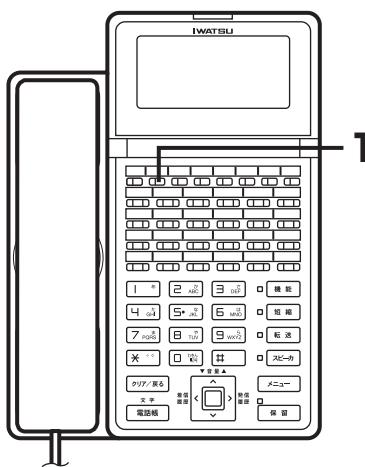
1 通話録音中に、「通話録音」ボタンを押します。

録音が中止され、「通話録音」ボタン、「ボックス」ボタンが消灯します。



Note

- 通話録音を中止した後、再び「通話録音」を押すと、新たに通話録音が開始できます。（「お話しを手動で録音する」（3-46ページ）、「お話しを自動で録音する」（3-48ページ））

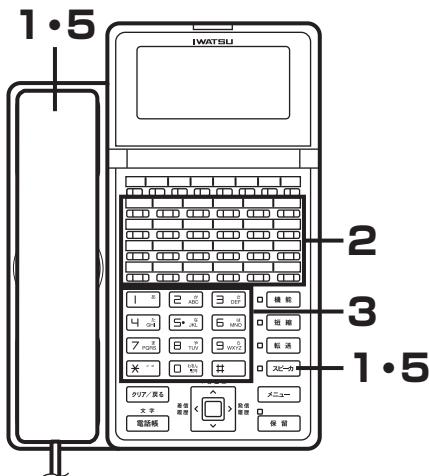


Note

- 「通話録音」ボタン、「ボックス」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

通話録音の再生

通話録音された内容を再生する



Note

- 「ボックス」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 同報ボックスは再生できません。
- 未再生の通話がなくなると、「ボックス」ボタンは消灯します。
- 発信者番号が通知された相手からの通話が録音された場合は、録音内容の再生中に、発信者番号をディスプレイに表示します。また、発信者番号が電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録している登録名称も表示します。
- 単独電話機の場合、内線ダイヤルトーンからボイスメールアクセス番号をダイヤルし、ボイスメールの音声案内に従って行ってください。

通話録音の内容を聞きます。

聞いていない録音内容があるときには、そのボックスの「ボックス」ボタンが赤色に点灯します。

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

2 録音内容を聞くボックスの「ボックス」ボタンを押します。

該当のボックスボタンが赤点灯します。

3 ボックスの暗証番号（再生パスワード）をダイヤルします。

ボックスに暗証番号（再生パスワード）が設定されている場合は、「暗証番号をダイヤルしてください」というガイダンスに従って、暗証番号（再生パスワード）を入力してください。

※ 録音されている録音内容が再生されます。

4 録音内容を聞きます。

先頭の録音内容を再生する前に、未再生の録音件数がアナウンスされます。

※ 複数の通話が録音されている場合は、連続して再生されます。

※ 再生中の操作については、「通話録音内容再生中の操作一覧」（下記）を参照してください。

5 録音内容を聞き終わったら、受話器を置くか「スピーカ」ボタンを押します。

全ての通話を再生し終わり未再生の録音がなくなると、「ボックス」ボタンは消灯します。



Note

- あらかじめデータ設定により、ボックス内の録音メッセージが0件になった時に消灯させ、録音メッセージがあるときに点灯させることもできます。

■通話録音内容再生中の操作一覧

通話録音内容再生中には、次の操作を行えます。

ダイヤル	再生中機能
「1」	複数の録音内容がある場合、1つ前の録音内容を再生します
「2」	再生中の録音内容を繰り返し再生します
「3」	再生を中止し、次の録音内容を再生します
「4」	(なし)
「5」	再生中の録音内容を消去します
「6」	(なし)
「7」	再生中の録音内容を数秒間巻き戻して再生します
「8」	再生中の録音内容を数秒間早送りして再生します
「9」	再生中の録音内容を保存します
「0」	ボイスメールの操作ガイダンスを読み上げます
「#」「#」	再生を終了します
「ボックス」ボタンまたは「6」「1」	指定ボックスへメッセージを転送します
「*」「*」「1」	ボックス内の全ての録音内容が消去されます
「音声ファイル送信」ボタンまたは「6」「9」	録音内容つきのお知らせメールを手動で送信します

通話録音の再生

通話録音された内容を消去する

聞き終わった伝言を消去します。

● 1件消去する

1 通話録音の再生中に、「5」ボタンを押します。

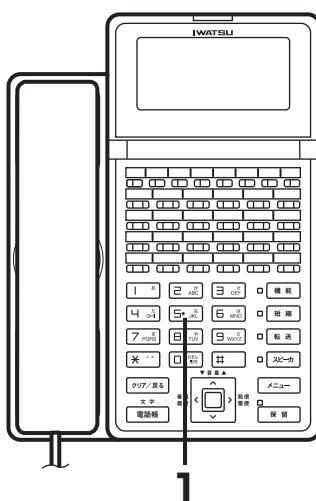
再生中の伝言が消去されます。

消去すると、次の録音内容の再生が始まります。次の未再生の録音がない場合は、保存メッセージがあれば、続けて保存メッセージの再生を行います。



Note

- ・消去した録音内容を復活させる方法はありません。間違いないように、慎重に操作してください。
- ・未再生の伝言がなくなると、「ボックス」ボタンは消灯します。
※データ設定により、ボックス内の録音メッセージが0件になった時に消灯させることもできます。



1

● 全件消去する

1 通話録音の再生中に、「*」「*」ボタンを押します。

確認のガイダンスが流れます。

2 「1」ボタンを押します。

ボックス内の全ての録音内容が消去されます。

録音の再生は終了します。

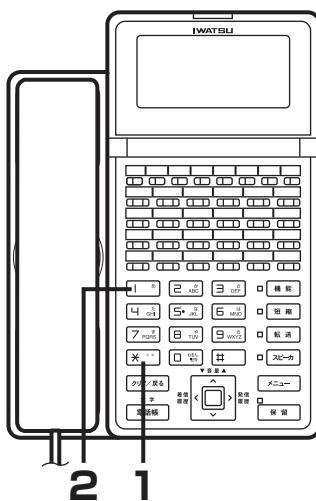
未再生の録音内容がなくなると、「ボックス」ボタンは消灯します。

※「2」ボタンを押すか、何も操作しなかった場合は、全件消去の操作はキャンセルされます。次の録音内容の再生が開始されます。



Note

- ・消去した録音内容を復活させる方法はありません。間違いないように、慎重に操作してください。



2 1

通話録音された内容を保存する

録音内容を保存しておくこともできます。

1 通話録音の再生中に、「9」ボタンを押します。

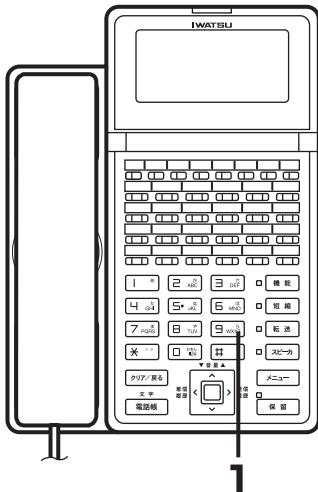
再生中の録音内容が保存されます。

保存すると、次の録音内容の再生が始まります。次の未再生の録音内容がない場合は、保存メッセージがあれば、続けて保存メッセージの再生を行います。



Note

- 保存された録音内容も、既定の日数（初期値：30日）が経過すると自動的に消去するように設定することができます。



通話録音された内容を転送する〈振り分け〉

録音されている内容を、他のボックスに転送します。

グループ留守番電話のボックスに録音されている内容を、個別留守番電話のボックスに転送することもできます。

1 通話録音の再生中に、転送先のボックスの「ボックス」ボタンを押します。

転送先のボックスの「ボックス」ボタンが赤色に点灯します。

転送すると、次の録音内容の再生が始まります。未再生の録音内容がない場合は、再生済みの録音内容を再生します。

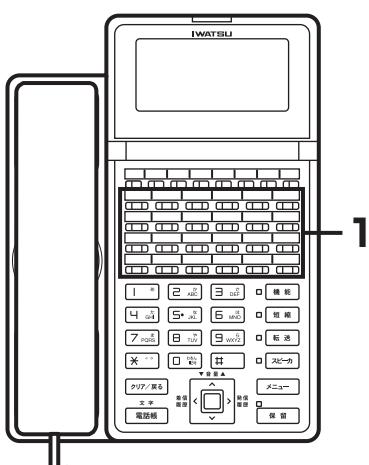
※「6」「1」ボタン+転送先ボックスの番号+「#」ボタンを押しても同じ操作ができます。

※転送の操作は、次の録音内容の再生が始まる前までは可能です。



Note

- 録音されている内容を同報ボックスに転送することもできます。同報ボックスに転送すると、設定されている同報先ボックスに転送されます。この方法は、1件の録音内容を複数のボックスに転送するときに使用できます。
- 同報ボックスを使うためには、あらかじめ同報ボックスに同報先のボックスを設定しておく必要があります。
- 「同報ボックス1」～「同報ボックス60」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 転送先の同報ボックスは、「同報ボックス1」～「同報ボックス60」を使用できます。
- 転送先に無効なボックスを指定した場合や、同報先が指定されていない同報ボックスを指定した場合、ボックス番号がない旨のガイダンスが聞こえます。
- 録音メモリが満杯等で転送先のボックスに保存できない場合には、録音できない旨のガイダンスが聞こえます。
- 転送先が同報ボックスの場合で、全ての同報先ボックスで録音メモリが満杯等で転送先のボックスに伝言を保存できない場合には、録音できない旨のガイダンスが聞こえます。
- 転送先のボックスに同報ボックスを指定した場合、同報ボックスボタンは点灯せず、同報ボックスに所属しているボックスボタンが点灯します。



Note

- 「ボックス」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

通話録音の再生

再生時の暗証番号について〈再生パスワード〉

ボックスに暗証番号（再生パスワード）を設定して、ボックス使用者以外が再生することを防ぐことができます。暗証番号（再生パスワード）を設定すると、ボックスの内容を再生するときに、暗証番号（再生パスワード）の入力が必要になります。入力された暗証番号（再生パスワード）が間違っていると、ボックスの再生はキャンセルされます。

**Note**

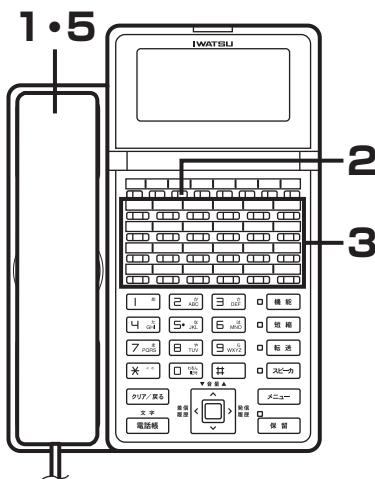
- ・入力した暗証番号（再生パスワード）が間違っていると、ガイダンスが流れます。ガイダンスに従って暗証番号（再生パスワード）を入力しなおしてください。なお、ガイダンスが流れている間は、入力できません。

伝言録音機能

指定したボックスにメッセージを録音できます。

また、同報ボックスに録音すると、メッセージは、その同報ボックスの宛先として設定されているボックスの全てに保存されます。

同報ボックスは、同一のメッセージを複数のボックスに録音したいときに便利です。



- 「伝言録音」ボタン、「ボックス」ボタン、「同報ボックス」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

メッセージを指定ボックス／同報ボックスに録音する〈伝言録音／同報録音〉

1 受話器を取り上げます。

2 「伝言録音」ボタンを押します。
“メールボックスNo.”と表示されます。

3 伝言を保存するボックスの「ボックス」ボタンを押します。

「伝言録音」ボタンが赤色に点滅します。
※メッセージを同報する場合は、「同報ボックス」ボタンを押します。
※「ボックス」ボタンのかわりに、ボックス番号 + 「#」ボタンを押しても同じ操作ができます。

4 メッセージを話します。

5 受話器を置きます。

録音は自動的に終了し、「伝言録音」ボタンが消灯します。また、保存先ボックスの「ボックス」ボタンは赤色に点滅します。
録音したメッセージは、点灯しているボックスに保存されています。



- メッセージの録音中は、録音先のボックスを変更できません。
- 同報ボックスを使うためには、あらかじめ同報ボックスに同報先のボックスを設定しておく必要があります。
- 録音中に録音メモリ残量がなくなったときには、その時点でメッセージ録音を終了します。それまでのメッセージは録音されています。
- 録音した通話を再生するときは、「録音された内容を再生する」(3-33ページ)を照してください。
- 保存先に同報ボックスを指定した場合、同報ボックスボタンは点灯せず、同報ボックスに所属しているボックスボタンが点灯します。

録音お知らせメール

留守番録音、通話録音、伝言録音によりメッセージが録音されると、自動的に携帯電話等にメールが送信されますので、外出先等で自分宛てのメッセージがあることを知ることができます。

録音お知らせメールを送信する

留守番録音、通話録音、伝言録音によりメッセージが録音されると自動でお知らせメールを送信することができます。



Note

- あらかじめデータ設定が必要です。

録音内容を添付したお知らせメールを送信する

●録音内容つきのお知らせメールを自動で送信する

留守番録音、通話録音、伝言録音によりメッセージが録音されると自動で録音内容を添付してメール送信することができます。



Note

- あらかじめデータ設定が必要です。
- 録音内容を添付しないで自動でお知らせメールを送信することもできます。あらかじめデータ設定が必要です。

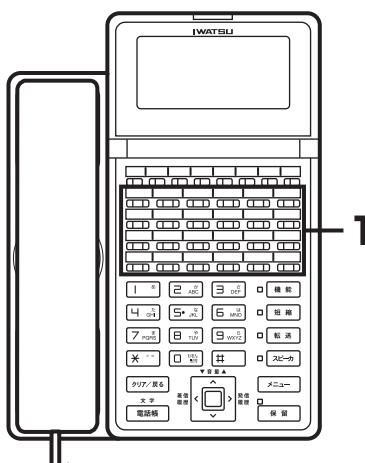
●録音内容つきのお知らせメールを手動で送信する

1 録音内容の再生中に、「音声ファイル送信」ボタン（または「6」「9」ボタン）を押します。



Note

- 「音声ファイル送信」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。



録音お知らせメールを受信する

1 携帯電話等でEメールを開きます。

2 次の内容を知ることができます。

●留守番録音・通話録音の場合（携帯電話の表示例）

件名： 録音お知らせメール 留守番録音

本文：



Note

- ・アクセス先・コメントはあらかじめデータ設定が必要です。

メールBOX3001に留守番録音が入っています。

岩崎通信機

→ 電話帳に登録された発信者名称

03***4567

→ 発信者番号

11月30日10時00分

→ 録音日時

・録音時間：1分10秒

・アクセス先

03***5678

→ 折り返し電話番号1

03***5687

→ 折り返し電話番号2

<http://www.xxxxxx.co.jp/keitaiweb/index.html>

→ ケータイWebリンク機能のアクセス先URL

・新着：計10件

→ メール送付時点での未読件数

2011年度目標：お客様が笑顔になるような対応を心がけよう

→ コメント

●伝言録音の場合（携帯電話の表示例）

件名： 録音お知らせメール 伝言録音

本文：



Note

- ・アクセス先・コメントはあらかじめデータ設定が必要です。

メールBOX3001に伝言録音が入っています。

11月30日10時00分

→ 録音日時

・録音時間：1分10秒

・アクセス先

03***5678

→ 折り返し電話番号1

03***5687

→ 折り返し電話番号2

<http://www.xxxxxx.co.jp/keitaiweb/index.html>

→ ケータイWebリンク機能のアクセス先URL

・新着：計10件

→ メール送付時点での未読件数

2011年度目標：お客様が笑顔になるような対応を心がけよう

→ コメント

録音お知らせメール

音声ファイルを再生する

- 1 パソコン等でEメールの“録音お知らせメール”を開き、添付ファイルをクリックします。



Note

- ・録音お知らせメールに添付された音声ファイルを再生するには、あらかじめアプリケーション（LV音声ファイル変換ツール）のインストールが必要です。詳しくは「LV音声ファイル変換ツール取扱説明書」をご覧ください。
- ・スマートホンや携帯電話での音声ファイル再生機能のご利用は出来ません。

4. メッセージ 機能編

音声案内

外線や内線からかかってきた電話に対し、音声による案内サービスができます。

音声案内サービス概要

利用できる音声案内サービスは次のとおりです。(固定メッセージ例)

- | | |
|---------------------|---------------------------|
| ●接続案内サービス | ●転送電話の応答メッセージ |
| ●ダイレクトインワードサービスアクセス | ●着信呼均等分配(ACD)／着信お待たせメッセージ |
| ●外線への自動応答メッセージ | ●迷惑電話防止の断りメッセージ |
| ●モーニングコール | ●音声応答自動振分機能(IVR) |

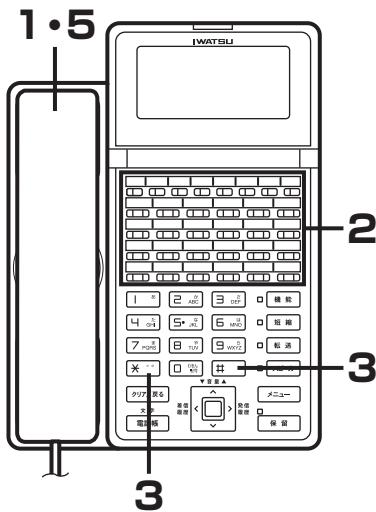
番号	状態	メッセージ
01	案内サービス	可変メッセージのみ
02	DISA	こちらは、ダイレクトインサービスです。おかげの電話機が、プッシュボンでしたら発信音の後に、内線番号をダイヤルしてください。
03		こちらは、ダイレクトインサービスです。おかげの電話機が、プッシュボンでしたら発信音の後に、内線番号をダイヤルしてください。ただしコレクトコードではお呼び出しができません。
-	IVR呼出失敗	おつなぎできませんでした。
05	DISA	ピー(発信音)
06~09	局線自動応答1	本日の業務は、終了致しました。恐れ入りますが、就業時間におかけ直しください。
10~13	局線自動応答2	恐れ入りますが本日は、定休日となっています。
14~17	転送電話	転送電話です。
18	話中音	ただいまお話し中です。
19	警告音	おかげになった番号は、使われておりません。
20	ドントディスターク	ただいまお呼び出しができません。
21	不在メッセージ	ただいま不在のため、お呼び出しができません。
22	モーニングコール	こちらは、モーニングコールサービスです。24時間制で時刻をダイヤルしてください。
23	モーニングコール応答	こちらは、モーニングコールサービスです。お時間になりました。
31	着信呼均等分配(ACD)初回	ただいま呼び出しを行っていますので、恐れ入りますがそのままの状態でしばらくお待ちください。
32	着信呼均等分配(ACD)2回目以降	お待たせして申し訳ございませんが、もうしばらくお待ちください。
34	モーニングコールキャンセル	モーニングコールサービスの時刻をキャンセルいたしました。
-	IVR未定義操作	番号が違います。
-	IVRサービス提供不可	このサービスは、ご利用になれません。
-	IVR強制終了	終了しました。
45	迷惑電話防止(電話番号登録型)	おかげになった電話番号への通話は、おつなぎできません。ご了承ください。
46	迷惑電話防止(番号非通知型)	恐れ入りますが、電話番号の先頭に186とつけてダイヤルするなど、あなたの電話番号を通知しておかけ直しください。
47	迷惑電話防止(公衆/表示圈外型)	恐れ入りますが、電話番号が通知されていないため、この電話はお受けできません。電話番号が通知される電話からおかけ直しください。
-	IVR呼出開始	ただいま呼び出しを行っていますので、恐れ入りますがそのままの状態でしばらくお待ちください。



Note

- 音声案内サービス機能を使用するためには、機能ライセンスが必要です。
- 音声応答自動振分機能(IVR)のメッセージ番号は、あらかじめ設定が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。
また、音声応答自動振分機能(IVR)メッセージの再生、録音、消去方法については、「5.音声応答自動振分機能(IVR)編」(5-1ページ)を参照してください。

固定メッセージの再生



Note

- 「音声案内録音」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 固定メッセージは、システムにあらかじめ登録してある音声案内です。

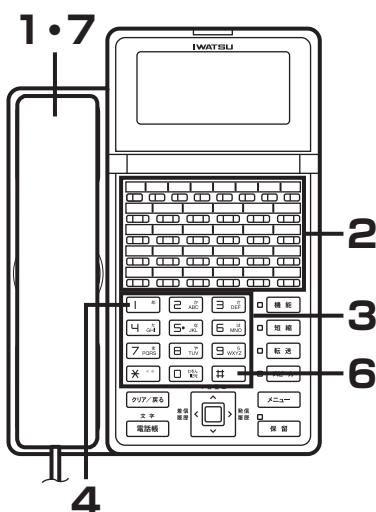
1 受話器を取り上げます。

2 「音声案内録音」ボタンを押します。

3 メッセージ番号の入力ガイダンスが流れたら、「#」「*」ボタンを押します。

4 登録されている内容が聞こえます。

5 メッセージの再生終了後、受話器を置きます。



Note

- すでにメッセージ登録されている場合、上書きして登録されます。
- メッセージは度々でも吹き替えることができます。
- 「音声案内録音」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

1 受話器を取り上げます。

2 「音声案内録音」ボタンを押します。

3 メッセージ番号（01～50）を押します。

4 「1」ボタンを押します。

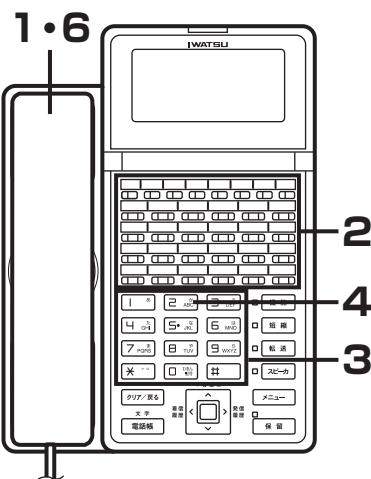
5 録音するメッセージを120秒以内で話します。

6 録音を終わらせる為に「#」ボタンを押します。

7 受話器を置きます。

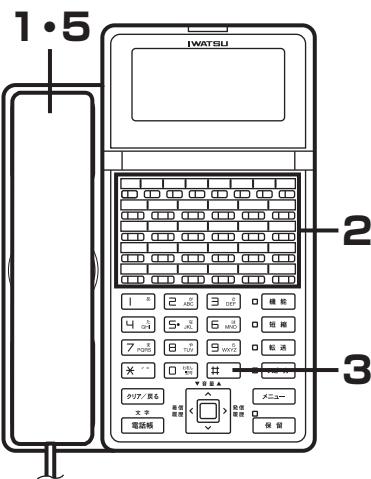
音声案内

可変メッセージの再生



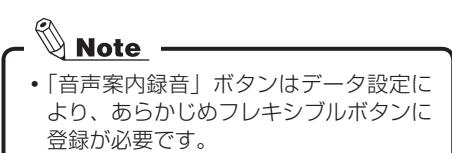
●可変メッセージの再生方法

- 1** 受話器を取り上げます。
- 2** 「音声案内録音」ボタンを押します。
- 3** 再生するメッセージ番号（01～50）を押します。
- 4** 「2」ボタンを押します。
- 5** 登録されている内容が聞こえます。
- 6** メッセージの再生終了後、受話器を置きます。

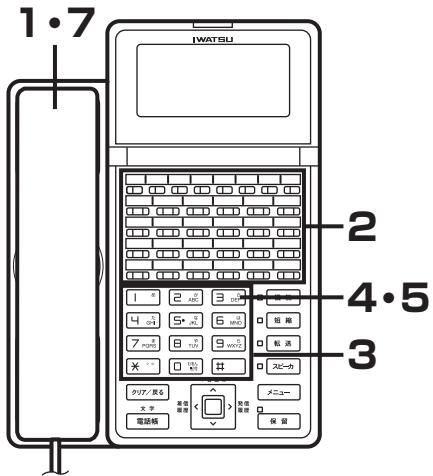


●可変メッセージの一括再生方法

- 1** 受話器を取り上げます。
- 2** 「音声案内録音」ボタンを押します。
- 3** メッセージ番号の入力ガイダンスが流れたら、「#」ボタンを2回押します。
- 4** 登録されている内容が聞こえます。
- 5** メッセージの再生終了後、受話器を置きます。



可変メッセージの消去



Note

- 「音声案内録音」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

●可変メッセージの消去方法

1 受話器を取り上げます。

2 「音声案内録音」ボタンを押します。

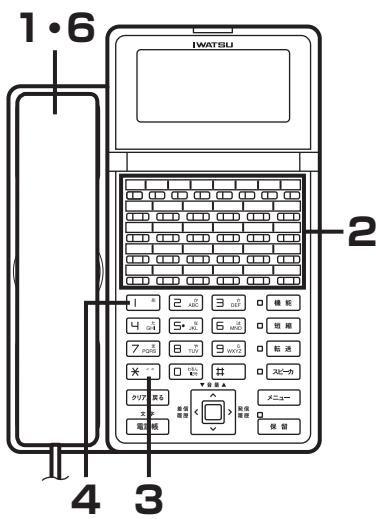
3 消去するメッセージ番号（01～50）を押します。

4 「3」ボタンを押します。

5 確認メッセージが流れたら、「3」ボタンを押します。

6 登録されている内容が消去されます。

7 受話器を置きます。



Note

- 「音声案内録音」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

●可変メッセージの一括消去方法

1 受話器を取り上げます。

2 「音声案内録音」ボタンを押します。

3 メッセージ番号の入力ガイダンスが流れたら、「*」ボタンを2回押します。

4 確認ガイダンスが流れたら、「1」ボタンを押します。

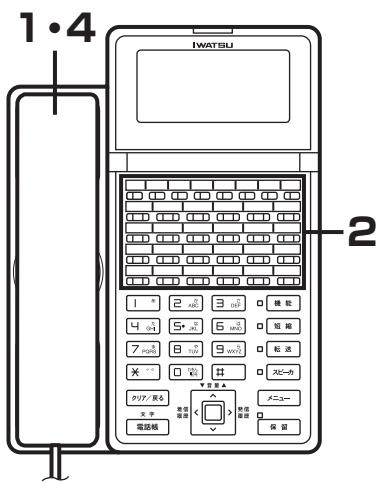
5 登録されているすべての可変メッセージが消去されます。

6 受話器を置きます。

音声案内

案内サービス

電話機は、次に示す操作によって音声による案内サービスを受けることができます。



1 受話器を取り上げます。

2 「音声案内再生」ボタン（または「機能」+「4」「5」ボタン）を押します。

3 メッセージが再生されます。

4 メッセージの再生終了後、受話器を置きます。



Note

- 可変メッセージ01番のメッセージが再生されます。
- 「音声案内再生」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

5. 音声応答自動振分 機能(IVR)編

音声応答自動振分機能 (IVR)

オプション

音声応答自動振分機能 (IVR) 概要

外線着信に対して音声応答自動振分機能 (IVR : Interactive Voice Response) (以下、「IVR」と称します)による案内サービスをご利用いただくことができます。

システムが自動応答したあとに、操作ダイヤルをプッシュ信号によりダイヤルすることで、様々な用途の機能をご利用いただけます。

LEVANCIОのIVRは、次の機能を使用することができます。

●自動応答

外線からの着信に自動的に応答します。

●シナリオ実行

次の項目で構成されたシナリオを実行します。

※ 最大50種類のシナリオが使用できます。また、階層（段数）の制限なく自由にシナリオを組み合わせることができますので、様々な用途で本機能をご利用いただけます。

- 音声案内

音声ガイダンスを再生し、操作を案内します。

- 操作受付

発信者が操作したダイヤルを受け付け、ダイヤルに設定された機能を実行します。音声ガイダンス再生中に操作を受け付けることもできます。

- 無操作監視

一定時間ダイヤル操作がなかった場合に設定された機能を実行します。

●機能実行

操作受付／無操作監視で実行できる機能は次のとおりです。

- 内線呼び出し

内線電話機を呼び出します。内線代表呼び出しや、複数の内線電話機を同時に呼び出すこと（複数台内線呼び出し）もできます。

- 外線転送（短縮発信）

システム短縮発信機能を利用して、着信を外線に転送することができます。

※ 特定の用件の着信を他の営業所に転送する場合などに便利です。

- シナリオ実行

次のシナリオの実行や、直前に実行したシナリオの再実行を行うことができます。

※ シナリオの機能実行から他のシナリオを実行することで、階層による案内を行うことができます。

- 切断

音声で「終了しました」と案内したあと、外線を切断します。

●受付操作表示

内線呼び出しによる着信時、発信者がダイヤル操作によって選択したシナリオの番号と最後に操作したダイヤルを、電話機のディスプレイで確認できます。

※ ディスプレイに表示されるシナリオ番号と最終操作ダイヤルを、シナリオの内容を示す資料と照らし合わせることで、発信者の用件がわかります。電話応対を簡略化でき、かつ的確な対応を行うことができます。

※ 受付操作表示が行える電話機は、LEVANCIО KTのみです。

●留守録連係

呼び出しを受ける内線電話機が話し中の場合や離席中などで呼び出しに応答できなかった場合に、ボイスメールの留守録に音声で用件を残していただくことができます。

●スケジュール

曜日ごとにIVRを利用する時間帯を登録することで、自動的にIVR機能を開始／停止させることができます。

※ 営業時間などに合わせて時間帯ごとに異なるシナリオを実行させることもできるので、細やかなサービスを提供できます。

●音声ガイダンス登録

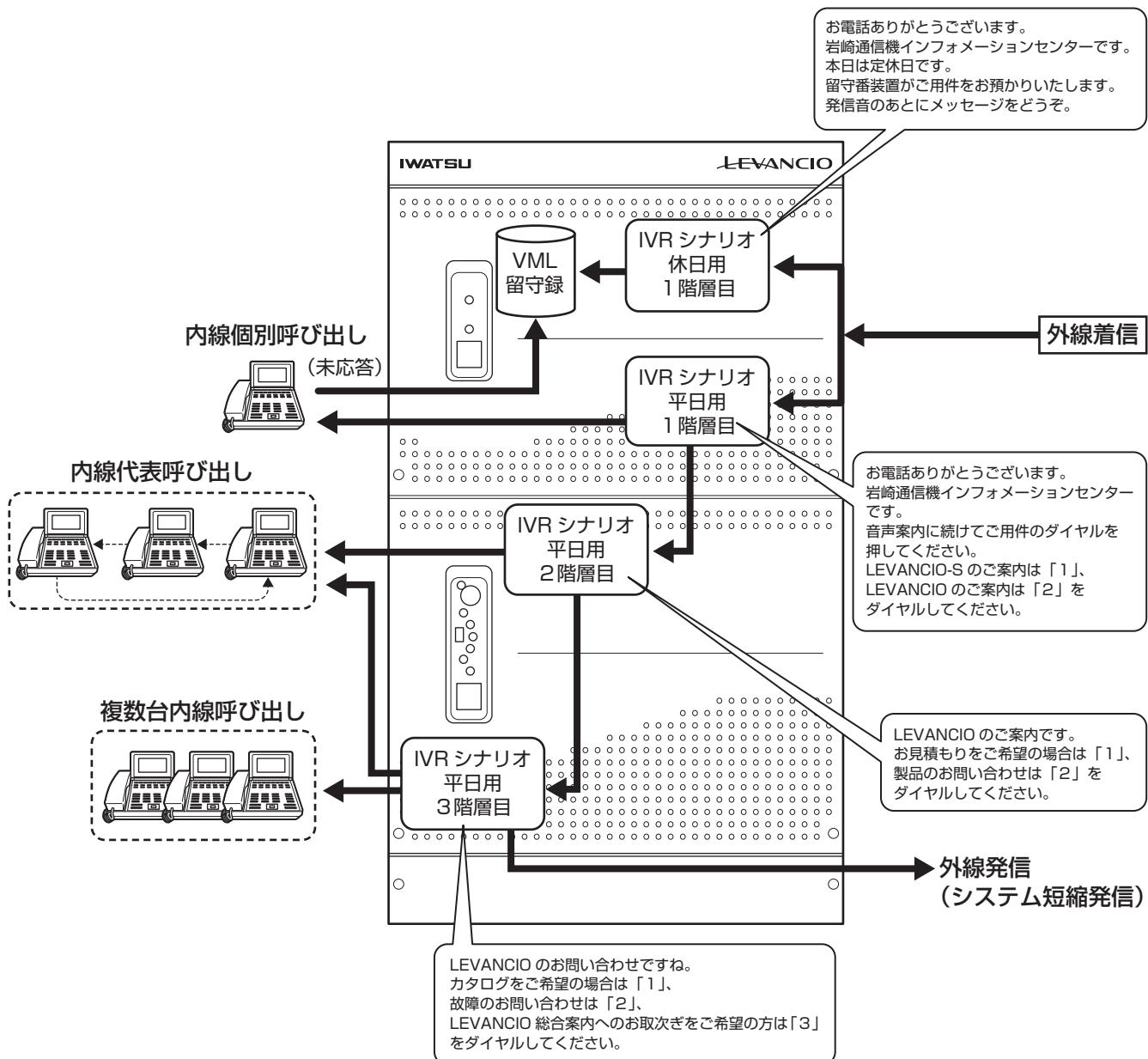
音声ガイダンスを録音することができます。（1ガイダンス最大2分）

※ ユーザ様の用途に応じた独自の音声ガイダンスをご利用いただけるので、オリジナルな操作案内を提供することができます。

操作を案内するガイダンスは、ユーザ様に適した可変ガイダンスをあらかじめご準備いただき、ご利用ください。

なお、操作結果をお知らせする固定ガイダンスは用意されています。

IVRの動作例



Note

- IVR機能を使用するためには、IVRチャネルライセンスが必要です。また、可変ガイダンスの録音を行うためにはVML録音時間ライセンス、留守録連携を行うにはVMLチャネルライセンスおよびVML録音時間ライセンスが必要です。各ライセンスについては、お買い求めの販売店にお問合せください。

音声応答自動振分機能 (IVR)

オプション

IVRの応答動作例



【1階層目】

お電話ありがとうございます。
岩崎通信機インフォメーションセンターです。
商品の問合せについては1を
商品の修理については2を
ダイヤルしてください。

↓ 「1」ボタンを押す

↓ 「2」ボタンを押す

【2階層目】

○○商品については1を
△△商品については2を
××商品については3を
ダイヤルしてください。

↓ 「1」ボタンを押す

【2階層目】

○○商品の修理については1を
△△商品の修理については2を
××商品の修理については3を
ダイヤルしてください。

↓ 「1」ボタンを押す

【3階層目】

カタログのご請求については1を
商品の仕様については2を
商品の価格については3を
ダイヤルしてください。

【3階層目】

出張修理をご希望の場合1を
持込み修理をご希望の場合2を
ダイヤルしてください。

↓ 「1」ボタン
を押す

↓ 「2」ボタン
を押す

↓ 「3」ボタン
を押す

↓ 「1」ボタン
を押す

↓ 「2」ボタン
を押す

内線個別呼び出し

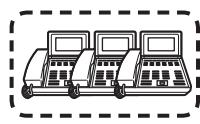


↓ 着信に
応答する



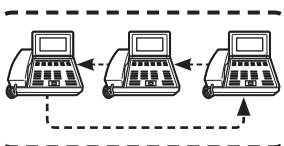
カタログ発送担当へ
内線着信

複数台内線呼び出し



↓ 着信に
応答する

内線代表呼び出し



↓ 着信に
応答する

外線発信
(短縮発信)



↓ 着信に
応答する

内線個別呼び出し



↓ 在席時は
着信に応答する



出張修理受付担当へ
内線着信

たいへんお待
たせしました。
担当××がお
受け致します。
カタログのご
請求ですね。



技術担当へ
内線着信



営業担当へ
内線着信



出張修理受付担当へ
内線着信

IVR可変ガイダンス登録

IVR用に次の固定ガイダンスが用意されています。

可変ガイダンスをご利用の場合は、「可変ガイダンスの録音方法」(5-6ページ)に従って、各ガイダンスに対応するガイダンスを録音してください。

● 固定ガイダンス一覧

操作結果	固定ガイダンス	可変ガイダンスのメッセージ番号と メッセージの内容
呼出開始	ただいま呼び出しを行っていますので、 恐れ入りますがそのままの状態でしばらくお待ちください。	
呼出失敗 (不正番号)	おつなぎできませんでした。	
呼出失敗 (呼出不可)	おつなぎできませんでした。	
呼出失敗 (呼出タイムアウト)	おつなぎできませんでした。	
呼出失敗 (リトライアウト)	ただいま大変電話が込みあっています。 後ほどお掛け直しください。	
未定義操作	番号が違います。	
サービス提供不可	このサービスは、ご利用になれません。	
強制終了	終了しました。	



Note

- 可変ガイダンスの録音を行うためにはVML録音時間ライセンスが必要です。ライセンスについては、お買い求めの販売店にお問合せください。
- 可変ガイダンスのメッセージ番号は、可変ガイダンスを録音／再生／消去する際に入力が必要です。お買い求めの販売店にお問合せください。

IVR可変ガイダンス登録

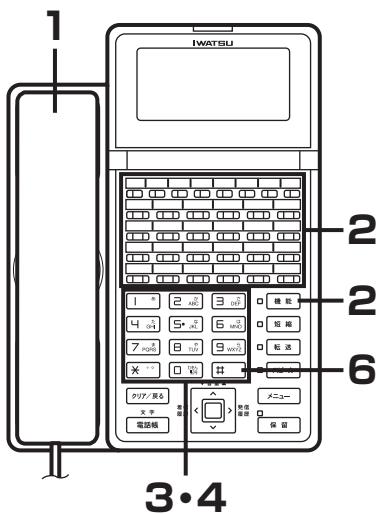
可変ガイダンスを登録する

可変ガイダンスの録音／再生／消去ができます。



Note

- ・可変ガイダンスの登録（録音／再生／消去）は、簡易中継台および一般ボタン電話機で操作することができます。
- ・可変ガイダンスの登録は、複数の電話機で同時にすることはできません。他の電話機が可変ガイダンスの登録を行っているときに可変ガイダンスの登録操作を行うと、警告音が送出されます。
- ・着信に対して可変ガイダンスを送出しているときは、可変ガイダンスの登録を行うことはできません。また、可変ガイダンス登録中にIVRが動作すべき着信を受けた場合、着信に対して可変ガイダンスが送出されませんのでご注意ください。
- ・可変ガイダンスの登録は、IVR停止状態のときに行ってください。
- ・停電時などシステムがバッテリーで稼動しているときにIVRが動作すべき着信を受けた場合、IVRは動作せずプライムステーションへの着信になります。



●可変ガイダンスの録音方法

1 受話器を取り上げます。

2 「機能」ボタン、「IVRn」ボタンの順に押します。

3 管理者パスワードを押します。

管理者パスワードが登録されていない場合、管理者パスワードの入力は不要です。

4 登録するメッセージ番号（01～50）を押し、続けて「1」ボタンを押します。

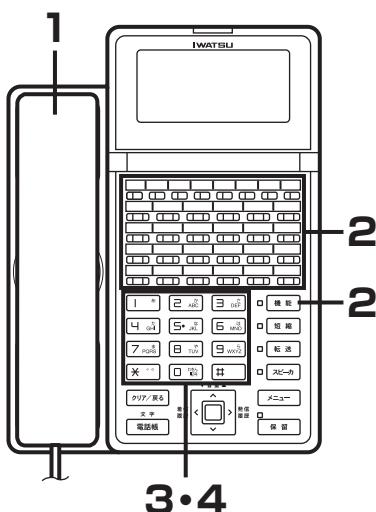
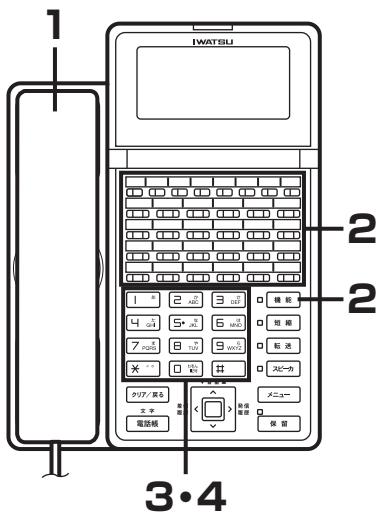
5 録音する案内を120秒以内で話します。

6 「#」ボタンを押します。



Note

- ・可変ガイダンスは何度でも吹き替えることができます。
- ・「IVRn」ボタンおよび管理者パスワードは、データ設定によりあらかじめ登録が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- ・可変ガイダンスを録音しているときに受話器を置くと、それまでの録音内容は破棄され、録音は終了します。
- ・可変ガイダンスを録音しているときに録音上限時間（120秒）に達すると、それまでの録音内容は保存され、録音は終了します。



●可変ガイダンスの確認方法

- 1 受話器を取り上げます。
- 2 「機能」ボタン、「IVRn」ボタンの順に押します。
- 3 管理者パスワードを押します。
管理者パスワードが登録されていない場合、管理者パスワードの入力は不要です。
- 4 登録するメッセージ番号（01～50）を押し、続けて「2」ボタンを押します。
- 5 録音されている可変ガイダンスを聞くことができます。
可変ガイダンスが録音されていない場合、「録音されません」と案内されます。

●可変ガイダンスの消去方法

- 1 受話器を取り上げます。
- 2 「機能」ボタン、「IVRn」ボタンの順に押します。
- 3 管理者パスワードを押します。
管理者パスワードが登録されていない場合、管理者パスワードの入力は不要です。
- 4 登録するメッセージ番号（01～50）を押し、続けて「3」ボタンを2回押します。
- 5 録音されている可変ガイダンスが消去されます。
可変ガイダンスが録音されていない場合は、「録音されません」と案内されます。



Note

- 「IVRn」ボタンおよび管理者パスワードは、データ設定によりあらかじめ登録が必要です。お買い求めの販売店にお問合せください。

IVR機能開始／停止

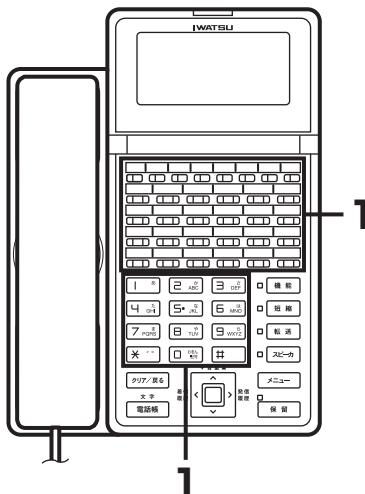
IVRサービスを開始／停止する

IVRグループごとにIVRサービスの開始／停止を設定できます。

●IVRサービスを開始する

- 1 「IVRn」ボタンが消灯しているときに受話器を置いた状態で、「IVRn」ボタン、管理者パスワードの順に押します。**

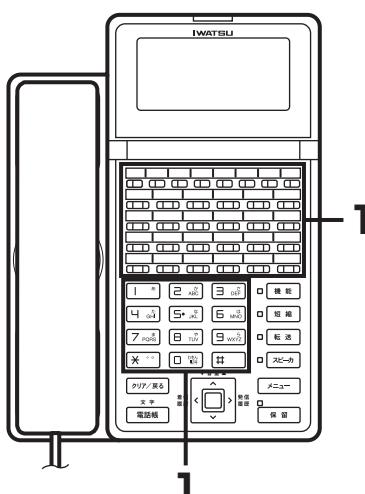
「IVRn」ボタンが赤色に点灯し、IVRサービスが開始状態になります。管理者パスワードが登録されていない場合、管理者パスワードの入力は不要です。



●IVRサービスを停止する

- 1 「IVRn」ボタンが赤色で点灯しているときに受話器を置いた状態で、「IVRn」ボタン、管理者パスワードの順に押します。**

「IVRn」ボタンが消灯し、IVRサービスが停止状態になります。管理者パスワードが登録されていない場合、管理者パスワードの入力は不要です。



Note

- 「IVRn」ボタンは、データ設定によりあらかじめ登録が必要です。
- IVRサービス動作中は「IVRn」ボタンが赤色で点灯し、IVRサービス停止中は「IVRn」ボタンが消灯します。
- IVR機能の動作スケジュールをデータ設定であらかじめ登録することで、IVRサービスを自動的に開始／停止させることもできます。スケジュールの登録についてはお買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 「IVRn」ボタンの操作でIVRサービスを開始した状態では、スケジュールによるIVRサービスの開始／停止は動作しません。IVRサービスの開始／停止は次の表のとおりに動作します。

IVRサービスの動作状態： 「IVRn」ボタンのランプ 表示	動作状態の切り替え		
	「IVRn」ボタン を押す	スケジュールの 開始時間になる	スケジュールの 停止時間になる
停止状態	消灯	手動開始状態	自動開始状態
自動開始状態 (スケジュールで 開始した状態)	赤色点滅	停止状態	自動開始状態 継続
手動開始状態 (「IVRn」ボタン で開始した状態)	赤色点灯	停止状態	手動開始状態 継続

IVR呼び出し

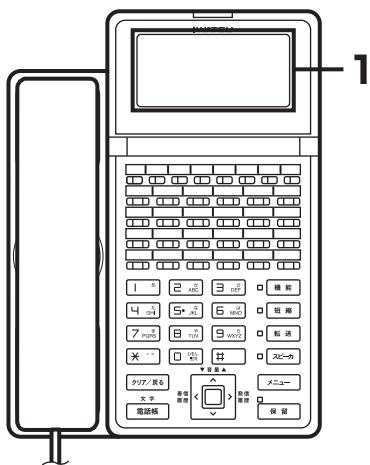
発信者が選択したシナリオを確認する

●受付操作表示

1 内線呼び出しによる着信時、発信者がダイヤル操作によって選択したシナリオの番号と最後に操作したダイヤルを、電話機のディスプレイで確認できます。

ディスプレイに表示されるシナリオの番号と最後に操作したダイヤルを、シナリオの内容を示す資料と照らし合わせることで、発信者の用件がわかります。

電話応対を簡略化でき、かつ的確な対応を行うことができます。
受付操作表示が行える電話機は、LEVANCIO KTのみです。



アイテサキ 岩崎通信機
03XXXX1111
IVR: [01>03>02]>1

シナリオ番号 最終操作ダイヤル

- ・ **シナリオ番号**
発信者が選択したシナリオの番号が表示されます。
4階層以上のシナリオを経由した場合、最後から3階層分のシナリオの番号が表示されます。
- ・ **最終操作ダイヤル**
発信者が最後のシナリオで操作したダイヤルが表示されます。

MEMO

6.管理者編

保守について

ボイスメール機能、メッセージ機能およびIVR機能は、コンパクトフラッシュを使用しています。コンパクトフラッシュには書き込み、消去回数による寿命があります。一般的な使用頻度では7年程度を想定しています。このため、ご使用頻度が多い場合には、早めの交換が必要になる場合があります。交換および、費用につきましては、お買い求めの販売店または、弊社販売担当にお尋ねください。なお、交換する際、コンパクトフラッシュカード内にあるお客様のデータは保存されません。

仕様

■内蔵IX-MCU-N (M-EX)

項目	仕様
録音媒体	コンパクトフラッシュCF
同時録音再生チャネル数	2チャネル (最大8チャネル)
最大録音時間	約22時間
録音ボックス数	最大188個
同報ボックス数	最大60個
メッセージ件数	最大999件／1ボックス システム全体 4000件

■ユニット (IX-WGU/XML-N、IX-MBU/XML-N)

項目	仕様
録音媒体	コンパクトフラッシュCF
同時録音再生チャネル数	2チャネル (最大24チャネル)
最大録音時間	約120時間
録音ボックス数	最大900個
同報ボックス数	最大60個
メッセージ件数	最大999件／1ボックス システム全体 8000件

ご注意

- 相手に無断で通話録音することは、プライバシーの侵害にあたる場合があります。通話録音機能は、通話している相手にお知らせしたうえで、ご使用ください。
- 録音された内容を第三者が無断で聞くことは、法に触れる可能性があるのでご留意ください。
- 本製品の故障、誤動作、不具合、または停電などの外部要因によって、通信（通話、録音、通話料金管理、FAX通信、データ通信、その他のサービスの利用など）の機会を逸脱したために生じた損害、およびこの取扱説明書に記載された内容に従わなかったことに起因する損害、故障につきましては、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 録音容量の空きがない等の場合、録音できないことがあります。
- 通話の音量が小さい場合など、各種録音が途中で終了することがあります。
- 外出先への呼び出し機能は、発信できる回線がない等で、呼び出せない場合があります。
- システムが自動メンテナンスをしている間は、再生に時間がかかることがあります。
- システムが輻輳状態である場合に正常に録音、再生ができないことがあります。

アフターサービスについて

● この商品には保証書があります。保証期間はお買い求めの日から1年間です。

保証書は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

なお、次の記載内容についてご確認ください。

- ・設置されている電話機の台数が記載されていること
- ・お買い求めの日が記載されていること
- ・お客様のご住所とお名前が記載されていること
- ・販売店の住所と名前が記載されていること

● 保証期間はお買い求めの日から1年間です。

なお保証期間中でも有料になる場合がありますので、保証書をよくお読みください。

● アフターサービスはお買い求めの販売店、もしくは工事店が行います。

万一の故障の修理、移動、増設、移設はすべてお買い求めの販売店、もしくは工事店にご依頼ください。

● 保証期間経過後の修理はお買い求めの販売店、もしくは工事店にご依頼ください。

・補修用部品の保有期間にについて

本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、最低7年間保有しています。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い求めの販売店、もしくは工事店にお問い合わせください。

・電子情報の消去について

お客様または第三者等が本商品のお取り扱いを誤ったとき、本商品のメモリなどが静電気ノイズの影響を受けたとき、また故障修理などのときに、まれに記憶内容が変化および消失することがあります。重要な内容は必ず控えを取っておいてください。記憶内容が変化および消失したことによる損害については、弊社に重大な過失、故意がない限り、弊社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

アフターサービスについてご不明な点はお買い求めの販売店、もしくは工事店にお問い合わせください。

索引

<アルファベット>

- IVR 5-2
- IVR可変ガイダンス確認方法 5-7
- IVR可変ガイダンス消去方法 5-7
- IVR可変ガイダンス登録 5-5, 5-6
- IVR可変ガイダンス録音方法 5-6
- IVRサービス開始方法 5-8
- IVRサービス停止方法 5-8

<あ行>

- アクセス番号 3-7, 3-28, 3-51
- 宛先Eメールアドレス設定 3-2, 3-13
- アフターサービス 6-5
- 暗証番号 3-3, 3-5, 3-22, 3-23, 3-25, 3-30, 3-32, 3-33, 3-35, 3-37, 3-38, 3-40, 3-41, 3-42, 3-43, 3-44, 3-45, 3-51, 3-54
- 受付操作表示 5-9
- エラー 3-43, 3-45
- 応答専用メッセージ 3-28, 3-36
- 応答メッセージ 3-2, 3-4, 3-5, 3-26, 3-28, 3-36, 3-37, 3-38, 3-39, 3-41, 3-43, 3-44
- 音声案内 4-2
- 音声応答自動振分機能 (IVR) 5-2
- 音声ファイルの再生 3-58

<か行>

- 開始動作 3-31
- 開始方法 3-2, 3-6
- 外出先 3-32, 3-40, 3-41, 3-42, 3-43, 3-44, 3-45, 6-4
- 外線アクセス番号 3-7
- 外線着信時 3-26, 3-30
- 外線通話 3-46, 3-48
- ガイダンス 3-26, 3-30, 3-32, 3-33, 3-34, 3-36, 3-37, 3-38, 3-40, 3-41, 3-42, 3-43, 3-44, 3-45, 3-51, 3-52, 3-53, 3-54
- 確認音 3-28
- キーパタン 3-4
- 記憶内容 6-5
- 記載内容 6-5
- 共通応答メッセージ 3-36, 3-39
- グループ留守番電話 3-35, 3-39, 3-44, 3-45, 3-53
- グループ留守番録音 3-26, 3-27
- 個人用ボックス 2-2, 2-3
- 個別ボックス 3-2, 3-3
- 個別留守番電話 3-35, 3-53
- 個別留守番録音 2-2, 3-28, 3-29, 3-30
- コンパクトフラッシュ 6-2, 6-3

<さ行>

- 再生時の暗証番号 3-35, 3-54
- 再生する 2-2, 3-27, 3-30, 3-33, 3-35, 3-40, 3-42, 3-47, 3-51, 3-54
- 再生パスワード 3-3, 3-30, 3-32, 3-33, 3-35, 3-40, 3-41, 3-42, 3-51, 3-54
- 再生パスワード変更 3-2, 3-3, 3-22
- 最大録音時間 6-3
- 指定ボックス 3-26, 3-28, 3-55
- 自動消去設定 3-2, 3-10, 3-11
- 自動消去対象条件 3-2, 3-11
- 自動消去動作 3-2, 3-10
- 自ボックス 2-2, 2-3, 3-48
- 消去する 3-34, 3-38, 3-52
- 上下ボタン 1-3
- 初期値 3-3, 3-24, 3-34, 3-53
- 所属ボックス 3-3, 3-25
- スピーカ 3-31
- スライド着信 3-30, 3-40, 3-43, 3-45
- 設定完了画面 3-21, 3-22, 3-23
- 設定する 3-7, 3-8, 3-9, 3-10, 3-11, 3-12, 3-13, 3-14, 3-18
- 設定パスワード変更 3-2, 3-3, 3-23
- 設定完了画面 3-5, 3-6, 3-7, 3-8, 3-9, 3-10, 3-22, 3-23, 3-25
- 全件消去 3-34, 3-52
- 選択する 3-4, 3-6, 3-39
- 操作一覧 3-33, 3-51
- 操作ガイダンス 3-30, 3-33, 3-43, 3-51
- 即時転送モード 2-3

<た行>

- ダイヤルイン着信 3-27
- 多機能電話機における設定例 2-2
- 単独電話機 3-51
- チャネル 6-3
- 通話録音 2-2, 2-3, 3-46, 3-47, 3-48, 3-49, 3-50, 3-51, 3-52, 3-53, 3-54
- 通話録音終了時 3-47, 3-49
- 通話録音内容再生 3-51
- 定刻発報時刻 3-2, 3-9
- ディスプレイ表示 2-3
- 伝言センター 3-32, 3-41
- 伝言録音 2-2, 2-3, 3-45, 3-55
- 伝言録音機能 3-55
- 転送先 3-35, 3-53
- 転送モード 2-3, 3-28
- 電話帳 3-33, 3-51
- 同時録音再生チャネル数 6-3
- 同報ボックス 2-2, 3-3, 3-24, 3-55
- 同報ボックス数 6-3
- 同報録音 3-55
- 特定日 3-3, 3-18

取次再生 3-42

〈な行〉

内線電話機 3-42

入力エラー 3-32, 3-37, 3-38

〈は行〉

パスワード 3-2, 3-3, 3-22, 3-23, 3-35

パスワード入力画面 3-5, 3-24

発信者番号 3-33, 3-51

発報先ダイヤル 3-2, 3-7

発報時刻 3-2, 3-9

発報タイミング 3-2, 3-8

表示一覧 2-3

不在転送 2-2, 2-3, 3-28, 3-29

フレキシブルボタン 1-3, 2-2, 2-3

変更する 3-22, 3-23, 3-24, 3-50

ボイスメール設定 3-4, 3-24

保存先 3-50

保存する 3-34, 3-53

ボックス使用者 3-35, 3-54

ボックス番号 3-2, 3-3, 3-40, 3-41, 3-43, 3-44, 3-45

ボックス番号入力 3-4, 3-24, 3-25

〈ま行〉

未応答転送モード 2-3

メインメニュー画面 3-4, 3-24

メール送信動作 3-2, 3-12

メッセージ件数 6-3

メッセージ再生 4-3, 4-4

メッセージ削除 4-5

メッセージ自動消去 3-10, 3-11

メッセージ自動消去設定 3-2, 3-10, 3-11

メッセージ自動消去動作 3-10

メッセージ番号 3-37, 3-38, 3-43

メッセージボックス 3-46, 3-48

メッセージランプ 2-2

メッセージ録音 4-3

「メニュー」ボタン操作 3-2

〈や行〉

呼び出し 3-32

呼出先 3-7

〈ら行〉

リモート 3-40

リモート伝言録音 3-45

留守解除 3-26

留守番機能 2-3, 3-26

留守番グループ 3-26, 3-27

留守番設定画面 3-5

留守番電話 3-2, 3-26

留守番電話グループ 3-39

留守番録音 2-2, 3-26, 3-28

留守録応答メッセージ 3-2, 3-4

留守録開始音 3-31

留守録自動発報先ダイヤル 3-7

留守録自動発報設定 3-2, 3-7, 3-8, 3-9

留守録自動発報設定画面 3-7, 3-8, 3-9

留守録自動発報タイミング 3-8

留守録モニタ 2-2, 2-3, 3-6, 3-31

留守録優先ボックス 3-28

録音お知らせメール 3-2, 3-56

録音お知らせメールの受信 3-57

録音お知らせメールの送信 3-56

録音開始音 3-46, 3-47, 3-49

録音可能時間 3-28, 3-47, 3-49

録音件数 3-26, 3-47, 3-49, 3-51

録音先ボックス 3-30, 3-43, 3-46, 3-47, 3-48, 3-49

録音時間 3-57, 6-3

録音する 3-37, 3-45, 3-46, 3-48, 3-55

録音内容 3-28, 3-31

録音内容再生 3-33, 3-40, 3-42

録音媒体 6-3

録音ボックス数 6-3

〈わ行〉

話中・未応答転送モード 2-3

MEMO

このたびはLEVANCIQをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も本製品のそばなど、いつもお手元に置いてお使いください。

ご不明の点がございましたら、岩崎通信機お客様相談センタへお気軽にご相談ください。

＜お客様相談センタ：☎ 0120-186102＞

お客様メモ

お買い求めになった年月日、店名等をご記入ください。
修理を依頼される時やお問い合わせの時に大変便利です。

設置年月日	年 月 日
設置店名	
住所	
電話番号	